

(様式第10)

阪医病総 番 3 号  
令和 4 年 10 月 5 日  
開設者名 国立大学法人大阪大学  
学長 西尾 章治郎

厚生労働大臣 殿

大阪大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番1号
氏名	国立大学法人大阪大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

大阪大学医学部附属病院
-------------

3 所在の場所

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番15号
電話(06)6879-5111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科				有			
内科と組み合わせた診療科名等							
<input checked="" type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							
「アレルギー疾患内科またはアレルギー科」、「リウマチ科」の診療内容はアレルギー疾患リウマチ科、「内分泌内科」、「代謝内科」の診療内容は糖尿病・内分泌・代謝内科、「血液内科」の診療内容は血液・腫瘍内科。ただし「感染症内科」は、令和4年7月から標榜している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

## (2) 外科

外科				無			
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
「乳腺外科」、「内分泌外科」の診療内容は乳腺・内分泌外科で提供している。							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

## (3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

## (4) 歯科

歯科				有			
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科		3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

## (5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	糖尿病・内分泌・代謝内科	2	アレルギー疾患リウマチ科	3	血液・腫瘍内科	4	老年内科	5	漢方内科
6	乳腺・内分泌外科	7	病理診断科	8	形成外科	9	リハビリテーション科	10	神経・精神科
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

## 5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計	
52				1034	1086	(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	492	472.7	964.7
歯科医師	3	0	3
薬剤師	100	1	101
保健師	0	0	0
助産師	49	1	50
看護師	1054	12.6	1066.6
准看護師	0	1	1
歯科衛生士	4	0	4
管理栄養士	14	0	14

職種	員数
看護補助者	123
理学療法士	23
作業療法士	4
視能訓練士	17
義肢装具士	0
臨床工学士	32
栄養士	0
歯科技工士	0
診療放射線技師	67

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	93
	衛生検査技師	2
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	16	
その他の技術員	31	
事務職員	376	
その他の職員	62	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	102	眼科専門医	31
外科専門医	106	耳鼻咽喉科専門医	19
精神科専門医	12	放射線科専門医	79
小児科専門医	39	脳神経外科専門医	21
皮膚科専門医	14	整形外科専門医	31
泌尿器科専門医	22	麻酔科専門医	20
産婦人科専門医	23	救急科専門医	21
		合計	540

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 竹原 徹郎 ) 任命年月日 令和 4 年 4 月 1 日

平成24年～令和3年:医療クオリティ審議委員会委員

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	777.6 人	0 人	777.6 人
1日当たり平均外来患者数	2335.7 人	16.6 人	2352.3 人
1日当たり平均調剤数	1356.3		剤
必要医師数	214		人
必要歯科医師数	1		人
必要薬剤師数	26		人
必要(准)看護師数	470		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	595.33 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋 コンクリート	病床数	29 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 420.22 m <sup>2</sup>		病床数	30	床	
	[移動式の場合] 台数 15 台					
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 55 m <sup>2</sup>					
	[共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	643 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	検査台、遠心分離機、自動分析装置		
細菌検査室	135 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	検査台、顕微鏡、恒温器、安全キャビネット		
病理検査室	305 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	検査台、顕微鏡、ドラフトチャンバー		
病理解剖室	65 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台、保管庫、冷蔵庫		
研究室	12121 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	パソコン等OA機器、実験台、保管庫		
講義室	1187 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	室数 7 室	收容定員	953	人
図書室	3598 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	室数 - 室	蔵書数	351000	冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	95 . 30 %	逆紹介率	80.45 %
算出根拠	A: 紹介患者の数	18456	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	16405	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	976	人
	D: 初診の患者の数	20391	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

## 12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
倉智博久	大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 総長	○	医療側・経営側の両知識を有する者として選定	無	1
橋本重厚	福島県立医科大学 会津医療センター糖尿病内分泌代謝・腎臓内科学講座教授 同附属病院医療安全管理部長		医療安全管理部長として医療安全管理の専門家として選定	無	1
水島幸子	水島綜合法律事務所 所長		法律の専門家である上、医療に精通している者として選定	無	1
橋本佐与子	認定NPO法人 ささえあい医療人権センター COML 理事		患者・医療者双方のコミュニケーション能力を高める活動等に取り組み、患者目線で医療について助言できる者として選定	無	2
豊岡宏規	大阪大学理事		リスク管理を担当する理事として選定	有	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

## 13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	大阪大学ホームページにて公開





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	Lu-177 DOTATATEによるPRRT (核医学治療)およびSPECTイメージング	取扱患者数	4
当該医療技術の概要 Lu-177 DOTATATEによる神経内分泌腫瘍に対する治療を行うとともに、同薬剤の分布を全身SPECT-CTを用いて画像評価する。			
医療技術名	腹腔鏡下卵巣癌 (卵管癌や腹膜癌、境界悪性卵巣腫瘍も含む)根治術	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 卵巣がんに対する根治術を腹腔鏡下に行い安全性有効性予後を評価する。			
医療技術名	卵巣機能不全患者に対するDHEAを用いた卵巣機能改善	取扱患者数	8
当該医療技術の概要 早発卵巣機能不全(早発閉経)や、卵巣刺激におけるPoor responderなどの卵巣機能不全患者に対し、DHEA (Dehydroepiandrosterone)の内服治療を行うことで、卵巣機能改善を図る。			
医療技術名	腹腔鏡下子宮体癌根治術	取扱患者数	8
当該医療技術の概要 子宮体癌に対する傍大動脈リンパ節郭清を含む根治術を腹腔鏡下で一期的に行い安全性有効性予後を評価する。			
医療技術名	腹腔鏡下骨盤内臓摘出術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 婦人科癌に対する内臓全摘術を腹腔鏡下で一期的に行い安全性有効性予後を評価する。			
医療技術名	脳死・生体小児肝移植	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 先天性疾患による肝不全や激症型肝炎の小児に対して実施している。			
医療技術名	胸腔鏡下先天性食道閉鎖症根治手術	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 開胸手術が標準術式であるが、合併奇形等の少ない症例に対しては、低侵襲手術として実施できる。			
医療技術名	胸腔鏡下横隔膜ヘルニア根治術	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 開腹手術が標準術式であるが、合併奇形等が少なく重症ではない症例に対しては、低侵襲手術として実施できる。			
医療技術名	炎症性腸疾患に対する単孔式腹腔鏡手術	取扱患者数	23
当該医療技術の概要 標準的な腹腔鏡手術術式が確立されていない炎症性腸疾患患者に対して、外科治療をより低侵襲に実施できる。			
医療技術名	腹腔鏡下骨盤内臓全摘術	取扱患者数	9
当該医療技術の概要 標準的な腹腔鏡手術術式が確立されていない他臓器浸潤直腸癌、局所再発直腸癌に対して、外科治療をより低侵襲に実施できる。			
医療技術名	脳死・生体成人肝移植	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 肝移植は末期肝硬変または急性肝不全昏睡型に対して行われる高度医療である。			

医療技術名	脳死膵腎同時移植	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 慢性腎不全(透析状態)を合併したI型糖尿病患者に対して、膵腎同時移植を実施している。			
医療技術名	ロボット支援下膵頭十二指腸切除術	取扱患者数	4
当該医療技術の概要 低悪性度膵頭部腫瘍に対する低侵襲手術として、ロボット支援下膵頭十二指腸切除術を実施している。			
医療技術名	ロボット支援下膵体尾部切除術	取扱患者数	7
当該医療技術の概要 低悪性度膵頭部腫瘍に対する低侵襲手術として、ロボット支援下膵体尾部切除術を実施している。			
医療技術名	十二指腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 低悪性度十二指腸腫瘍性病変に対する低侵襲治療として、内視鏡的粘膜下層剥離術を実施している。			
医療技術名	患者適合型手術ガイドとプレートを用いた変形矯正手術	取扱患者数	11
当該医療技術の概要 四肢骨変形に対して、術前3次元コンピューターシミュレーションにより設計・製造した患者適合型手術ガイドとプレートを用いて矯正骨切りを行うことにより、3次元的に正確な変形矯正を実施できる。			
医療技術名	1型糖尿病に対する Sensor-Augmented Pump (SAP) を用いた糖尿病治療	取扱患者数	27
当該医療技術の概要 1型糖尿病患者では自己インスリン分泌が絶対的に不足しており、頻回の自己血糖測定結果に基づき、インスリン注射量を決定している。インスリン注入量をあらかじめプログラムし必要なインスリンを持続投与し得るpump機能に加え、sensorによる持続血糖モニタリングが可能なSAPを用いることで、基礎及び追加インスリン量設定を精密に行え、血糖管理が良好となる。			
医療技術名	定位的頭蓋内脳波	取扱患者数	6
当該医療技術の概要 本医療技術は、薬剤抵抗性てんかんの術前精査を目的に開頭を行わず、穿頭孔から定位的に留置された複数の深部電極から脳波を記録する手法である。てんかん外科の専門知識と機能的定位脳手術の専門技術を要する低侵襲な手術及び検査手技である。			
医療技術名	内視鏡手術用支援機器を用いた腹腔鏡下副腎摘出術	取扱患者数	0
当該医療技術の概要 副腎皮質腫瘍や褐色細胞腫に対してロボット手術をおこなっている。			
医療技術名	腹腔鏡下リンパ節郭清術 後腹膜	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 精巣腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対して腹腔鏡下に切除を行う。従来の開腹手術と比較し、低侵襲に実施できる。			
医療技術名	皮膚・軟部の脈管奇形に対するIVR治療	取扱患者数	30
当該医療技術の概要 頭頸部・四肢・体幹部等の脈管奇形(血管奇形・リンパ管奇形及びそれらの混合型)に対して塞栓術や硬化療法などIVR(interventional radiology)治療を行う。			
医療技術名	4D-CTAを用いた脳腫瘍の血管および血流評価	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 320列CTを用いて全脳で時間情報を含む3D-CTAを撮影し、脳腫瘍の血管および血流評価を行う。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	22
取り扱い患者数の合計(人)	161

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績等

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	5	56	ベーチェット病	139
2	筋萎縮性側索硬化症	65	57	特発性拡張型心筋症	321
3	脊髄性筋萎縮症	8	58	肥大型心筋症	66
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	8
5	進行性核上性麻痺	51	60	再生不良性貧血	60
6	パーキンソン病	623	61	自己免疫性溶血性貧血	8
7	大脳皮質基底核変性症	19	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	13
8	ハンチントン病	3	63	特発性血小板減少性紫斑病	103
9	神経有棘赤血球症	4	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	4	65	原発性免疫不全症候群	39
11	重症筋無力症	254	66	IgA 腎症	63
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	110
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	184	68	黄色靱帯骨化症	10
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	27	69	後縦靱帯骨化症	98
15	封入体筋炎	4	70	広範脊柱管狭窄症	12
16	クロー・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	74
17	多系統萎縮症	32	72	下垂体性ADH分泌異常症	20
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	101	73	下垂体性TSH分泌亢進症	4
19	ライゾーム病	72	74	下垂体性PRL分泌亢進症	23
20	副腎白質ジストロフィー	8	75	クッシング病	20
21	ミトコンドリア病	22	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	3
22	もやもや病	28	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	67
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	216
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	4
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	5
27	特発性基底核石灰化症	1	82	先天性副腎低形成症	1
28	全身性アミロイドーシス	34	83	アジソン病	3
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	123
30	遠位型ミオパチー	3	85	特発性間質性肺炎	65
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	72
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	14
34	神経線維腫症	97	89	リンパ脈管筋腫症	39
35	天疱瘡	36	90	網膜色素変性症	90
36	表皮水疱症	47	91	バッド・キアリ症候群	3
37	膿疱性乾癬(汎発型)	12	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	ステーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性肝硬変	61
39	中毒性表皮壊死症	4	94	原発性硬化性胆管炎	16
40	高安動脈炎	69	95	自己免疫性肝炎	28
41	巨細胞性動脈炎	12	96	クローン病	315
42	結節性多発動脈炎	18	97	潰瘍性大腸炎	319
43	顕微鏡的多発血管炎	69	98	好酸球性消化管疾患	6
44	多発血管炎性肉芽腫症	33	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	6
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	36	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	11	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	バージャー病	16	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	7	103	CFC症候群	1
49	全身性エリテマトーデス	491	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	161	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	206	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	81	107	若年性特発性関節炎	2
53	シェーグレン症候群	79	108	TNF受容体関連周期性症候群	2
54	成人スチル病	23	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	14	110	ブラウ症候群	1

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績等

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	2	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	13
113	筋ジストロフィー	42	163	特発性後天性全身性無汗症	26
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	1	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	1	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	3
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	9
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	6
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	15
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	3
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質	0	173	VATER症候群	1
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳	2	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん	0	175	ウィーバー症候群	0
126	性白質脳症	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	ペリー症候群	0	177	ジュベール症候群関連疾患	1
128	前頭側頭葉変性症	17	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	ピッカースタッフ脳幹脳炎	1	179	ウィリアムズ症候群	0
130	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	180	ATR-X症候群	1
131	先天性無痛無汗症	0	181	クルーゾン症候群	0
132	アレキサンダー病	0	182	アペール症候群	0
133	先天性核上性球麻痺	0	183	ファイファー症候群	0
134	メビウス症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	アイカルティ症候群	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	片側巨脳症	0	187	歌舞伎症候群	0
138	限局性皮質異形成	2	188	多脾症候群	3
139	神経細胞移動異常症	0	189	無脾症候群	3
140	先天性大脳白質形成不全症	1	190	鰓耳腎症候群	0
141	ドラベ症候群	0	191	ウェルナー症候群	3
142	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー欠神てんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	1
144	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	1	194	ソトス症候群	1
145	レノックス・ガストー症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	ウエスト症候群	2	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	大田原症候群	0	197	1p36欠失症候群	0
148	早期ミオクロニー脳症	0	198	4p欠失症候群	0
149	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	199	5p欠失症候群	0
150	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	環状20番染色体症候群	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	ラスマッセン脳炎	1	202	スミス・マギニス症候群	0
153	PCDH19関連症候群	0	203	22q11.2欠失症候群	1
154	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	204	エマヌエル症候群	0
155	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	ランドウ・クレフナー症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	レット症候群	3	207	総動脈幹遺残症	0
158	スタージ・ウェーバー症候群	1	208	修正大血管転位症	2
159	結節性硬化症	48	209	完全大血管転位症	5
160	色素性乾皮症	1	210	単心室症	12
160	先天性魚鱗癬	0			

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績等

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	1	259	レンチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	4	260	シトステロール血症	4
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	12	263	脳髄黄色腫症	3
216	両大血管右室起始症	5	264	無 $\beta$ リポタンパク血症	1
217	エプスタイン病	1	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	1	266	家族性地中海熱	2
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	2	268	小條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	81	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2	271	強直性脊椎炎	35
224	紫斑病性腎炎	3	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	3	274	骨形成不全症	2
227	オスラー病	17	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	3
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	1
230	肺胞低換気症候群	1	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	$\alpha$ 1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	1
232	カーニー複合	1	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	4
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	5
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	5	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	1
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	6	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	3	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	3
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	1
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	1
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	1
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	5	296	胆道閉鎖症	15
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジュール症候群	2
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	1
251	尿素サイクル異常症	2	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	35
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	1
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュヤー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	2	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	63

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績等

### 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	321	非ケトース型高グリシン血症	0
308	進行性白質脳症	1	322	$\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310	先天異常症候群	2	324	メチルグルタコン酸尿症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	326	大理石骨病	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	2
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	328	前眼部形成異常	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	0	329	無虹彩症	8
316	カルニチン回路異常症	1	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	1
317	三頭酵素欠損症	0	331	特発性多中心性キャスルマン病	20
318	シトリン欠損症	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
			335	ネフロン癆	0
			336	家族性低 $\beta$ リポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
			337	ホモシスチン尿症	0
			338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

取扱疾患件数	185
患者数計	6,356

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
初診料(歯科)の注1に掲げる基準	病棟薬剤業務実施加算2
歯科外来診療環境体制加算1	データ提出加算
特定機能病院入院基本料	入退院支援加算
救急医療管理加算	認知症ケア加算
超急性期脳卒中加算	せん妄ハイリスク患者ケア加算
診療録管理体制加算1	精神疾患診療体制加算
医師事務作業補助体制加算1	精神科急性期医師配置加算
急性期看護補助体制加算	救命救急入院料3
看護職員夜間配置加算	救命救急入院料4
療養環境加算	特定集中治療室管理料1
重症者等療養環境特別加算	ハイケアユニット入院医療管理料1
無菌治療室管理加算1	総合周産期特定集中治療室管理料
無菌治療室管理加算2	新生児治療回復室入院医療管理料
緩和ケア診療加算	小児入院医療管理料2
精神科身体合併症管理加算	短期滞在手術等基本料1
精神科リエゾンチーム加算	・
栄養サポートチーム加算	・
医療安全対策加算1	・
感染防止対策加算1	・
患者サポート体制充実加算	・
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
ハイリスク妊娠管理加算	・
ハイリスク分娩管理加算	・
呼吸ケアチーム加算	・
後発医薬品使用体制加算3	・
病棟薬剤業務実施加算1	・

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	遺伝学的検査
糖尿病合併症管理料	骨髄微小残存病変量測定
がん性疼痛緩和指導管理料	BRCA1/2遺伝子検査
がん患者指導管理料ハ	がんゲノムプロファイリング検査
外来緩和ケア管理料	先天性代謝異常症検査
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
糖尿病透析予防指導管理料	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
小児運動器疾患指導管理料	検体検査管理加算(I)
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	検体検査管理加算(IV)
婦人科特定疾患治療管理料	国際標準検査管理加算
腎代替療法指導管理料	遺伝カウンセリング加算
外来放射線照射診療料	遺伝性腫瘍カウンセリング加算
ニコチン依存症管理料	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算	胎児心エコー法
ハイリスク妊産婦共同管理料(I)	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
がん治療連携計画策定料	ヘッドアップティルト試験
ハイリスク妊産婦連携指導料2	人工臓器検査、人工臓器療法
薬剤管理指導料	長期継続頭蓋内脳波検査
医療機器安全管理料1	長期脳波ビデオ同時記録検査1
医療機器安全管理料2	脳波検査判断料1
精神科退院時共同指導料1及び2	中枢神経磁気刺激による誘発筋電図
在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	単線維筋電図
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	脳磁図(自発活動を測定するもの)
在宅経肛門的自己洗腸指導管理料	脳磁図(その他のもの)

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
神経学的検査	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
補聴器適合検査	呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
黄斑局所網膜電図	がん患者リハビリテーション料
全視野精密網膜電図	集団コミュニケーション療法料
ロービジョン検査判断料	精神科作業療法
コンタクトレンズ検査料1	抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
内服・点滴誘発試験	医療保護入院等診療料
経気管支凍結生検法	口腔粘膜処置
画像診断管理加算3	レーザー機器加算
遠隔画像診断	静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
ポジトロン断層撮影	多血小板血漿処置
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	硬膜外自家血注入
CT撮影及びMRI撮影	人工腎臓
冠動脈CT撮影加算	導入期加算2及び腎代替療法実績加算
血流予備量比コンピューター断層撮影	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
外傷全身CT加算	磁気による膀胱等刺激法
心臓MRI撮影加算	う蝕歯無痛的窩洞形成加算
乳房MRI撮影加算	CAD/CAM冠
頭部MRI撮影加算	手術時歯根面レーザー応用加算
全身MRI撮影加算	センチネルリンパ節加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	皮膚移植術(死体)
外来化学療法加算1	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
連携充実加算	組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
無菌製剤処理料	骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	椎間板内酵素注入療法

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
脳腫瘍覚醒下マッピング加算	肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	同種死体肺移植術
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)	生体部分肺移植術
治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
角膜移植術(内皮移植加算)	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
羊膜移植術	胸腔鏡下弁形成術
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	経カテーテル大動脈弁置換術
網膜再建術	胸腔鏡下弁置換術
人工中耳植込術	経皮的僧帽弁クリップ術
人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	経皮的中隔心筋焼灼術
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
咽頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)	植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術
乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	補助人工心臓
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	小児補助人工心臓
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)	植込型補助人工心臓(非拍動流型)

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
同種心移植術	腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
同種心肺移植術	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
骨格筋由来細胞シート心表面移植術	同種死体腎移植術
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	生体腎移植術
腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等	膀胱水圧拡張術
腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	人工尿道括約筋植込・置換術
腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	腹腔鏡下仙骨腫固定術
胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下肝切除術	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
生体部分肝移植術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
同種死体肝移植術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	胎児胸腔・羊水腔シャント術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	無心体双胎焼灼術
腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	胎児輸血術
腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
生体部分小腸移植術	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
同種死体小腸移植術	輸血管管理料 I
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	コーディネート体制充実加算
腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	麻酔管理料( I )





## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

### 1 研究費補助金等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
1	神経・免疫・代謝におけるガイドンス因子の病的意義の解明とその制御	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学講座	37,700,000	補	独立行政法人日本学術振興会
2	脊髄損傷後の機能回復を促進する脳活動の解明と制御	貴島 晴彦	脳神経外科学講座	5,070,000	補	独立行政法人日本学術振興会
3	ヒトパピローマウイルス関連中咽頭癌の自然史の解明	猪原 秀典	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	11,050,000	補	独立行政法人日本学術振興会
4	ヒト眼の形態形成における組織間の協調メカニズムの解明	西田 幸二	眼科学講座	15,860,000	補	独立行政法人日本学術振興会
5	がんエクソソーム抗原と内部RNA情報の統合解析による診断性能の最高精度化と応用	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	6,110,000	補	独立行政法人日本学術振興会
6	生活習慣病とアルツハイマー病を同時に標的とする新規治療法の基盤構築	山本 浩一	老年・総合内科学講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
7	慢性炎症を基盤としたリプログラミングの可視化と腫瘍の解析	森井 英一	病態病理学講座	4,160,000	補	独立行政法人日本学術振興会
8	がん間質細胞をターゲットにした核医学治療の開発:新たながん治療戦略に向けて	渡部 直史	核医学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
9	遺伝性心筋症ゲノム解析および横断オミックス解析による新規分子標的の同定と創薬開発	朝野 仁裕	医化学講座	5,720,000	補	独立行政法人日本学術振興会
10	末梢循環性間葉系細胞の発生的起源探索と表皮水疱症剝離表皮再生メカニズムの解明	玉井 克人	再生誘導医学寄附講座	4,160,000	補	独立行政法人日本学術振興会
11	腫瘍組織内免疫の正/負因子の細分化とがん種を越えた絶対評価の試み	和田 尚	臨床腫瘍免疫学共同研究講座	4,160,000	補	独立行政法人日本学術振興会
12	上部消化管癌患者の予後向上を目指したグレリンによる周術期栄養療法の開発	土岐 祐一郎	消化器外科学2講座	5,070,000	補	独立行政法人日本学術振興会
13	癌周囲微小環境を構成する癌関連線維芽細胞を標的とした新たな肺癌治療の開発	新谷 康	呼吸器外科学講座	4,940,000	補	独立行政法人日本学術振興会
14	侵襲時再生治療に関する新たな発展:新規炎症増幅メカニズムの制御	小倉 裕司	救急医学講座	5,070,000	補	独立行政法人日本学術振興会
15	脊髄損傷後の亜鉛シグナルの役割解明と治療応用	岡田 誠司	整形外科科学講座	5,070,000	補	独立行政法人日本学術振興会
16	力学刺激によるPGE2/NGF/MMP産生機構に注目した変形性膝関節症の病態解明	中田 研	スポーツ医学講座	5,070,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
17	2D-3D骨形状再構成プログラムと骨・関節疾患治療クラウドシステムの開発	村瀬 剛	整形外科科学講座	5,070,000	補	独立行政法人日本学術振興会
18	子宮頸部病変自動診断システムの開発～低医療資源国における子宮頸がん予防に向けて～	上田 豊	産科学婦人科学講座	4,290,000	補	独立行政法人日本学術振興会
19	順遺伝学手法による、脱ユビキチン化酵素の卵巣癌進展・子宮内膜症癌化制御機構の解明	木村 正	産科学婦人科学講座	4,290,000	補	独立行政法人日本学術振興会
20	トリプトファン代謝に関連した老化制御の機構解明とトランスレーショナルリサーチ	樂木 宏実	老年・総合内科学講座	4,420,000	補	独立行政法人日本学術振興会
21	前頭側頭型認知症における「RNA代謝リレー障害」仮説の実証	森 康治	精神医学講座	5,200,000	補	独立行政法人日本学術振興会
22	個別化医療を目指したNASH由来肝癌ドライバー遺伝子の網羅的な同定	小玉 尚宏	消化器内科学講座	4,940,000	補	独立行政法人日本学術振興会
23	新規皮膚メタトランスクリプトーム解析手法による疾患発症予測因子の探索	松岡 悠美	皮膚科学講座	5,590,000	補	独立行政法人日本学術振興会
24	CAR T細胞の標的として同定した新規急性骨髄性白血病細胞特異的抗原の特性解析	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	5,850,000	補	独立行政法人日本学術振興会
25	わが国における心停止ドナーからの心臓移植実現のための総合的研究	戸田 宏一	心臓血管外科学講座	5,200,000	補	独立行政法人日本学術振興会
26	プロテオミクス解析を用いたICU関連筋力低下(ICU-AW)の病態解明	藤野 裕士	麻酔・集中治療医学講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
27	がん組織を用いたマルチオミクス解析による個別化医療開発プラットフォームの構築	植村 元秀	泌尿器癌免疫治療学共同研究講座	4,680,000	補	独立行政法人日本学術振興会
28	細胞骨格を制御することで瘢痕ゼロを実現する	久保 盾貴	形成外科学講座	2,860,000	補	独立行政法人日本学術振興会
29	VR(バーチャルリアリティ)を用いた解剖学運動学教育の教育効果研究	菅本 一臣	運動器バイオマテリアル学寄附講座	10,010,000	補	独立行政法人日本学術振興会
30	タウ病理の脳内進展過程を標的とした認知症の層別化・個別化治療に向けた基盤的研究	武田 朱公	臨床遺伝子治療学寄附講座	4,680,000	補	独立行政法人日本学術振興会
31	トリプレットリピート病のリピート長変動機構解明とリピート短縮治療の基盤確立	中森 雅之	神経内科学講座	2,730,000	補	独立行政法人日本学術振興会
32	神経軸索内局所翻訳機構に着目したALS/FTLDの病態解明と治療法開発	長野 清一	神経難病認知症探索治療学寄附講座	6,500,000	補	独立行政法人日本学術振興会
33	骨細胞機能障害の解析と治療ターゲットの探索ー遺伝性骨疾患を対象としてー	大藪 恵一	小児科学講座	5,330,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
34	肝細胞におけるp53活性化を起点とした肝前駆細胞由来発癌機構の解明	竹原 徹郎	消化器内科学講座	6,500,000	補	独立行政法人日本学術振興会
35	ディープフェノタイピング・iPS細胞技術の融合による希少難治性心筋症診療体系構築	坂田 泰史	循環器内科学講座	4,680,000	補	独立行政法人日本学術振興会
36	早期CKD患者の精密医療を目指した予後評価法の開発	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	10,660,000	補	独立行政法人日本学術振興会
37	自己抗体により規定される「4つの皮膚筋炎」病型の病態解明と特異的治療法の開発	藤本 学	皮膚科学講座	3,770,000	補	独立行政法人日本学術振興会
38	生体内組織形成術と軟骨細胞自己凝集化技術を組み合わせた大動物気管再生モデルの確立	奥山 宏臣	小児成育外科学講座	6,500,000	補	独立行政法人日本学術振興会
39	肺癌患者の飛躍的予後改善をめざした個別的治療方針決定法の策定	江口 英利	消化器外科学2講座	7,410,000	補	独立行政法人日本学術振興会
40	精巣特異的な代謝状態の全貌解明に基づく男性不妊症の新規治療基盤の構築	福原 慎一郎	泌尿器科学講座	6,240,000	補	独立行政法人日本学術振興会
41	植込み機能的電気刺激とブレインマシンインターフェースによる自己四肢の運動機能再建	平田 雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	1,200,000	補	独立行政法人日本学術振興会
42	皮膚レジデントメモリーT細胞の発現分子が乾癬病態形成に及ぼす影響の検討	久米 美輝	皮膚科学講座	800,000	補	独立行政法人日本学術振興会
43	乳癌センチネルリンパ節におけるmicroRNA発現解析を用いた転移予測法の開発	三宅 智博	乳腺・内分泌外科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
44	急性呼吸不全において肺傷害の最小にする新しい人工呼吸法の開発	内山 昭則	麻酔・集中治療医学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
45	立位撮影3D-MRIを用いた立位荷重環境下の股関節動態の解明	高尾 正樹	整形外科科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
46	発達障害の3歳未満における早期診断が児と養育者に与える影響の調査	中西 真理子	(小児科・子ども)環境関連	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
47	ミトコンドリアDNAの動態制御による新規癌治療戦略の開発	田中 晃司	消化器外科学2講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
48	多次元的解析手法によるがん免疫エフェクター細胞の分子細胞学的解明と新規治療開発	西田 純幸	呼吸器・免疫内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
49	メタゲノム解析を用いた牛車腎気丸の抗サルコペニア効果における腸内細菌叢の検討	萩原 圭祐	先進融合医学共同研究講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
50	前頭側頭葉変性症のprodromal期の臨床特徴に関する研究	池田 学	精神医学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
51	グルコーストランスポーター1欠損症における新規診断法の確立と簡便な食事療法の開発	青天目 信	小児科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
52	髄芽腫における髄膜播種の機能解析とリキッドバイオプシーの可能性についての検討	木嶋 教行	脳神経外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
53	糖鎖免疫に基づくエクスポソームを介した難治性腸管炎症発症制御の解明	新崎 信一郎	消化器内科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
54	大腸癌微小環境における細胞死機構の解明と治療開発	林 義人	消化器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
55	拡張相肥大型心筋症の分子基盤に介入する治療法の開発	肥後 修一郎	重症心不全内科治療学共同研究講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
56	生体内代謝イメージング法の確立と代謝改善を介した革新的心不全創薬へ向けた基盤研究	木岡 秀隆	医化学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
57	トランスオミクスが紐解くCOPDの新規バイオマーカーと病態解明	武田 吉人	呼吸器・免疫内科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
58	移植時生検を用いたドナーの腎予後予測～超解像度顕微鏡を用いた病理学的因子の探索	難波 倫子	腎臓内科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
59	人工知能を用いて腎疾患を理解する	松井 功	腎臓内科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
60	血小板インテグリン活性化の分子機構および血管病変形成における意義の解明	柏木 浩和	輸血部	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
61	多発性骨髄腫の予後予測バイオマーカーとしてのニッチ細胞解析の有用性	一井 倫子	血液・腫瘍内科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
62	PNH治療のための最適ターゲットの同定	植田 康敬	血液・腫瘍内科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
63	造血幹細胞抗原ESAMの欠損が胎生期に致死的な赤血球造血不全をきたすメカニズム	上田 智朗	血液・腫瘍内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
64	アディポネクチンによる腎保護作用機序の解明と血中T-カドヘリン測定の意味	前田 法一	代謝血管学寄附講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
65	血管・脂肪組織由来新規分泌因子Favineの機能解析	小林 祥子	内分泌・代謝内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
66	肥満脂肪組織における代謝異常と臓器連関; プリン代謝およびコリン代謝異常に着目して	西澤 均	内分泌・代謝内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
67	新規肺転移モデルを用いた小児肉腫における癌幹細胞および転移の制御に関する研究	野村 元成	小児成育外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
68	分子バーコードを用いた血中循環腫瘍DNA検出による乳癌新規バイオマーカーの開発	加々良 尚文	乳腺・内分泌外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
69	エクソソームを介した肝細胞癌肝内転移機序解明による再発バイオマーカーの同定	野田 剛広	消化器外科学2講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
70	術後化学療法を支援する人工知能システムの開発	佐藤 太郎	先進癌薬物療法開発学寄附講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
71	心機能回復のための心筋細胞における細胞極性因子aPKCの役割の解明	河村 拓史	心臓血管外科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
72	AI技術を用いた大動脈解離に対する血管内治療後の予後予測アルゴリズムの開発	島村 和男	心臓血管外科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
73	ネクロプトーシスを標的とした肺移植後虚血再灌流肺傷害に対する新規治療法の開発	狩野 孝	呼吸器外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
74	悪性神経腫瘍療法時の免疫応答とheterogeneityの関係	香川 尚己	脳神経外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
75	経頭蓋直流電気刺激を用いた急性期脳梗塞治療の有効性と作用機序に関する検討	中村 元	脳神経外科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
76	前立腺癌における免疫細胞—サイトカインネットワークの解明及び治療法の開発	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
77	癌組織内制御性T細胞を標的とした尿路上皮癌に対する新規免疫療法の開発	河嶋 厚成	泌尿器科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
78	ヒトパピローマウイルス関連中咽頭癌の新しい免疫学的治療バイオマーカーの開発	武本 憲彦	オンコロジーセンター	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
79	セマフォリン4Aに着目した好酸球性副鼻腔炎に伴う嗅覚障害の病態解明	端山 昌樹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
80	頭頸部扁平上皮癌特異的NOTCHパスウェイの探求とその特性の解明	福角 隆仁	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
81	緑内障早期発見を目指した予測モデルに基づく光干渉断層計の新たな診断指標の確立	三木 篤也	眼科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
82	難治性網膜視神経疾患に対する慢性埋込み型電極を用いた神経保護効果の検討	森本 壮	視覚機能形成学寄附講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
83	埋め込み型知覚皮弁と脂肪組織由来間葉系幹細胞を用いた再建乳房知覚化の試み	富田 興一	形成外科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
84	循環器検診における眼底細動脈硬化所見自動判定システム開発と予測能評価	川崎 良	視覚情報制御学(トプコン)寄附講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
85	片側難聴児への補聴介入が社会的適応及び心理面に及ぼす影響	太田 有美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
86	線条体の機能改善によるパーキンソン病治療法の開発	別宮 豪一	神経内科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
87	センチネルリンパ節リアルタイムモニタリングによる新しい乳癌腋窩リンパ節治療の開発	島津 研三	乳腺・内分泌外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
88	小児閉塞性睡眠時無呼吸症候群の脳発達への影響の解明	毛利 育子	小児発達神経学領域	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
89	視神経脊髄炎におけるタイプ1インターフェロンシグネチャーの解明	奥野 龍禎	神経内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
90	原因不明脳梗塞の包括的病態解明および診断アルゴリズムの確立	藤堂 謙一	神経内科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
91	クロザピン抵抗性統合失調症のバイオマーカーの開発	藤本 美智子	精神医学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
92	血液リキッドバイオプシーによる子宮頸癌放射線治療後の遺残・再発のモニタリング	磯橋 文明	放射線治療学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
93	骨石灰化におけるピロリン酸濃度とその調節機構の解明—網羅的代謝物遺伝子発現解析—	窪田 拓生	小児科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
94	慢性肝疾患の進展における細胞内輸送の解析	阪森 亮太郎	消化器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
95	肝細胞癌における間質細胞オートファジーを介した癌微小環境の制御機構の解明	疋田 隼人	消化器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
96	TNF- $\alpha$ 上昇が慢性膵炎病態形成に与える影響の解明	重川 稔	消化器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
97	重症心不全症例における右室機能を三次元経胸壁心エコー図法で求めた新指標で評価する	竹田 泰治	循環器内科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
98	脂質メディエーターによる心筋細胞死制御機構の解明と心不全創薬への応用	種池 学	循環器内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
99	クロマチン構造解析による新規サルコペニア治療薬の基盤創生	井上 和則	腎臓内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
100	白斑におけるメラノサイト超選択的レジデントT細胞の特徴と相互維持機能の解明	種村 篤	皮膚科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
101	脂肪細胞由来代謝物による恒常性維持機構の解明	福原 淳範	肥満脂質病態学寄附講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
102	Curebest 95GCのマイクロアレイ法からRNA-Seq法への移行研究	直居 靖人	乳腺・内分泌外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
103	血管擬態の阻害によるHER2陽性乳癌の新規治療法の開発	下田 雅史	乳腺・内分泌外科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
104	分子バーコードNGSによるリキッドバイオプシー: 胃癌免疫化学療法の病勢・効果予測	黒川 幸典	消化器外科学1講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
105	細胞特性を利用した大腸癌幹細胞分離による癌幹細胞理解と大腸癌幹細胞の治療標的化	植村 守	消化器外科学1講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
106	脂肪幹細胞・iPS細胞を用いた難治性呼吸器疾患に対する新規肺再生治療法の開発	福井 絵里子	呼吸器外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
107	悪性髄膜腫に対するWT1ペプチドワクチン療法の開発	平山 龍一	脳神経外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
108	脳内でんかんネットワークのElectrical fingerprintの同定	クー ウイミン	脳神経外科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
109	脳深部刺激術におけるclosed-loop systemの応用と脳機能解析	谷 直樹	脳神経外科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
110	部分再開通における脳梗塞進展の機序解明と治療法の開発	島村 宗尚	健康発達医学寄附講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
111	損傷・修復半月板の3次元の総合的解析および新たな縫合法の探索	前 達雄	運動器スポーツ・バイオメカニクス学共同研究講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
112	ヒト滑膜由来幹細胞による軟骨再生治療におけるbFGFの治療促進効果についての検討	平尾 眞	整形外科科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
113	ウルトラファインバブルによる新規難治性骨折・廃用性骨粗鬆症の予防・治療法の開発	蛸名 耕介	運動器再生医学共同研究講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
114	内軟骨性骨化過程の解明に向けた生体内イメージング手法の確立	海渡 貴司	整形外科科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
115	自己免疫疾患に続発する大腿骨頭壊死症の病態解明	安藤 渉	運動器医工学治療学寄附講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
116	運動が夜間多尿に与える影響とその病態に基づいた治療法の開発	木内 寛	泌尿器科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
117	トランスポゾンスクリーニング手法を用いた子宮平滑筋肉腫の薬剤耐性の解明	小玉 美智子	産科学婦人科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
118	補体活性化の妊娠高血圧症候群の病態への関与-補体系と血管新生系のクロストーク-	富松 拓治	産科学婦人科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
119	子宮頸癌に対する本邦での低侵襲手術の再発リスク因子の検証	小林 栄仁	産科学婦人科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
120	偏中心回転刺激時のマウスの眼球運動解析	今井 貴夫	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
121	リキッドバイオプシーに基づく口腔癌の予防的頸部郭清	鈴木 基之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
122	SEMA7Aを介した好酸球・上皮クロストークによる好酸球性副鼻腔炎制御	前田 陽平	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	585,000	補	独立行政法人日本学術振興会
123	リバーストランスレーショナルリサーチによるぶどう膜炎新規診断法の探索	丸山 和一	視覚情報制御学(トプコン)寄附講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
124	深層学習を用いた甲状腺眼症の顔写真診断支援システムの作成	北口 善之	眼科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
125	中心静脈栄養における代謝異常・肝機能障害とエビジェネティック因子の関連	田附 裕子	小児育成外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
126	自閉症スペクトラムの聞こえの問題としての聴覚情報処理障害の検討ならびにその支援	三好 紀子	精神医学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
127	3次元病理診断を可能とする新規染色技術の開発	野島 聡	病態病理学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
128	強皮症モデルマウスにおけるHMGB1による骨髄由来間葉系幹細胞の誘導	植田 郁子	皮膚科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
129	老化に伴うインスリン抵抗性の病態における血管内皮の $\alpha$ シヌクレインの機能の検討	鷹見 洋一	老年・総合内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
130	グリア系細胞におけるタイトジャンクションの意義と神経病態への関与	佐々木 勉	神経難病認知症探索治療学寄附講座	3,640,000	補	独立行政法人日本学術振興会
131	温度感受性受容体を標的とした多発性硬化症環境因子の解明	木下 允	神経内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
132	非てんかん性心因性発作に関する実証的研究	岩瀬 真生	精神医学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
133	子宮内膜癌術前MRIの実臨床における筋層浸潤診断精度に関する多角的解析	坪山 尚寛	放射線医学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
134	超高精細CTの新しい肺癌画像解析法の確立:診断能に寄与する画像因子探索とAI解析	梁川 雅弘	放射線医学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
135	重粒子線治療における正常組織の晩期障害低減に関する研究	林 和彦	放射線治療学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
136	心筋細胞と心筋線維芽細胞の相互作用に着目した小児拡張型心筋症の病態解明	石井 良	小児科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
137	iPS細胞由来ミクログリア—ニューロン3次元共培養系による自閉症の病態解析	橘 雅弥	小児発達神経学領域	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
138	ドライバー遺伝子異常に基づいた肝がん個別化薬物療法の構築	巽 智秀	消化器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
139	肝発癌および肝癌微小環境におけるLIFの生物学的意義の解析	牧野 祐紀	消化器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
140	重症心不全患者のカヘキシー予防のための代謝動態に基づく至適栄養療法の確立	坂本 陽子	循環器内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
141	T細胞性免疫調整薬によるがんおよび抗ウイルス免疫療法の開発	岩堀 幸太	臨床腫瘍免疫学共同研究講座	2,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
142	転写因子Mondo1による腎近位尿管オートファジー・エネルギー代謝制御機構の解明	高島 義嗣	腎臓内科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
143	外来患者より見出した、低Mg血症、低K血症、高血圧症を伴う家系の分子遺伝学的解析	貝森 淳哉	腎疾患臓器連関制御学寄附講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
144	皮膚resident memory T細胞の構築・維持機構の解明	細川 玲(渡辺玲)	皮膚科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
145	皮膚悪性リンパ腫におけるガングリオシドと腫瘍免疫の解明	清原 英司	皮膚科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
146	自己抗体による強皮症発症機構の解明	荒瀬 規子	皮膚科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
147	プロテオミクスが同定するインテグリン $\alpha$ IIb $\beta$ 3活性化機構から新規抗血小板療法へ	加藤 恒	血液・腫瘍内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
148	白血病幹細胞の不均一性を誘導する自律的サイトカインシグナルを標的とした治療開発	横田 貴史	血液・腫瘍内科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
149	冠動脈壁・心筋・膵へ異所性脂肪蓄積を来す2型糖尿病臨床像の同定-多施設共同研究-	小澤 純二	糖尿病病態医療学寄附講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
150	新規SREBPユビキチンリガーゼの肥満糖尿病及びクッシング症候群における意義解明	奥野 陽亮	内分泌・代謝内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
151	ex vivo腫瘍モデルの構築と腫瘍間質を形成するメカニズムの解明	三吉 範克	消化器外科学2講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
152	次世代新規脊髄腫瘍胎児治療の開発—マイクロデバイスをを用いた胎児再生誘導治療	渡邊 美穂	小児成育外科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
153	バイオ人工臓器研究における(膜型)レクチンの制御機能の利用	正畠 和典	小児成育外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
154	早期診断が困難な腎移植後抗体関連型拒絶反応に対する革新的検査法の創出	今村 亮一	泌尿器科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
155	INK4 familyタンパク質を標的とした新たな大腸癌治療法の開発	高橋 秀和	消化器外科学2講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
156	免疫モニタリングによる上部消化管がん腫瘍免疫応答機序の解明と個別化治療の確立	牧野 知紀	消化器外科学2講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
157	敗血症性急性腎傷害の早期発見-尿中酸素分圧を用いての検討-	井口 直也	麻酔・集中治療医学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
158	末梢神経パルス高周波法を用いた人工膝関節置換術後遅延性術後痛の予防法開発	植松 弘進	麻酔・集中治療医学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
159	地域を網羅した大規模救急患者レジストリ分析による救急搬送患者の実態解明	片山 祐介	救急医学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
160	視床破壊術後の上肢近位筋の振戦に対する経皮的電気刺激療法の開発	押野 悟	脳神経外科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
161	アッセンプロイドによる脳内生態系の再生と重症くも膜下出血治療への応用	西田 武生	脳神経外科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
162	安静時functional MRIによる頸髄症の包括的な予後予測と妥当性検証	武中 章太	整形外科科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
163	リハビリテーションによる末梢神経損傷後の神経可塑性効果の検討	田中 啓之	運動器スポーツ医学共同研究講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
164	遺伝子改変ネオアンチゲン特異的T細胞による泌尿器癌個別化免疫療法の開発	加藤 大悟	泌尿器科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
165	前立腺細菌叢に着目した前立腺肥大症発症メカニズムの解明と個別化医療への応用	竹澤 健太郎	泌尿器科学講座	2,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
166	漢方を用いた妊娠高血圧症候群を対象にしたDrug repositioning研究	味村 和哉	産科学婦人科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
167	内因性NF- $\kappa$ B転写阻害因子MTI-IIによる着床機構の解明と治療効果の検討	三宅 達也	産科学婦人科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
168	内因性NF- $\kappa$ B転写阻害因子MTI-IIによる分娩制御機構の解明と治療効果の検討	瀧内 剛	先端ゲノム医療学共同研究講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
169	TRPV1チャンネルをターゲットにした前庭障害への治療法の開発	鎌倉 武史	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
170	難治性顔面神経麻痺の克服 ～早期診断ツールと神経再生促進薬の開発～	佐藤 崇	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
171	網膜における血管内皮コロニー形成細胞の同定およびその微小環境の解明	崎元 晋	眼科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
172	ナノポア検出器と機械学習をもちいたウイルス性眼疾患におけるウイルスの1分子検出	橋田 徳康	眼科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
173	無虹彩症の病態形成における細胞老化の関与	川崎 諭	眼免疫再生医学共同研究講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
174	糖尿病網膜症の慢性化制御機構の解明	福嶋 葉子	眼免疫再生医学共同研究講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
175	フックス角膜炎皮ジストロフィの発症メカニズムおよびリスクの解析	大家 義則	眼科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
176	メカニカルストレスによる視神経乳頭アストロサイトの生体応答分子機序の解明	松下 賢治	眼科学講座	3,640,000	補	独立行政法人日本学術振興会
177	高齢胃癌患者の治療成績向上を目指した術前リハビリテーションおよび栄養療法の開発	山本 和義	消化器外科学2講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
178	視覚障害原因疾患の視機能回復のための人工視覚の低侵襲電気刺激法の開発	西田 健太郎	視覚機能形成学寄附講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
179	アディポネクチンと新たな生理活性内因子エクソソームに関する研究	下村 伊一郎	内分泌・代謝内科学講座	7,800,000	補	独立行政法人日本学術振興会
180	トリプレットリピート病のリピート短縮による根源的治療法の開発	中森 雅之	神経内科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
181	脂肪組織由来幹細胞積層シートを用いた慢性閉塞性肺疾患に対する新たな再生医療の開発	新谷 康	呼吸器外科学講座	2,730,000	補	独立行政法人日本学術振興会
182	個別化医療を目的としたヒト不整脈源性右室心筋症モデル細胞の樹立と病態解明	坂田 泰史	循環器内科学講座	3,250,000	補	独立行政法人日本学術振興会
183	世界初のヒト嗅覚に基づく匂い分析技術による心不全予後予測バイオマーカーの探索	小関 正博	循環器内科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
184	臍帯血を用いた新しいCAR-NK細胞療法の開発	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	3,250,000	補	独立行政法人日本学術振興会
185	膵がん幹細胞に特異的な細胞外小胞の殻と中身の情報による診断性能の最大化	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
186	癌におけるRNA修飾異常の解明とエピトランスクリプトーム治療の開発	三宅 浩太郎	呼吸器・免疫内科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
187	骨形成不全症に対する骨カップリングを標的とした新規治療薬の開発	大幅 泰久	小児科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
188	慢性腎臓病患者における石灰化ストレスマーカーの確立	坂口 悠介	腎疾患臓器連関制御学寄附講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
189	皮膚バリア不全に伴伴する細胞性免疫低下に関わる新規機序の解明	石塚 洋典	アレルギー免疫疾患統合医療学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
190	末梢動脈疾患の進展と予後に対する糖尿病の影響の解明	高原 充佳	内分泌・代謝内科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
191	造血幹細胞移植後の骨髄再構築過程と生着不全における責任細胞の分子病理学的解明	倉重 真沙子	病態病理学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
192	髄液シヌクレイン凝集体測定を利用したパーキンソン病の病理学的マーカーの開発	角田 溪太	神経内科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
193	認知症疾患から探る見当識の神経基盤	鈴木 由希子	行動神経学・神経精神医学寄附講座(連小)	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
194	乳幼児期発症のてんかんにおける社会性発達の病態解明	岩谷 祥子	(小児科・子ども)環境関連	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
195	先天性GPI欠損症の疾患登録システムの構築と血清バイオマーカー探索	谷河 純平	小児科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
196	患者心筋線維芽細胞を用いた拘束型心筋症の病態解明と新たな治療ターゲットの同定	石田 秀和	小児科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
197	汎用性の高いレセプトデータ・DPCデータを循環器疾患領域で活用するための研究	岡田 佳築	循環器内科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
198	肺炎球菌の経鼻保菌から肺炎への進展様式の解明	濱口 重人	変革的ヒト検体解析学(日本財団)寄附講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
199	ヒト軟骨性骨化モデルに於ける成長軟骨帯形成メカニズムの解明	木村 武司	小児科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
200	ランレオチド治療効果予測による先端巨大症の個別化医療の確立	向井 康祐	内分泌・代謝内科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
201	免疫チェックポイント阻害薬投与患者における1型糖尿病の発症予測の確立	藤田 有可里	内分泌・代謝内科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
202	GABAA受容体 $\alpha$ 5サブユニット選択的阻害薬が術後の認知機能と疼痛に及ぼす影響	井浦 晃	麻酔・集中治療医学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
203	iPS由来神経幹細胞/嗅粘膜ハイブリッド型グラフトを用いた脳出血治療法の開発	高垣 匡寿	脳神経外科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
204	悪性骨軟部腫瘍に対する分子標的治療の個別化とバイオマーカーの探索	伊村 慶紀	整形外科科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
205	天然抽出物を用いたハイスループットスクリーニングによる軟部肉腫の新規治療薬開発	王谷 英達	整形外科科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
206	MELF patternの網羅的遺伝子解析による類内膜癌の浸潤メカニズムの研究	田原 紳一郎	病態病理学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
207	がん組織の生体イメージングを用いた浸潤メカニズムおよび責任因子の解明	松井 崇浩	免疫細胞生物学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
208	D-グルタミン酸代謝酵素D-グルタミン酸シクラゼのがん代謝における機能の解明	大島 健司	病態病理学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
209	メンデルランダム化解析を用いた多発性硬化症のリスク同定	小河 浩太郎	神経内科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
210	安静時脳波を用いたレビー小体型認知症の診断・予後予測に関する有用性の実証研究	畑 真弘	精神医学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
211	間質性肺炎および肺気腫におけるO15-PETを用いた肺血流量測定	松永 恵子	医薬分子イメージング学共同研究講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
212	患者検体を用いて血中エクソソームPD-L1の放射線治療抵抗性への関わりを検討する	玉利 慶介	放射線治療学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
213	深層学習ネットワークを用いた、高リスク前立腺癌に対する個別化定位放射線治療の開発	平田 岳郎	放射線治療学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
214	Clonal hematopoiesis による腫瘍微小環境の変化と放射線抵抗性	立川 章太郎	放射線治療学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
215	C型慢性肝疾患における肝発がんおよび肝線維化に関与する新規バイオマーカーの探索	田畑 優貴	消化器内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
216	CRISPR/Cas9治療によるB型肝炎ウイルスcccDNA切断後の病態解明	村井 一裕	消化器内科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
217	食事由来酸化ステロール蓄積による糖尿病性心筋症進展メカニズムの解明	岡田 健志	循環器内科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
218	血液悪性疾患における腸内細菌叢メタゲノム解析と疾患リスク・予後予測モデルの構築	草壁 信輔	血液・腫瘍内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
219	免疫チェックポイント阻害薬投与後の1型糖尿病発症に関連する遺伝子の網羅的探索	藤田 真吾	内分泌・代謝内科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
220	小児固形腫瘍の初代培養方法の確立と臨床応用に向けた開発研究	塚田 遼	小児成育外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
221	組織脱細胞化と自己由来膀胱細胞の分化誘導による機能的再生膀胱組織の開発	出口 幸一	小児成育外科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
222	吸水性スポンジを用いたctDNAモニタリングによるGISTの治療耐性診断法の開発	山下 公太郎	消化器外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
223	炎症性腸疾患における自然リンパ球を介した自己免疫寛容とその破綻機構の解明	荻野 崇之	消化器外科学2講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
224	HOXA5制御を介した脱癌幹細胞化による大腸癌治療抵抗性の克服	波多 豪	消化器外科学2講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
225	腫瘍集学的治療の個別化を目指した門脈血中腫瘍由来エクソソーム内包遺伝子の解析	山田 大作	消化器外科学2講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
226	ヒト胃癌リンパ節における免疫抑制機構の解明	西塔 拓郎	消化器外科学2講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
227	間質性肺炎の線維芽細胞におけるArl4cの機能解析	木村 賢二	呼吸器外科学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
228	リコンビナントトロポモジュリンが樹状細胞を介して敗血症に与える影響の解析	堀口 佑	麻酔・集中治療医学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
229	脳神経蘇生における脳循環の理解と機械学習を利用した治療戦略の開発	館野 丈太郎	救急医学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
230	CRISPRスクリーニングによる放射線増感ターゲットの探索と前立腺癌への治療応用	波多野 浩士	泌尿器科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
231	腎移植拒絶反応における補体制御に関する探究的研究	山中 和明	泌尿器科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
232	ARID1A変異型卵巣明細胞癌を標的としたATRかつBRD4阻害療法の確立	木瀬 康人	産科学婦人科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
233	ocular surfaceの安定化に関わるマイクロバイオームのメタゲノム解析	浅尾 和伸	眼科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
234	網膜内層シナプスリモデリングの解明と緑内障治療への応用	河嶋 瑠美	眼科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
235	hiPS細胞シングルセル蛍光イメージングによる眼発生初期のRAX遺伝子の機能解明	小林 礼子	眼科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
236	分子バーコードを用いたNGS解析でのctDNA評価による乳癌の遠隔再発リスク診断	吉波 哲大	乳腺・内分泌外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
237	パーキンソン病に対する再生誘導療法の確立	木村 康義	神経内科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
238	高齢発症の精神病患者の背景疾患による分類と有効な治療法の検証	鐘本 英輝	精神医学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
239	造影CTを用いた細胞外容積分画(ECV)による脾線維化の評価と脾臓癌との関係	福井 秀行	放射線医学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
240	骨形成不全症モデルマウスの作製と4-フェニル酪酸の効果と作用機序の検証	武鍵 真司	小児科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
241	大腸癌微小環境における治療標的としての線維芽細胞活性化機構の解明	吉井 俊輔	消化器内科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
242	早期食道癌に対する化学療法の効果予測因子の探索と低侵襲治療の開発	辻井 芳樹	消化器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
243	代謝イメージングに基づく薬剤性心筋症の新規診断指標と治療効果判定指標の確立	千村 美里	循環器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
244	骨髄増殖性腫瘍幹細胞のクローン拡大におけるシグナル制御分子STAPの機能解析	戸田 淳	血液・腫瘍内科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
245	関節リウマチ患者の腸内細菌叢・真菌叢の解析	前田 悠一	呼吸器・免疫内科学講座	2,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
246	COVID-19におけるサイトカイン放出症候群発症機序の解明とリスク因子の同定	森田 貴義	呼吸器・免疫内科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
247	血中T-カドヘリンの存在様式と生理的意義の解明	福田 士郎	内分泌・代謝内科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
248	代謝性血管障害における肝由来XORと脂肪由来アディポネクチンの意義の解明	藤島 裕也	内分泌・代謝内科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
249	脂肪細胞由来ケトン体による脂肪細胞機能の制御および恒常性維持機構の解明	西谷 重紀	ライフスタイル医学寄附講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
250	iPS心筋由来エクソソーム内包含成パーティクルによる心筋再生治療法の開発	樫山 紀幸	心臓血管外科学講座	2,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
251	股関節X線画像から大腿骨近位部骨密度を推定するシステムの構築	上村 圭亮	運動器医工学治療学寄附講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
252	老化に伴うコラーゲン架橋形成に着目した半月板の老化メカニズム解明	辻井 聡	整形外科科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
253	子宮平滑筋肉腫におけるKIF4Aの腫瘍増殖に与える影響の解明と新規治療法の開発	中川 慧	産科学婦人科学講座	2,860,000	補	独立行政法人日本学術振興会
254	マウス卵管オルガノイドを用いた、安価でスピーディな新規卵巣がんマウスモデルの樹立	中村 幸司	産科学婦人科学講座	2,860,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
255	HPV関連中咽頭癌に対する複数体液を組み合わせたリキッドバイオプシーの意義	田中 秀憲	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
256	頭頸部扁平上皮癌を高悪性化させるスライミング異常を標的とする治療法の開発	北村 公二	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
257	粗ぞう性嗄声における音響学的多様性とその発声機構の解明	細川 清人	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	2,860,000	補	独立行政法人日本学術振興会
258	ウェアラブルデバイスを用いたスポーツ活動中の心臓活動モニタリング法の検討	横山 光樹	スポーツ医学講座	3,510,000	補	独立行政法人日本学術振興会
259	生活習慣因子と各臓器における異所性脂肪蓄積についての網羅的解析	馬殿 恵	ライフスタイル医学寄附講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
260	脂肪組織における多機能性分子Myoferlinの病態生理機能及び個体老化への関与	野里 陽一	老年・総合内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
261	睥異所性脂肪蓄積と関連する生活習慣因子の解明	馬殿 恵	ライフスタイル医学寄附講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
262	Bcl2-L-13の心臓におけるマイトファジー制御機構の解明と創薬への応用	村川 智一	循環器内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
263	intravitalイメージング技術を用いた幹細胞の心筋修復効果の検証	松浦 良平	心臓血管外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
264	成人脊柱変形のQOL、治療効果を最適に評価できる疾患特異的尺度の開発	藤森 孝人	整形外科科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
265	国際共同研究によるメカノバイオロジーを応用した細胞外小胞診断のための基盤構築	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	4,550,000	補	独立行政法人日本学術振興会
266	アジアの神経発達症～表現型・背景因子・重症度と予後に関する共同レジストリ研究	橘 雅弥	小児発達神経学領域	4,810,000	補	独立行政法人日本学術振興会
267	Rubiconを介した膵癌治療抵抗性のメカニズム解明と新規治療法の開発	小林 省吾	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
268	Rubiconを介した膵癌治療抵抗性のメカニズム解明と新規治療法の開発	江口 英利	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
269	ミトコンドリア分解制御機構の解明と心不全創薬への応用	種池 学	循環器内科学講座	62,685	補	独立行政法人日本学術振興会
270	コホート・生体試料支援プラットフォーム	村山 繁雄	(小児科・子ども)環境関連	5,894,200	補	独立行政法人日本学術振興会
271	サルコペニアを促進する病態における運動の有効性に関するIL-15の役割の解明	樂木 宏実	老年・総合内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
272	異分野連携による $\alpha$ 線核医学治療の効果予測に向けた線量評価システムの開発	渡部 直史	核医学講座	6,500,000	補	独立行政法人日本学術振興会
273	多領域検体・多層オミックス解析で多様性を凌駕する真の肝内胆管がん治療標的の同定	江口 英利	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
274	定量キラルメタボロミクスを実現する三次元LC分析基盤開発と腎・心不全の早期診断	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
275	治療・診断統合による次世代ドラッグデリバリー可視化システムの実証	加藤 弘樹	核医学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
276	創傷治癒過程における皮膚創部の酸化ストレス耐性獲得機構の解明	久保 盾貴	形成外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
277	重粒子線照射の膵癌細胞死・免疫応答分子機構解明と外科治療への応用展望研究課題	小川 和彦	放射線治療学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
278	重粒子線照射の膵癌細胞死・免疫応答分子機構解明と外科治療への応用展望研究課題	江口 英利	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
279	重粒子線照射の膵癌細胞死・免疫応答分子機構解明と外科治療への応用展望研究課題	林 和彦	放射線治療学講座	26,000	補	独立行政法人日本学術振興会
280	腸内細菌叢(特にAM菌)と肥満・糖尿病外科手術後減量・糖尿病改善効果の関連の解明	西塔 拓郎	消化器外科学2講座	184,600	補	独立行政法人日本学術振興会
281	生命科学連携推進協議会	村山 繁雄	(小児科・子ども)環境関連	234,000	補	独立行政法人日本学術振興会
282	HASPINキナーゼ阻害剤の前立腺がん抑制に関する解析	福原 慎一郎	泌尿器科学講座	325,000	補	独立行政法人日本学術振興会
283	子宮頸部小細胞癌の臨床病理学的解析と治療抵抗性メカニズムの解明	上田 豊	産科学婦人科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
284	新規AUG非依存性RAN翻訳の分子機構とその神経変性病態における役割	森 康治	精神医学講座	5,720,000	補	独立行政法人日本学術振興会
285	画像・音声認識と料理データベースによる食事記録システム開発、及び疫学研究での応用	川崎 良	視覚情報制御学(トブコン)寄附講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
286	皮質脳波の長期超高密度多点計測による運動情報の解読とBMIへの応用	平田 雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
287	人工関節患者の筋骨格動態四次元認識システムの開発	菅野 伸彦	運動器医工学治療学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
288	人工関節患者の筋骨格動態四次元認識システムの開発	高尾 正樹	整形外科科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
289	深層学習、シミュレーション、統計モデルを融合した人工股関節手術の意思決定支援	菅野 伸彦	運動器医工学治療学寄附講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
290	深層学習、シミュレーション、統計モデルを融合した人工股関節手術の意思決定支援	高尾 正樹	整形外科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
291	ヘッドマウントディスプレイを用いた視覚矯正・補助フレームワークの構築	森本 壮	視覚機能形成学寄附講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
292	競技者のコンディショニング評価のための実践的低侵襲性評価方法の開発	中田 研	スポーツ医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
293	出産の危機状況を医療、女性の身体、子供の命の視点から解明するエスノグラフィ研究	木村 正	産科学婦人科学講座	325,000	補	独立行政法人日本学術振興会
294	機械学習・深層学習を併用した骨関節診断・手術支援の実装と最適化	菅本 一臣	運動器バイオマテリアル学寄附講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
295	放射性標識抗体を用いた高分解能PETによる膵がん超早期画像診断法の開発	下瀬川 恵久	医薬分子イメージング学共同研究講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
296	放射性標識抗体を用いた高分解能PETによる膵がん超早期画像診断法の開発	渡部 直史	核医学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
297	油脂の嗜好性が肥満を誘導する機構と肥満を抑制する機構	佐々木 勉	神経難病認知症探索治療学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
298	分子疫学的コホート研究による遺伝性心血管疾患のリスク層別化・病態解明・治療薬探索	朝野 仁裕	医化学講座	91,000	補	独立行政法人日本学術振興会
299	赤血球回復時定数100倍激変現象の解明	坂田 泰史	循環器内科学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
300	赤血球回復時定数100倍激変現象の解明	大谷 朋仁	循環器内科学講座	325,000	補	独立行政法人日本学術振興会
301	脊髄損傷の早期修復を目指したアポトーシス細胞模倣型抗炎症ポリマーの開発	田中 啓之	運動器スポーツ医科学共同研究講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
302	ミャンマーのカルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌を分子疫学・地政学的視点で解明する	濱口 重人	変革的ヒト検体解析学(日本財団)寄附講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
303	保健師を中心に地域に広げる子宮頸がん予防対策の普及プログラム	上田 豊	産科学婦人科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
304	敗血症性脳症の非侵襲計測と分子病態の統合解析による積極的治療介入の再考察	小倉 裕司	救急医学講座	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
305	IoT機器を活用した在宅腎臓リハビリテーションの遠隔支援システムの構築	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	100,100	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
306	ブータンに暮らす高齢者の健康を守るための創造型地域研究	坂本 陽子	循環器内科学講座	636,371	補	独立行政法人日本学術振興会
307	3次元医用画像からの臓器自動抽出: 人工知能が出力する確信度は精度改善に有用か?	大西 裕満	放射線医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
308	糖尿病や加齢が認知症の後天的危険因子である分子メカニズムの多角的解明	村山 繁雄	(小児科・子ども)環境関連	364,000	補	独立行政法人日本学術振興会
309	At-211標識アミノ酸を用いた治療効果の高い $\alpha$ 線治療法の創出	渡部 直史	核医学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
310	RNA修飾によるがん悪性化機構の解明	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
311	皮質脳波BMIのニューロリハビリテーションへの応用	平田 雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	2,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
312	小児てんかんQOL評価尺度QOLCE-J超短縮版の開発とICTへの適応	下野 九理子	高次脳機能損傷学領域	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
313	高リスク心疾患に対する栄養・加齢・幹細胞の炎症への影響と組織再生能評価	宮川 繁	心血管外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
314	膵癌におけるケモカインを介したがん間質(CAF)との相互作用メカニズムの解明	江口 英利	消化器外科学2講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
315	線維芽細胞を標的とする肺線維症・間質性肺炎および肺癌の新たな治療戦略の探索	舟木 壮一郎	呼吸器外科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
316	線維芽細胞を標的とする肺線維症・間質性肺炎および肺癌の新たな治療戦略の探索	新谷 康	呼吸器外科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
317	抗EGFR抗体獲得耐性大腸癌におけるMUC1-Cを標的とした適応型治療の開発	植村 守	消化器外科学1講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
318	肝胆膵領域癌における転移・浸潤・治療抵抗性に関する分子機構の解明	山田 大作	消化器外科学2講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
319	肝胆膵領域癌における転移・浸潤・治療抵抗性に関する分子機構の解明	高橋 秀典	消化器外科学2講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
320	外傷特異的なメモリー制御性T細胞免疫応答の解明と臨床応用への基盤研究	小倉 裕司	救急医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
321	コホート・生体試料支援プラットフォーム	村山 繁雄	(小児科・子ども)環境関連	5,894,200	補	独立行政法人日本学術振興会
322	深層学習、シミュレーション、統計モデルを融合した人工股関節手術の意思決定支援	上村 圭亮	運動器医工学治療学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
323	ブータンに暮らす高齢者の健康を守るための創造型地域研究	坂本 陽子	循環器内科学講座	636,371	補	独立行政法人日本学術振興会
324	HIV陽性者に対する精神・心理的支援のための身体科主治医と精神科専門職の連携体制構築に資する研究	池田 学	精神医学	9,999,000	補	厚生労働省
325	脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	海渡 貴司	整形外科	250,000	補	厚生労働省
326	生まれ年度によるHPVワクチン接種環境の違いに着目した子宮頸がん罹患リスクの評価・子宮頸がん検診受診勧奨手法の開発とHPVワクチンの有効性評価	上田 豊	産科学婦人科学	9,997,000	補	厚生労働省
327	稀少てんかんに関する包括的研究	青天目 信	小児科学	600,000	補	厚生労働省
328	ホルモン受容機構異常に関する調査研究	大藪 恵一	小児科学	11,068,000	補	厚生労働省
329	指定難病と小児慢性特定疾病に関連した先天性骨系統疾患の適切な診断の実施と医療水準およびQOLの向上をめざした研究	窪田 拓生	小児科学	650,000	補	厚生労働省
330	指定難病と小児慢性特定疾病に関連した先天性骨系統疾患の適切な診断の実施と医療水準およびQOLの向上をめざした研究	大藪 恵一	小児科学	650,000	補	厚生労働省
331	認知症の家族のための「パーソナルBPSDケア電子ノート」と「疾患別認知行動療法プログラム」の開発と効果検証のための研究	池田 学	精神医学	11,200,000	補	厚生労働省
332	難治性腎障害に関する調査研究	猪阪 善隆	腎臓内科学	750,000	補	厚生労働省
333	腎疾患対策検討会報告書に基づく対策の進捗管理および新たな対策の提言に資するエビデンス構築	猪阪 善隆	腎臓内科学	700,000	補	厚生労働省
334	神経変性疾患領域の基盤的調査研究	望月 秀樹	神経内科学	700,000	補	厚生労働省
335	小児期・移行期を含む包括的対応を要する希少難治性肝胆疾患の調査研究	別所 一彦	小児科学	150,000	補	厚生労働省
336	妊婦健康診査、産婦健康診査における妊産婦支援の総合的評価に関する研究	木村 正	産科学婦人科学	500,000	補	厚生労働省
337	強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診察ガイドライン・疾患レジストリに関する研究	藤本 学	皮膚科学	8,549,000	補	厚生労働省
338	強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診察ガイドライン・疾患レジストリに関する研究	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学	200,000	補	厚生労働省
339	強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診察ガイドライン・疾患レジストリに関する研究	植田 郁子	皮膚科学	200,000	補	厚生労働省

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
340	併存疾患に注目した認知症重症化予防のための研究	山本 浩一	老年・総合内科学	800,000	補	厚生労働省
341	原発性脂質異常症に関する調査研究	小関 正博	循環器内科学	200,000	補	厚生労働省
342	慢性腎臓病(CKD)に対する全国での普及啓発の推進、地域における診療連携体制構築を介した医療への貢献	猪阪 善隆	腎臓内科学	900,000	補	厚生労働省
343	難治性小児消化器疾患の医療水準向上および移行期・成人期のQOL向上に関する研究	奥山 宏臣	小児成育外科学	700,000	補	厚生労働省
344	プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	望月 秀樹	神経内科学	3,600,000	補	厚生労働省
345	前眼部難病の標準的診断基準およびガイドライン作成のための調査研究	西田 幸二	眼科学	24,000,000	補	厚生労働省
346	前眼部難病の標準的診断基準およびガイドライン作成のための調査研究	大家 義則	眼科学	500,000	補	厚生労働省
347	呼吸器系先天異常疾患の診療体制構築とデータベースおよび診療ガイドラインに基づいた医療水準向上に関する研究	奥山 宏臣	小児成育外科学	300,000	補	厚生労働省
348	新生児スクリーニング対象疾患等の先天代謝異常症における生涯にわたる診療体制の整備に関する研究	青天目 信	小児科学	600,000	補	厚生労働省
349	血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する肝移植を含めた外科治療に関する研究	江口 英利	消化器外科学1	200,000	補	厚生労働省
350	標準的な生殖医療の知識啓発と情報提供のためのシステム構築に関する研究	福原 慎一郎	泌尿器科学	1,000,000	補	厚生労働省
351	MECP2重複症候群及びFOXG1症候群、CDKL5症候群の臨床調査研究	青天目 信	小児科学	300,000	補	厚生労働省
352	慢性腎臓病(CKD)患者に特有の健康課題に適合した多職種連携による生活・食事指導等の実証研究	猪阪 善隆	腎臓内科学	700,000	補	厚生労働省
353	特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者QOL向上に資する大規模多施設研究	菅野 伸彦	運動器医工学治療学寄附講座	8,060,000	補	厚生労働省
354	特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者QOL向上に資する大規模多施設研究	安藤 渉	運動器医工学治療学寄附講座	100,000	補	厚生労働省
355	稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	玉井 克人	再生誘導医学寄附講座	500,000	補	厚生労働省
356	循環器病の医療体制構築に資する自治体が利活用可能な指標等を作成するための研究	坂田 泰史	循環器内科学	4,000,000	補	厚生労働省

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
357	特発性心筋症に関する調査研究	坂田 泰史	循環器内科学	300,000	補	厚生労働省
358	循環器病対策推進基本計画に基づいた、都道府県の有用な目標指標の設定のための研究	坂田 泰史	循環器内科学	1,000,000	補	厚生労働省
359	ミトコンドリア病、レット症候群の調査研究	青天目 信	小児科学	500,000	補	厚生労働省
360	先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の難病に対する医療および移行期医療支援に関する研究	森本 壮	視覚機能形成学 寄附講座	200,000	補	厚生労働省
361	先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の難病に対する医療および移行期医療支援に関する研究	太田 有美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	200,000	補	厚生労働省
362	『AIの眼』による医療安全確保に関する研究	川崎 良	AI医療センター	1,500,000	補	厚生労働省
363	自己免疫疾患に関する調査研究	藤本 学	皮膚科学	1,000,000	補	厚生労働省
364	新薬創出を加速する症例データベースの構築・拡充/創薬ターゲット推定アルゴリズムの開発	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学	19,500,000	補	厚生労働省
365	感染症流行下における電話やオンラインによる非接触の妊産婦健診の安全性と質向上のための研究	木村 正	産科学婦人科学	2,275,000	補	厚生労働省
366	強直性脊椎炎に代表される脊椎関節炎及び類縁疾患の医療水準ならびに患者QOL向上に資する大規模多施設研究	富田 哲也	運動器バイオマテリアル学	5,005,000	補	厚生労働省
367	慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	松田 陽一	麻酔・集中治療医学	200,000	補	厚生労働省
368	発達障害児(者)支援事業	谷池 雅子	子どものこころの分子統御機構研究センター	14,995,000	委	堺市
369	さかいっこひろばにおける発達障害児支援業務	谷池 雅子	子どものこころの分子統御機構研究センター	14,000,000	委	堺市
370	試料集積の方法検討、トランスレーショナル実施案検討	小川 和彦	放射線治療学	100,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター
371	フレイル高齢者のレジストリ研究及びロコモ、サルコペニアを含めた病態解明及び予防介入法の確立を目指した臨床ならびに関連研究	楽木 宏実	老年・総合内科学	600,000	委	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
372	高齢者運動器疾患における老化を基盤とした包括的診療体系の共創	海渡 貴司	整形外科	750,000	委	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
373	電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	下村 伊一郎	内分泌・代謝内科学	300,000	委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
374	筋レポジトリの拡充とそれを活用した筋ジストロフィー関連疾患の病態解明と診断・治療法開発	中森 雅之	神経内科学	400,000	委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
375	筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者を対象としてNPO22を用いてKP-100ITを脊髄腔内投与することによる有効性および安全性を検証するプラセボを対照とした二重盲検期および非盲検継続投与期からなる第Ⅱ相試験(医師主導治験)	望月 秀樹	神経内科学	1,500,000	委	国立大学法人東北大学
376	産官学連携プロジェクト高齢者健康寿命延伸実証研究	酒井 智彦	高度救命救急センター	1,350,000	委	豊能町
377	ジャパン・スポーツ・サイバーフィジカルシステム(JS-CPS)構築研究事業拠点	中田 研	スポーツ医学	39,231,000	委	スポーツ庁
378	アジアにおけるCOVID-19外出制限の発達障がい児と家族への影響と支援ニーズ	橋 雅弥	小児発達神経学領域	1,900,000	委	(独)日本学術振興会
379	人間力活性化によるスーパー日本人の育成と産業競争力の増進(医学系研究科・熊ノ郷)	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学	14,820,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
380	人間力活性化によるスーパー日本人の育成と産業競争力の増進(連合小児・谷池)	谷池 雅子	こころの発達神経科学(小児発達神経学)	22,295,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
381	人間力活性化によるスーパー日本人の育成と産業競争力の増進(医学系研究科・西田)	西田 幸二	眼科学	14,430,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
382	人間力活性化によるスーパー日本人の育成と産業競争力の増進(医学系研究科・今村)	今村 亮一	泌尿器科学	17,550,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
383	シヌクレイン細胞間伝搬機構の解明	池中 建介	神経内科学	10,459,800	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
384	エクソソームの生体内ダイナミクスの解明	望月 秀樹	神経内科学	18,070,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
385	皮質脳波計測の総括とrBCIの検証	貴島 晴彦	脳神経外科学	13,650,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
386	1細胞計測システムを用いた癌や免疫細胞特性の非侵襲的計測方法の確立	高松 漂太	呼吸器・免疫内科学	15,600,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
387	安全・安心・スマートな長寿社会実現のための高度な量子アプリケーション技術の創出(課題5)	渡部 直史	核医学	5,000,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
388	腸管免疫に着目したパーキンソン病における臓器間ネットワークの解明	木下 允	神経内科学	9,100,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
389	侵襲型BMIによるCA制御の研究開発	平田 雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	1,300,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
390	大脳基底核深部電極を使用したBrain Machine Interface開発	谷 直樹	脳神経外科	10,554,700	委	国立研究開発法人科学技術振興機構

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
391	状態遷移を制御する血管正常化療法の開発	福嶋 葉子	眼科学	9,750,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
392	動的異常翻訳のメカニズムとその病的意義	森 康治	精神医学	17,160,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
393	新規核医学治療薬・診断法の開発と放射化による薬剤可視化技術の検討 (ERATO片岡ラインX線ガンマ線イメージングプロジェクト)	加藤 弘樹	核医学	13,000,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
394	iPS細胞由来角膜上皮細胞シートのFirst-in-human 臨床研究	西田 幸二	眼科学	60,560,500	委	日本医療研究開発機構
395	革新的ハイブリッド細胞療法による癌の個別化先進医療の研究開発	木村 正	産科学婦人科学講座	20,800,000	委	日本医療研究開発機構
396	AIを用いた重症心筋症に対する再生医療のPrecision medicineの実践	宮川 繁	最先端再生医療学	19,500,000	委	日本医療研究開発機構
397	難治性心筋症疾患特異的iPS細胞を用いた集学的創薬スクリーニングシステムの開発と実践	宮川 繁	最先端再生医療学共同研究講座	65,400,000	委	日本医療研究開発機構
398	無虹彩症に生じる眼異常の発症機構の解明と治療法の開発	西田 幸二	眼科学	47,736,000	委	日本医療研究開発機構
399	難治性骨軟骨疾患に対する革新的iPS創薬技術の開発と応用	大藪 恵一	小児科学	4,000,000	委	日本医療研究開発機構
400	SCRUM-Japan MONSTAR-SCREENプロジェクト基盤を活用した血液循環腫瘍DNAゲノムスクリーニングに基づく相同組換え遺伝子変異を有する固形がんに対する医師主導治験	加藤 大悟	泌尿器科学	66,300,000	委	日本医療研究開発機構
401	「乳児急性リンパ性白血病の新規治療戦略確立をめざす国際共同第Ⅲ相試験に向けた多施設共同第Ⅱ相臨床試験」開発研究	宮村 能子	小児科学	14,313,000	委	日本医療研究開発機構
402	Stage II大腸癌に対する術後補助化学療法の有用性に関する研究	植村 守	消化器外科学1	260,000	委	日本医療研究開発機構
403	安静時脳波により超早期認知症を検出・識別する人工知能の開発と検証	池田 学	精神医学	21,450,000	委	日本医療研究開発機構
404	人工知能を用いたてんかん治療の最適化に関する研究開発	貴島 晴彦	脳神経外科学	20,800,000	委	日本医療研究開発機構
405	核酸標的低分子によるトリプレットリピート病の治療開発	中森 雅之	神経内科学	37,050,000	委	日本医療研究開発機構
406	拡張型心筋症に対する新規治療法確立を目指した収縮・代謝連関の分子機序解明	木岡 秀隆	循環器内科学	8,892,000	委	日本医療研究開発機構
407	NASH及び非B非C型肝炎の病態解明と治療標的探索	小玉 尚宏	消化器内科学	29,500,000	委	日本医療研究開発機構

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
408	B型肝炎ウイルス持続感染モデルを用いた病態解明及び創薬研究	竹原 徹郎	消化器内科学	124,180,000	委	日本医療研究開発機構
409	C型肝炎ウイルス排除後の肝発癌などの肝病態進展機構および予測因子の解明	竹原 徹郎	消化器内科学	20,150,000	委	日本医療研究開発機構
410	B型肝炎ウイルスの感染複製増殖機構解明による創薬基盤形成に関する研究	疋田 隼人	消化器内科学	3,900,000	委	日本医療研究開発機構
411	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者の網羅的遺伝子・タンパク発現解析を用いた新規分子病態バイオマーカー開発と臨床応用	小倉 裕司	救急医学	1,950,000	委	日本医療研究開発機構
412	精巣内クレアチンの病態意義解明に基づく非侵襲的な精巣内造精能画像評価法と精巣内精子採取術ナビゲーションシステムの開発	福原 慎一郎	泌尿器科学	15,600,000	委	日本医療研究開発機構
413	更年期障害の早期かつ客観的な診断が可能な新規パッチ式計測シートの研究開発	澤田 健二郎	産科学婦人科学	10,720,000	委	日本医療研究開発機構
414	好中球活性化制御分子のヒト肺癌における抗腫瘍免疫応答への関与の解明	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学	25,805,000	委	日本医療研究開発機構
415	幹細胞システムに基づく4次元眼組織リモデリング機構とその破綻による疾患発症機序の解明	西田 幸二	眼科学	57,200,000	委	日本医療研究開発機構
416	革新的オンライン管理型心臓リハビリテーションシステムの医師主導治験	坂田 泰史	循環器内科学	45,908,300	委	日本医療研究開発機構
417	関節内変形治療骨折手術に対するカスタムメイド手術ガイド実用化のための医師主導治験	村瀬 剛	整形外科	41,614,430	委	日本医療研究開発機構
418	外傷性骨折後変形治療症例に対するカスタムメイド治療法の研究開発	村瀬 剛	整形外科	1,175,200	委	日本医療研究開発機構
419	腎虚概念に基づくフレイル治療選択に資する尺度(腎虚スコア)開発と牛車腎気丸エキス製剤の抗レイル・サルコペニア効果に関する前向き研究	萩原 圭祐	先進融合医学共同研究講座	1,101,750	委	日本医療研究開発機構
420	家族性大腸腺腫症に対するWT1がんワクチン免疫療法第II相医師主導治験	西田 純幸	呼吸器・免疫内科学	29,878,498	委	日本医療研究開発機構
421	膵がん患者を対象とした、新規LAT1阻害剤の安全性と有効性を探索する医師主導臨床治験	竹原 徹郎	消化器内科学	29,354,000	委	日本医療研究開発機構
422	患者レジストリ(Remudy)を活用した筋強直性ジストロフィーに対するエリスロマイシンの安全性及び有効性を検討する多施設共同プラセボ対照二重盲検並行群間比較試験	中森 雅之	神経内科学	53,300,000	委	日本医療研究開発機構
423	ワイヤレス体内埋込型ブレイン・マシン・インターフェース装置による意思伝達機能再建に関する検証的治験	平田 雅之	脳機能診断再建学	94,900,000	委	日本医療研究開発機構
424	【若手支援分(5005)】難治性心筋症疾患特異的iPS細胞を用いた集学的創薬スクリーニングシステムの開発と実践疾患	坂田 泰史	循環器内科学	5,400,000	委	日本医療研究開発機構

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
425	難治性甲状腺がんに対する標的アルファ線核医学治療の医師主導治験	渡部 直史	核医学	85,323,000	委	日本医療研究開発機構
426	経口セマグルチドによるパーキンソン病の疾患修飾療法に関する研究開発	木村 康義	神経内科学	6,500,000	委	日本医療研究開発機構
427	多発性骨髄腫に対する臍帯血由来CAR-NK細胞療法の開発	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	17,550,000	委	日本医療研究開発機構
428	リボソームの機能改善を目指した筋萎縮性側索硬化症(ALS)の新規治療法の開発	長野 清一	神経難病認知症探索治療寄附講座	32,509,002	委	日本医療研究開発機構
429	心臓核医学検査による特発性心筋症病態層別化指標の確立	坂田 泰史	循環器内科学	8,450,000	委	日本医療研究開発機構
430	COVID-19感染症患者に対するSARS-catchカラムに関する研究開発	猪阪 善隆	腎臓内科学	44,200,000	委	日本医療研究開発機構
431	急性骨髄性白血病に対する新規CAR-T細胞療法の開発	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	13,000,000	委	日本医療研究開発機構
432	RNA標的創薬技術開発／新規RNA標的医薬品の研究開発(RNA結合PPR蛋白を用いた難治性神経筋疾患における異常RNA標的治療)	中森 雅之	神経内科学	39,000,000	委	日本医療研究開発機構
433	制御性T細胞を介した筋萎縮性側索硬化症の病態機序の解明と治療法の開発	長野 清一	神経難病認知症探索治療寄附講座	15,600,000	委	日本医療研究開発機構
434	脊椎関節炎を標的としたIL-17Aワクチン(FPP003)の臨床応用	富田 哲也	運動器バイオマテリアル学寄附講座	71,857,401	委	日本医療研究開発機構
435	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者の網羅的遺伝子・タンパク発現解析を用いた新規分子病態バイオマーカー開発と臨床応用	小倉 裕司	救急医学	7,806,084	委	日本医療研究開発機構
436	リアルワールドデータ品質評価指標の構築と臨床研究への応用	山田 知美	データセンター	3,900,000	補	独立行政法人日本学術振興会
437	敗血症性脳症の非侵襲計測と分子病態の統合解析による積極的治療介入の再考察	松浦 裕司	高度救命救急センター	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
438	治療薬開発へつなげるダウン症候群の神経病態発症原理の解明	北畠 康司	総合周産期母子医療センター	5,070,000	補	独立行政法人日本学術振興会
439	プレホスピタルでの心肺蘇生時における脳内酸素飽和度の推移に基づいた脳循環の解明	塩崎忠彦	高度救命救急センター	5,070,000	補	独立行政法人日本学術振興会
440	重症病態での腸内細菌叢を介した免疫システム解明と腸内細菌叢再構築のための治療戦略	清水 健太郎	高度救命救急センター	3,770,000	補	独立行政法人日本学術振興会
441	リアルワールドデータ品質評価指標の構築と臨床研究への応用	山田 知美	データセンター	5,719,529	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
442	公的資金が投入されている医療の公共性と公共財としての在り方に関する	森井 大一	感染制御部	129,956	補	独立行政法人日本学術振興会
443	異分野連携による $\alpha$ 線核医学治療の効果予測に向けた線量評価システムの開発	佐々木 秀隆	放射線部	194,700	補	独立行政法人日本学術振興会
444	リネゾリドとプロトンポンプ阻害薬の薬物間相互作用に関する基礎臨床的検討	長谷川 翼	薬剤部	422,279	補	独立行政法人日本学術振興会
445	ICTを活用したデータマネジメント業務の標準化・効率化モデル構築	神宮司 希和子	データセンター	42,827	補	独立行政法人日本学術振興会
446	スタッフの教育を加味した勤務スケジュールリングの最適化モデルと支援システムの構築	日高 国幸	放射線部	761,380	補	独立行政法人日本学術振興会
447	注視する目・見詰め合う目:救急医療のマルチモーダル分析国際共同研究	中村 京太	中央クオリティマネジメント部	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
448	骨髄由来抑制細胞(MDSC)による頭部外傷後神経炎症の抑制効果に関する研究	細見 早苗	高度救命救急センター	641,672	補	独立行政法人日本学術振興会
449	看護業務量推定のための方法論の構築	谷浦 葉子	看護部	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
450	中性脂肪蓄積心血管症における心筋脂肪酸代謝(I-123 BMIPP)の評価法	神谷 貴史	放射線部	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
451	もやもや病感受性遺伝子RNF213変異が脳梗塞をおこす機序の解明と治療戦略の探索	岡崎 周平	神経内科・脳卒中科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
452	核医学治療応用に向けた新規加速器製造放射性核種の開発	大江 一弘	核医学診療科	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
453	がんにて特異性の高いFBPAとFDGのPETを用いた免疫療法効果判定と副作用予測	巽光朗	核医学診療科	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
454	腫瘍低酸素部位特異的に集積するAt-211標識薬剤の開発	大江 一弘	核医学診療科	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
455	超高磁場MRI:多素子並列RF励起技術の安全性確立と局所超高分解能撮像への展開	山田 幸子	放射線部	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
456	急性腎障害におけるリポファジーの役割解明と治療への応用	高橋 篤史	血液浄化部	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
457	血小板インテグリン活性化の分子機構および血管病変形成における意義の解明	柏木浩和	血液・腫瘍内科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
458	同種造血幹細胞移植後の免疫再構築と同種免疫応答におけるSTAP蛋白の役割	西東 秀晃	血液・腫瘍内科	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
459	免疫チェックポイント機構による心不全の病態制御機構の 説明	河村 愛	心臓血管外科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興 会
460	レクチンを用いた子宮内膜症発症を制御する糖鎖構造の 説明	橋本 香映	産科婦人科	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興 会
461	ヒトパピローマウイルス関連中咽頭癌の新しい免疫学的治 療バイオマーカーの開発	武本 憲彦	耳鼻咽喉科・頭 頸部外科	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興 会
462	高齢者施設の種類の種類と特徴に応じた救急・災害医が関与した 災害計画と訓練手法の開発	射場 治郎	高度救命救急セ ンター	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興 会
463	地域包括ケアシステムにおけるPeer-to-peerネットワーク 構築の有効性検討	北村 温美	中央クオリティマ ネジメント部	780,000	補	独立行政法人日本学術振興 会
464	認知症高齢者における重症度・居住形態別ADLリハビリ テーション戦略の構築	石丸 大貴	神経科・精神科	65,000	補	独立行政法人日本学術振興 会
465	卵巣癌においてLSRが制御する脂質代謝経路の解析と抗 LSR抗体による阻害の検証	平松 宏祐	総合周産期母子 医療センター	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興 会
466	TDP-43発現低下における、fth I mRNAへの影響の解析	神野 隼輝	神経内科・脳卒 中科	2,583,296	補	独立行政法人日本学術振興 会
467	Dual-energy仮想非造影CTによる革新的な放射線治療計 画法の開発と実用化	山田 幸子	放射線部	780,000	補	独立行政法人日本学術振興 会
468	房室結節・洞結節に対する“クライオマッピング”の有用性 に関する検証	中野 智彰	循環器内科	1,022,289	補	独立行政法人日本学術振興 会
469	腎尿細管における糖新生とオートファジー不全の関わり	酒井 晋介	腎臓内科	390,000	補	独立行政法人日本学術振興 会
470	コリン作動性抗炎症経路による神経免疫系を介した全身炎 症の制御機序の解明	松原 庸博	高度救命救急セ ンター	765,737	補	独立行政法人日本学術振興 会
471	新規動物モデルを用いた夜間多尿の治療戦略の探索	関井 洋輔	泌尿器科	910,000	補	独立行政法人日本学術振興 会
472	直線加速度刺激装置を用いたP2X2受容体ノックアウトマウ スでの耳石器機能の研究	原田 祥太郎	耳鼻咽喉科・頭 頸部外科	718,936	補	独立行政法人日本学術振興 会
473	内耳有毛細胞の生体イメージング	清水 康太郎	耳鼻咽喉科・頭 頸部外科	19,800	補	独立行政法人日本学術振興 会
474	医療リアルワールドデータを活用したシスプラチン腎障害に 対する新規予防法の開発	奥田 真弘	薬剤部	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興 会
475	サルコペニアを促進する病態における運動の有効性に関 するIL-15の役割の解明	高橋 利匡	老年・高血圧内 科	650,000	補	独立行政法人日本学術振興 会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
476	ビタミンD補充によるサルコペニア治療の可能性を探る	赤坂 憲	老年・高血圧内科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
477	連続インピーダンスを用いた穿刺針位置確認システムの開発:ロボット支援との融合	大瀧 千代	麻酔科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
478	119番通報に人工知能を応用した新たな消防通信指令支援システムの開発に関する研究	入澤 太郎	高度救命救急センター	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
479	敗血症の炎症最適化のためのマーカーと分子病態分類の解明:HIVEP1の臨床応用	松本 寿健	高度救命救急センター	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
480	ホメオティック遺伝子HoxBの骨形成における機能解析	名井陽	未来医療開発部	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
481	低温度帯におけるエンドトキシン不活化を実現する革新的気相式滅菌デバイスの開発	岡崎 利彦	未来医療開発部	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
482	間葉系幹細胞の臨床応用へ向けた品質管理と評価マーカーの探索	岡本 美奈	未来医療開発部	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
483	抗CD3抗体活性の解明と新規治療法の創出	森田 将史	腎臓内科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
484	脳腫瘍に対するWT1経口がんワクチンの効果と腫瘍内浸潤リンパ球の検討	皆川 光	小児科	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
485	エクソソームを活用した第三世代EGFR-TKI耐性化バイオマーカーの探索	新谷 拓也	薬剤部	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
486	神経疾患における脳内胆汁酸の役割の解明	杉山 慎太郎	神経内科・脳卒中科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
487	アストロサイトイメージングによるNMOの病態評価	甲田 亨	神経内科・脳卒中科	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
488	エクソソームプロファイリングによるダウン症候群の肺高血圧症発症病態の解明	杉辺 英世	小児科	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
489	骨形成不全症におけるヒト臍帯由来間葉系幹細胞の治療効果	齊藤 広幸	未来医療開発部	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
490	ダウン症候群における病態責任遺伝子の同定を可能にする革新的な細胞モデルの確立	吉松 秀隆	小児科	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
491	WT1蛋白を基軸にした小児急性骨髄性白血病に対する免疫応答のバイオマーカー探索	五百井 彩	小児科	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
492	大腸癌におけるMAPK経路阻害時の代替機構と薬剤耐性メカニズムの解明	野瀬 陽平	消化器外科	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
493	非アルコール性脂肪肝炎の病態形成における $\omega$ -6脂肪酸代謝異常の意義	坂根 貞嗣	消化器内科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
494	圧ガイドワイヤーを用いた拡張型心筋症における微小血管障害の関与の解明	鈴木 康太	心臓血管外科	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
495	冠動脈疾患患者の予後を光干渉断層画像から機械学習で予測する	中村 大輔	循環器内科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
496	在宅心不全患者見守りに向けた、「歩容」指標の研究開発	小西 正三	医療情報部	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
497	重症虚血肢に対する細胞シート技術を応用した細胞塊注入法の再生治療効果の検討	三宅 啓介	心臓血管外科	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
498	オートファジー抑制因子Rubiconの阻害による老化制御の試み	中村 隼	血液浄化部	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
499	人工知能を用いて解明する腎病理組織変化の本態	松本あゆみ	血液浄化部	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
500	血球分化障害をきたす機能未知の遺伝子の解析	中井 りつこ	血液・腫瘍内科	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
501	細胞積層法を用いたiPS細胞由来高機能三次元組織グラフトの実現	美濃地 貴之	消化器外科	2,860,000	補	独立行政法人日本学術振興会
502	吸水性スポンジを用いたctDNAモニタリングによるGISTの治療耐性診断法の開発	山下 公太郎	消化器外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
503	難治性胆道癌における癌悪性化に伴う周囲免疫反応の推移に関わる検討	吉原 輝一	消化器外科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
504	大腸癌における新規標的タンパク、MTDH/SND1タンパクの機能解析について	在田 麻美	消化器外科	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
505	大腸癌微小環境における自然リンパ球の役割の解明	竹田 佑	消化器外科	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
506	食道扁平上皮癌の治療抵抗性改善薬としての人工環状RNA医薬の開発	阪野 佳弘	消化器外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
507	新規細胞死フェロトーシスを標的とした肺移植後虚血再灌流障害に対する治療法の開発	松井 優紀	呼吸器外科	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
508	特発性肺線維症の線維芽細胞が高分泌するPeriostinが肺癌へ与える影響の研究	大和 寛幸	呼吸器外科	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
509	CKAP4 Sandwich-ELISAを用いた新規肺癌血清マーカーの開発	名越 章裕	呼吸器外科	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
510	メタゲノム及びメタボローム解析による重症病態の腸内環境デザインの開発	村津 有紗	高度救命救急センター	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
511	第一次爆傷による単独軽症頭部外傷によって局所および全身に惹起される反応	戸上 由貴	高度救命救急センター	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
512	脂肪特異的Atg5KOマウスを用いた敗血症病態におけるオートファジーの機能解明	蛭原 健	高度救命救急センター	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
513	難治性髄芽腫に対する分子標的治療開発の試み	中川 智義	脳神経外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
514	ワーラー変性における細胞内エネルギー代謝の病態解明	竹中 朋文	脳神経外科	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
515	癌ゲノム・タンパク統合解析による腎癌PD-L1発現機構解明と治療選択マーカー確立	洪 陽子	泌尿器科	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
516	膀胱細菌叢をターゲットとした過活動膀胱の根治療法の開発	岡田 紘一	泌尿器科	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
517	膀胱癌特異的エクソソームタンパクによる癌微小環境調節機序の解明と診断キット開発	富山 栄輔	泌尿器科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
518	糖転移酵素による糖鎖修飾に着目したECRS難治化の病態解明	中谷 彩香	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
519	BMP8Bを介した骨芽細胞による好酸球性副鼻腔炎難治メカニズムの解明	小幡 翔	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
520	中耳真珠腫のsingle cell RNA解析及び保存的治療薬の開発	清水 康太郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
521	UVA活性リポフラビンをを用いたコラーゲン架橋による根面う蝕再石灰化療法の新規開発	上村 怜央	歯科治療室	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
522	大腸癌における三次リンパ組織形成ならびに抗腫瘍免疫誘導機構の解明	伊藤 善郎	消化器外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
523	Notchシグナルと食道癌転移のメカニズムの解明と臨床応用にむけて	杉本 智樹	消化器外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
524	脂肪組織における多機能性分子Myoferlinの病態生理機能及び個体老化への関与	野里 陽一	老年・高血圧内科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
525	骨転移に対する新規血液バイオマーカーGDPP発現メカニズムの解明	山道 岳	泌尿器科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
526	医療ビッグデータ解析を基盤としたシスプラチン難聴予防法の開発	池村 健治	薬剤部	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
527	i型CRISPRを利用した新規エピゲノム型トリソミックレスキュー誘導性の開発	北畠 康司	総合周産期母子医療センター	52,000	補	独立行政法人日本学術振興会
528	肺微小乳頭がん様オルガノイドにおける上皮頂底極性形成機構とがん転移への関与の解明	梅田 大介	病理部	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
529	言語性記憶力を推定する脳磁図検査法の確立	荒木 俊彦	臨床検査部	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
530	腸管細胞の獲得免疫における動態評価	皆川 光	小児科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
531	新規治療戦略を見据えた膵α細胞機能とDPP-4発現の病態学的解析	河盛 段	糖尿病・内分泌・代謝内科	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
532	小胞体ストレス応答を司る長鎖ノンコーディングRNA 革新的治療への展開	市原 もも子	消化器外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
533	臨床検体のシングルセル解析による大腸癌幹細胞の代謝機構の解明	板倉 弘明	消化器外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
534	新規抗酸化剤を用いた頭部外傷後の神経機能回復に関する研究	細見 早苗	高度救命救急センター	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
535	シングル細胞シーケンスを用いた敗血症における免疫抑制病態の解明と新規治療法開発	伊藤 弘	高度救命救急センター	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
536	トランスクリプトームを用いた心停止の分子ネットワーク病態の解明と神経予後予測	中尾 俊一郎	高度救命救急センター	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
537	コロナ時代の救急・災害現場における非接触型健康情報共有ツールの有用性に関する研究	酒井 智彦	高度救命救急センター	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
538	腸内細菌による新たな脳動脈瘤破裂予防法の開発	中川 僚太	脳神経外科	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
539	ナノポア技術と機械学習を用いた新たな微生物迅速診断検査系の確立	吉村 旬平	高度救命救急センター	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
540	熱中症の炎症惹起メカニズム解明とプレホスピタルにおける早期重症度評価	島崎 淳也	高度救命救急センター	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
541	機械学習に基づく完全自動化された骨関節三次元動態解析システムの開発	佐原 亘	リハビリテーション部	3,250,000	補	独立行政法人日本学術振興会
542	大阪臨床研究ネットワーク基盤を利用した新規骨転移血液バイオマーカーの多施設研究	山道 岳	泌尿器科	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
543	多光子励起イメージング技術による新規低侵襲卵巣内がん微小残存病変の検出	佐治 史恵	生殖医療センター	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
544	水素による移植組織内酸化ストレスの制御と生着率向上への試み	大谷 直矢	形成外科	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
545	口腔癌骨浸潤に対するIL-12発現型第三世代がん治療用HSV-1の治療効果の検討	内橋 俊大	歯科治療室	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
546	臨床研究における「被験者保護」の構造と運用に関する国内外比較論と今後の展望	山本洋一	未来医療開発部	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
547	適応的に機能する急変対応システムの有用性と実装にむけた研究	中村 京太	中央クオリティマネジメント部	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
548	会話分析を用いた協同意思決定過程の解明	中島 和江	中央クオリティマネジメント部	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
549	監察医機関における熱中症解剖例の分子診断・病態解明、背景分析に関する研究	吉澤 秀憲	病理部	3,380,000	補	独立行政法人日本学術振興会
550	膝前十字靭帯損傷の予防に向けたElastomeric Strapの開発	木村 佳記	リハビリテーション部	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
551	膝蓋骨傾斜角の新たな計測法の開発と膝蓋腱付着部症の発生メカニズムの解明	木村 佳記	リハビリテーション部	32,500	補	独立行政法人日本学術振興会
552	膝蓋骨傾斜角の新たな計測法の開発と膝蓋腱付着部症の発生メカニズムの解明	山田 大智	リハビリテーション部	32,500	補	独立行政法人日本学術振興会
553	機械学習・深層学習を併用した骨関節診断・手術支援の実装と最適化	佐原 亘	リハビリテーション部	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
554	分子バーコードを用いたNGS解析でのctDNA評価による乳癌の遠隔再発リスク診断	吉波 哲大	乳腺・内分泌外科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
555	癌微小環境において肝星細胞が肝癌細胞増殖に与える機序の解明	明神 悠太	消化器内科	218,704	補	独立行政法人日本学術振興会
556	非古典的NF-KB経路による肝-胆管細胞分化転換を介した胆管癌発症機構の解明	塩出 悠登	消化器内科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
557	代謝イメージングに基づく薬剤性心筋症の新規診断指標と治療効果判定指標の確立	千村 美里	循環器内科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
558	腎臓の老化におけるp53とオートファジーの協調的なDNA損傷応答機構の解明	山本 毅士	腎臓内科	3,250,000	補	独立行政法人日本学術振興会
559	糸球体上皮細胞におけるRho-GTPase制御機構を解明する	松田 潤	腎臓内科	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
560	心不全における腎うっ血の有効な評価法と長期的腎保護療法の確立	岡 樹史	腎臓内科	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
561	ナノボア技術と機械学習を用いた、抗酸菌感染症における迅速検査法に関する研究	奥野 英雄	感染制御部	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
562	末期重症心不全における心筋モデリングに対するM2マクロファージの関与の検討	山下 築	心臓血管外科	2,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
563	爆発外傷モデルの開発と後遺症に対する慢性期にかけての抗炎症療法の検討	松浦 裕司	高度救命救急センター	2,730,000	補	独立行政法人日本学術振興会
564	骨肉腫転移株の作製と転移メカニズムの解明	安田 直弘	整形外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
565	新規NF- $\kappa$ B阻害ペプチドによる新規変形性関節症治療法の開発	恵谷 悠紀	整形外科	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
566	認知症の物盗られ妄想に関連する生活環境因子の同定	石丸 大貴	神経科・精神科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
567	新規のゲノム編集技術をもちいたダウン症候群の革新的遺伝子治療法の開発	北畠 康司	総合周産期母子医療センター	2,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
568	iPS細胞由来心筋exosomeを用いた新規cell-free心臓再生療法の開発	富永 佑児	心臓血管外科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
569	血中エクソソーム内の細菌叢情報を用いた尿路上皮癌の早期血液診断薬の開発	山本 顕生	泌尿器科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
570	体内水素発生を惹起する経口シリコン製剤を用いた腎保護効果に関する作用機序の解明	植村 俊彦	泌尿器科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
571	尿中エクソソーム内の細菌遺伝情報をを用いた新たな早期腎癌診断薬の開発	植村 俊彦	泌尿器科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
572	制限付き平均生存時間の差を治療効果指標とした代替エンドポイントの統計的評価手法	齋多 遼太郎	データセンター	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
573	前頭側頭型認知症におけるごみ屋敷の成因の探索	埜本 大喜	神経科・精神科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
574	神経障害性疼痛モデルマウスにおけるGaboxadolの全身投与の鎮痛効果と副作用	博多 紗綾	緩和医療センター	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
575	腸内細菌叢の変化を用いたくも膜下出血後早期脳損傷の新規予防法と治療法の開発	川端 修平	脳神経外科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
576	深層学習によるてんかんの脳波・脳磁図の自動診断	藤田 祐也	脳神経外科	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
577	炎症性腸疾患における脳腸関連の機序の解明	良原 丈夫	消化器内科	3,250,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
578	腸内細菌叢が前立腺癌の進展に与える影響とそのメカニズムの解明)	松下 慎	泌尿器科	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
579	低酸素イメージングFRP-170-PETを用いたTH-302併用放射線治療の検討	一瀬 浩司	放射線診断科	1,929,207	補	独立行政法人日本学術振興会
580	老化促進マウスを用いたパーキンソン病理における老化	佐木山 裕史	神経内科・脳卒中科	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
581	筋強直性ジストロフィーの骨格筋障害機構解明)	蓮池 裕平	神経内科・脳卒中科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
582	機械学習を用いた画像診断レポートからの情報抽出と利活用に関する研究	武田 理宏	医療情報部	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
583	CRISPR/Cas9治療によるB型肝炎ウイルスcccDNA切断後の病態解明	村井 一裕	消化器内科	314,357	補	独立行政法人日本学術振興会
584	内因性NF-κB転写阻害因子MTI-IIによる分娩制御機構の解明と治療効果の検討	瀧内 剛	総合周産期母子医療センター	2,925	補	独立行政法人日本学術振興会
585	悪性髄膜種に対するWT1ペプチドワクチン療法の開発	平山 龍一	脳神経外科	1,124,357	補	独立行政法人日本学術振興会
586	末梢神経パルス高周波法を用いた人口膝関節置換術後遅延性術後痛の予防法開発	植松 弘進	麻酔科	2,402	補	独立行政法人日本学術振興会
587	脂肪細胞由来ケトン体による脂肪細胞機能の制御および恒常性維持機構の解明	西谷 重紀	糖尿病・内分泌・代謝内科	823,672	補	独立行政法人日本学術振興会
588	脾異所性脂肪蓄積と関連する生活習慣因子の解明	馬殿 恵	糖尿病・内分泌・代謝内科	902,953	補	独立行政法人日本学術振興会
589	小児固形腫瘍の初代培養方法の確率と臨床応用に向けた開発研究	塚田 遼	小児外科	863,431	補	独立行政法人日本学術振興会
590	3次元血管化脾組織による1型糖尿病に対する新規脾島移植治療の開発	高市 翔平	消化器外科	776,919	補	独立行政法人日本学術振興会
591	ヒト内軟骨性骨化モデルに於ける成長軟骨帯形成メカニズムの解明	木村 武司	小児科	438,695	補	独立行政法人日本学術振興会
592	拡張型心筋症の病態解明を目指した非侵襲的心筋性状・代謝MRイメージング法の開発	上田 淳平	老年・高血圧内科	64,693	補	独立行政法人日本学術振興会
593	新型コロナウイルス感染症に対する院内および施設内感染対策の確立に向けた研究	森井 大一	感染制御部	845,132	補	厚生労働省
594	キャッスルマン病、TAFRO症候群、類縁疾患の診療ガイドラインの策定や更なる改良に向けた国際的な総意形成を踏まえた調査研究	水木 満佐央	血液・腫瘍内科	200,000	補	厚生労働省

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
595	血液凝固異常症等に関する研究	柏木 浩和	輸血部	1,200,000	補	厚生労働省
596	前眼部難病の標準的診断基準およびガイドライン作成のための調査研究	山田 知美	データセンター	500,000	補	厚生労働省
597	難治性小児消化器疾患の医療水準向上および移行期・成人期のQOL向上に関する研究	上野 豪久	小児外科	200,000	補	厚生労働省
598	医療機関における医療安全および業務効率化に資する医薬品・医療機器のトレーサビリティ確立に向けた研究	武田 理宏	医療情報部	650,000	補	厚生労働省
599	レジリエント・ヘルスケアによる医療の質向上・安全推進に資する研究	中島 和江	中央クオリティマネジメント部	3,500,000	補	厚生労働省
600	令和3年度次世代医療機器連携拠点整備等事業	中島 清一	消化器外科	10,000,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
601	臨床研究中核病院の活用による革新的医薬品・医療機器等の創出促進に向けた先進的AROモデルの構築	土岐 裕一郎	消化器外科	240,040,920	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
602	臨床研究中核病院の活用による革新的医薬品・医療機器等の創出促進に向けた先進的AROモデルの構築	土岐 裕一郎	消化器外科	100,659,500	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
603	異分野融合型研究の推進による自立循環型新規医療創出基盤の確立	名井 陽	未来医療開発部	50,000,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
604	戦略的TR推進による自立循環型新規医療創出基盤の確立	名井 陽	未来医療開発部	90,100,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
605	臨床研究総合促進事業	土岐 裕一郎	消化器外科	63,125,000	補	厚生労働省
606	StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験	水島 恒和	消化器外科	33,000	補	公益財団法人がん集学的治療研究財団
607	ヒスタミンH1受容体拮抗薬治療抵抗性慢性蕁麻疹患者におけるピラスチンへの切り替え治療の有効性に関する他施設共同(H1-SWITCH)	中川 幸延	皮膚科	43,796	委	国立大学法人神戸大学
608	胃癌術後補助化学療法中の支持療法の有用性についてのランダム化比較試験	土岐 祐一郎	消化器外科	100,000	委	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター
609	パーキンソン病発症前から発症後に連続する神経回路病態の解明とトランスレータブル指標の開発	望月 秀樹	神経内科・脳卒中科	127,170	委	国立精神・神経医療研究センター
610	繰返し入院する慢性心不全患者を対象としたASV療法の予後に関する前向きコホート研究:再入院や死亡に関する影響を検討する縦断的観察研究-SAVIOR-L-	大谷 朋仁	循環器内科	154,000	委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
611	治療効果判定におけるPETとその他の画像診断との比較検討に関する研究	巽 光朗	放射線部	600,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
612	J-TRCオンサイト研究(認知症プレリニカル期プロドローマル期を対象とするトライアルレディコホート構築研究)	吉山 顕次	神経科・精神科	638,602	委	国立大学法人東京大学
613	フルルベタビル(18F)注射液を用いたアミロイドイメージングによる診断インパクト臨床研究	池田 学	神経科・精神科	679,250	委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
614	肝生検病理診断基準均一化	森井 英一	病理部	695,000	委	市立貝塚病院
615	泉州地区の骨髄疾患を対象とする病理学的検討	森井 英一	病理部	950,000	委	市立岸和田市民病院
616	AMCAD試験:患者リクルート	岡崎 周平	神経内科・脳卒中科	1,000,000	委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
617	救急電話相談事業による緊急度判定が救急搬送患者の予後に与える影響評価	中川 雄公	高度救命救急センター	10,388,188	委	消防庁
618	障害者対策総合研究開発事業(精神障害分野)(薬剤師による介入技法の開発)	山本 智也	薬剤部	130,000	委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
619	臨床研究・治験推進研究事業(トシリズマブ効果不十分の特発性多中心性キャスルマン病に対するシロリムスの医師主導治験)	水木 満佐央	化学療法部	400,000	委	国立大学法人長崎大学病院
620	革新的がん医療実用化研究事業(MAGE-A4抗原を発現する切除不能進行・再発腫瘍に対するCAR-T細胞療法の医師主導第I相治験)	山田 知美	データセンター	780,000	委	国立大学法人三重大学
621	再生医療実用化研究事業(AYA世代難治性固形がんに対する新規GD2特異的CAR-T療法の研究開発における統計学的検討)	山田 知美	データセンター	1,000,000	委	国立大学法人三重大学
622	新興・再興感染症研究基盤創生事業(海外拠点研究領域)(国際共同臨床研究支援Academic Research Organizationのニーズ調査研究)	中谷 大作	未来医療開発部	1,040,000	委	公立大学法人大阪
623	医薬品等規制調和・評価研究事業(再製造単回使用医療機器の洗浄工程における清浄性評価に関する研究)	高階 雅紀	材料部	1,300,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
624	再生医療実用化研究事業(治験プロトコルの策定における統計学的検討)	山田 知美	データセンター	1,300,000	委	国立大学法人三重大学
625	橋渡し研究プログラム(感覚刺激による潜在的な生命保護作用誘導技術「感覚創薬」による敗血症治療薬の開発)	清水 健太郎	高度救命救急センター	1,300,000	委	学校法人関西医科大学
626	2021年度臨床試験段階において試験の準備から出口戦略までの一貫した管理を担うスタディマネージャーの育成システムの開発に関する研究	岩崎 幸司	臨床研究センター	1,586,000	委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
627	臨床研究・治験推進研究事業 生物統計家育成推進事業(京都大学大学院における臨床統計家育成推進のための大学院・卒後一貫したプログラム構築)	山田 知美	データセンター	2,000,000	委	国立大学法人京都大学
628	令和3年度「感染症パンデミックに対応する国際医療協力としての国際研究開発促進スキーム及びe-臨床研究・治験プラットフォームの形成事業」	中田 研	国際医療センター	9,750,000	委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
629	難治性疾患実用化研究事業(脊髄髄膜瘤胎児手術の先進医療への展開)	遠藤 誠之	胎児診断治療センター	10,872,084	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
630	(NC)2021年度再生医療実用化基盤整備促進事業	西田 幸二	未来医療開発部	20,150,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
631	令和2年度繰越分・感染症分野における日本とアジア諸国の国際研究開発協力を促進する臨床研究・治験プラットフォーム形成と実証事業	中田 研	国際医療センター	27,809,085	委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
632	難治性疾患実用化研究事業(脊髄髄膜瘤胎児手術の先進医療への展開)	遠藤 誠之	胎児診断治療センター	39,981,630	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
633	COVID-19 パンデミック時代における心不全悪化の早期検出に向けた遠隔診療システムの構築	榎田 浩禎	心臓血管外科	57,044,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
634	(iPS)2021年度再生医療実用化基盤整備促進事業	土岐 祐一郎	教育研究支援課	71,435,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
635	AI基盤拠点病院の確立	土岐 祐一郎	AI医療センター	171,764,000	委	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
636	再発又は難治性のCD30陽性皮膚原発悪性リンパ腫を対象としたブレントキシマブ・ベドチンの有効性及び安全性を確認する多施設共同第II相医師主導試験	清原 英司	皮膚科	4,005,300	委	岡山大学病院
637	視線計測装置及び視線計測装置用診断プログラム(GF01)による自閉スペクトラム症(ASD)の診断能に関する多施設共同試験	谷池 雅子	小児科	473,200	委	国立大学法人浜松医科大学
638	血中循環腫瘍 DNA で HER2 遺伝子増幅が検出された切除不能固形がん患者を対象とする DS-8201a 療法の多施設共同臨床第 II 相試験	佐藤 太郎	消化器外科	600,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター
639	筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者を対象としてNP022を用いてKP-100ITを脊髄腔内投与することによる有効性および安全性を検証するプラセボを対照とした二重盲検期および非盲検継続投与期からなる第II相試験	望月 秀樹	神経内科・脳卒中科	3,679,000	委	国立大学法人東北大学
640	EPI-589の筋萎縮性側索硬化症を対象とした探索的試験	長野 清一	神経内科・脳卒中科	7,098,000	委	国立大学法人徳島大学
641	原発性眼内悪性リンパ腫に対するONO-4059(プルトンキナーゼ阻害剤)の医師主導による第II相二重盲検比較試験	丸山 和一	眼科	1,045,000	委	国立大学法人東京大学
				3,596,247,766		

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入力すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を入力すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を入力す

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別	PubMed ID
1	Sotomi Y, Hikoso S, Komukai S, et al.	循環器内科	Phenotyping of acute decompensated heart failure with preserved ejection fraction	Heart. 2022 Jan 5;heartjnl-2021-320270	Original Article	34987067
2	Oka T, Koyama Y, Tanaka K, et al.	循環器内科	Post-ablation left atrial function impacts long-term recurrence of atrial fibrillation after ablation	Heart Vessels. 2022 Feb;37(2):315-326.	Original Article	34342674
3	Shiraki T, Ichibori Y, Ohtani T, et al.	循環器内科	Pathophysiological evaluations of initial plaque development after heart transplantation via serial multimodality imaging and cytokine assessments	J Heart Lung Transplant. 2022 Mar 16;S1053-2498(22)01851-4	Original Article	35400587
4	Kanno K, Koseki M, Chang J, et al.	循環器内科	Pemafibrate suppresses NLRP3 inflammasome activation in the liver and heart in a novel mouse model of steatohepatitis-related cardiomyopathy	Sci Rep. 2022 Feb 22;12(1):2996.	Original Article	35194060
5	Sunaga A, Hikoso S, Yamada T, et al.	循環器内科	Abdominal obesity, and not general obesity, is associated with a lower 123I MIBG heart-to-mediastinum ratio in heart failure patients with preserved ejection fraction	Eur J Nucl Med Mol Imaging. 2022 Jan;49(2):609-618.	Original Article	33715034
6	Hakui H, Kioka H, Miyashita Y, et al.	循環器内科	Loss-of-function mutations in the co-chaperone protein BAG5 cause dilated cardiomyopathy requiring heart transplantation	Sci Transl Med. 2022 Jan 19;14(628):eabf3274.	Original Article	35044787
7	Hiroyuki Inoue, Satoki Nakamura, Shuichiro Higo, et al.	循環器内科	Modeling reduced contractility and impaired desmosome assembly due to plakophilin-2 deficiency using isogenic iPS cell-derived cardiomyocytes	Stem Cell Reports. 2022 Feb 8;17(2):337-351.	Original Article	35063130
8	Nakamura D, Dohi T, Ishihara T, et al.	循環器内科	Predictors and outcomes of neoatherosclerosis in patients with in-stent restenosis	EuroIntervention. 2021 Aug 27;17(6):489-496.	Original Article	32985411
9	Oeun B, Hikoso S, Nakatani D, et al.	循環器内科	Prognostic significance of dipstick proteinuria in heart failure with preserved ejection fraction: insight from the PURSUIT-HFpEF registry	BMJ Open. 2021Sep;11:9	Original Article	34526341
10	Yokoi K, Mizote I, Shiraki T, et al.	循環器内科	Differences in routes of guiding catheters for left coronary artery according to access sites assessed by the combined angiography-computed tomography system	Cardiovasc Interv Ther. 2021 Jul;36(3):298-306.	Original Article	32537725
11	Sotomi Y, Ueda Y, Hikoso S, et al.	循環器内科	Manual Thrombus Aspiration and its Procedural Stroke Risk in Myocardial Infarction	J Am Heart Assoc. 2021Nov;10:22	Original Article	34779225
12	Sotomi Y, Iwakura K, Hikoso S, et al/	循環器内科	Prognostic significance of the HFA-PEFF score in patients with heart failure with preserved ejection fraction	ESC Heart Fail. 2021Jun;8:3:2154-2164	Original Article	33760383
13	Shinomiya H, Kato H, Kuramoto Y, et al.	循環器内科	Aberrant accumulation of TMEM43 accompanied by perturbed transmural gene expression in arrhythmogenic cardiomyopathy	FASEB J. 2021Nov;35:11	Original Article	34674311

14	Shiba M, Higo S, Kondo T, et al.	循環器内科	Phenotypic recapitulation and correction of desmoglein-2-deficient cardiomyopathy using human-induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocytes	Hum Mol Genet. 2021Jul;30:15:1384-1397	Original Article	33949662
15	Sunaga A, Hikoso S, Yamada T, et al.	循環器内科	Prognostic impact of Clinical Frailty Scale in patients with heart failure with preserved ejection fraction	ESC Heart Fail. 2021Aug;8:4:3316-3326	Original Article	34151546
16	Chimura M, Ohtani T, Sera F, et al.	循環器内科	Focal severe decrease in myocardial technetium-99m sestamibi uptake indicates ventricular irreversibility in patients with dilated cardiomyopathy	Ann Nucl Med. 2021Aug;35:8:881-888	Original Article	34003458
17	Oeun B, Hikoso S, Nakatani D, et al.	循環器内科	Prognostic Impact of Echocardiographic Diastolic Dysfunction on Outcomes in Patients With Heart Failure With Preserved Ejection Fraction - Insights From the PURSUIT-HFpEF Registry	Circ J. 2021Dec;86:1:23-33	Original Article	34456213
18	Yasutake H, Lee JK, Hashimoto A, et al.	循環器内科	Decreased YAP activity reduces proliferative ability in human induced pluripotent stem cell of duchenne muscular dystrophy derived cardiomyocytes	Scientific Reports. 2021May;11:1:10351	Original Article	33990626
19	Satoshi Kameda, Fusako Sera, Kazuaki Sato, et al.	循環器内科	Polycythemia Vera Associated with Pulmonary Hypertension and Diffuse Large B-Cell Lymphoma: A Case Report	American Journal of Case Reports. 2021 Aug 26;22:e932956	Case report	34433800
20	Tomoka Tabata, Yuki Kuramoto, Tomohito Ohtani, et al.	循環器内科	Phospholamban p.Arg14del Cardiomyopathy: A Japanese Case Series	Internal Medicine.2021 Dec 182021	Case report	34924461
21	Yohei Sotomi , Shungo Hikoso , Daisaku Nakatani , et al.	循環器内科	Prevalence of the Japanese high bleeding risk criteria and its prognostic significance for fatal bleeding in patients with acute myocardial infarction	Heart Vessels. 2021 Oct;36(10):1484-1495	Original Article	33743047
22	Tahata Y, Sakamori R, Yamada R, et al.	消化器内科学	Prediction model for hepatocellular carcinoma occurrence in patients with hepatitis C in the era of direct-acting anti-virals.	Aliment Pharmacol Ther. 2021 Nov;54(10):1340-1349.	Original Article	34618934
23	Kozumi K, Kodama T, Murai H, et al.	消化器内科学	Transcriptomics Identify Thrombospondin-2 as a Biomarker for NASH and Advanced Liver Fibrosis.	Hepatology. 2021 Nov;74(5):2452-2466.	Original Article	34105780
24	Uema R, Hayashi Y, Tashiro T,	消化器内科学	Use of a convolutional neural network for classifying microvessels of superficial esophageal squamous cell carcinomas.	J Gastroenterol Hepatol. 2021 Aug;36(8):2239-2246.	Original Article	33694189
25	Kato M, Hayashi Y, Nishida T,	消化器内科学	Helicobacter pylori eradication prevents secondary gastric cancer in patients with mild-to-moderate atrophic gastritis.	J Gastroenterol Hepatol. 2021 Aug;36(8):2083-2090.	Original Article	33403702
26	Katakami N., Mita T., Yoshii H., Shiraiwa T., Yasuda T., et al.	内分泌・代謝内科	The Influence of Tofogliflozin on Treatment-Related Quality of Life in Patients with Type 2 Diabetes Mellitus	Diabetes Therapy.2021 Sep;12(9):2499-2515.	Original Article	34357559
27	Naoto Katakami , Tomoya Mita , Norikazu Maeda , et al	内分泌・代謝内科	Evaluation of the effect of tofogliflozin on the tissue characteristics of the carotid wall-a sub-analysis of the UTOPIA trial	Cardiovascular Diabetology.2022 Feb 5;21(1):19.	Original Article	35123483
28	Takahara M., Shiraiwa T., Maeno Y., et al.	内分泌・代謝内科	Association of obesity, diabetes, and physical frailty with dental and tongue-lip motor dysfunctions in patients with metabolic disease	Obesity Research and Clinical Practice.2021 Jun;15 (3): 243-248.	Original Article	33692009

29	Takahara M., Mita T., Katakami N., et al.	内分泌・代謝内科	Three-Year Glycaemic Control and Management in Patients with Type 2 Diabetes Initiating Second-Line Treatment in Japan: A Prospective Observational Study, J-DISCOVER	Diabetes Thor.2022 Feb;13(2):251-264.	Original Article	34962628
30	Mitsuyoshi Takahara , Osamu Iida , Yoshimitsu Soga , et al.	内分泌・代謝内科	Impact of homocysteine levels on mortality risk in patients with chronic limb-threatening ischemia undergoing revascularization	Heart and Vessels.2021 Jun;36(12):1825-1829.	Original Article	34131779
31	Mitsuyoshi Takahara	内分泌・代謝内科	Diabetes Mellitus and Lower Extremity Peripheral Artery Disease	JMA Journal.2021 Jul 15; 4(3): 225-231.	Review	34414316
32	Mitsuyoshi Takahara , Osamu Iida , Yoshimitsu Soga , et al.	内分泌・代謝内科	Features of asymptomatic contralateral limb in patients with chronic limb-threatening ischemia	Journal of Cardiology.2022 Jan;79(1):153-160.	Original Article	34470712
33	Mitsuyoshi Takahara , Osamu Iida , Yoshimitsu Soga , et al.	内分泌・代謝内科	Clinical Impact of Measures for Frailty Severity in Poor-Risk Patients Undergoing Revascularization for Chronic Limb-Threatening Ischemia	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis.2022 Feb 1; 29(2): 221-228.	Original Article	33518553
34	Mitsuyoshi Takahara, Naoto Katakami, Yasuaki Hayashino, et al.	内分泌・代謝内科	Different impacts of metabolic profiles on future risk of cardiovascular disease between diabetes with and without established cardiovascular disease: the Japan diabetes complication and its prevention prospective study 7 (JDCP study 7)	Acta Diabetologica.2022 Jan;59(1):57-65.	Original Article	34462827
35	Mitsuyoshi Takahara, Naoto Katakami, Yasuaki Hayashino, et al.	内分泌・代謝内科	Lifestyle changes and their impact on glycemic control and weight control in patients with diabetes during the coronavirus disease 2019 pandemic in Japan	Journal of Diabetes Investigation.2022 Feb;13(2):375-385.	Original Article	33768726
36	Mitsuyoshi Takahara, Toshihiko Shiraiwa, Yoshifumi Maeno, et al.	内分泌・代謝内科	Screening for a Decreased Masticatory Function by a Color-changeable Chewing Gum Test in Patients with Metabolic Disease	Internal Medicine.2022 Mar 15; 61(6): 781-787.	Original Article	35296621
37	Hirotaka Watanabe, Mitsuyoshi Takahara, Naoto Katakami, et al.	内分泌・代謝内科	Preoperative fundus examination in patients with diabetes scheduled for surgery	Journal of Diabetes Investigation. 2021 Aug;12(8):1508-1511.	Original Article	33319481
38	Hirotaka Watanabe, Mitsuyoshi Takahara, Naoto Katakami, et al.	内分泌・代謝内科	Acute effects of whole body vibration exercise on post-load glucose metabolism in healthy men: a pilot randomized crossover trial	Endocrine.2022 Mar;75(3):752-759.	Original Article	34599693
39	Hirotaka Watanabe, Mitsuyoshi Takahara, Naoto Katakami, et al.	内分泌・代謝内科	Letter to the Editor from Watanabe et al: "long-term Glycemic Variability and Vascular Complications in Type 2 Diabetes: Post Hoc Analysis of the FIELD Study"	The Journal of clinical endocrinology and metabolism.2021 Apr 23;106(5):e2376-e2377.	Letter	33564886
40	Taya N., Katakami N., Mita T., et al.	内分泌・代謝内科	Associations of continuous glucose monitoring-assessed glucose variability with intima-media thickness and ultrasonic tissue characteristics of the carotid arteries: a cross-sectional analysis in patients with type 2 diabetes	Cardiovascular Diabetology.2021 May 4;20(1):95.	Original Article	33947398
41	Taya N., Katakami N., Omori K., et al.	内分泌・代謝内科	Evaluation of change in metabolome caused by comprehensive diabetes treatment: A prospective observational study of diabetes inpatients with gas chromatography/mass spectrometry-based non-target metabolomic analysis	Journal of diabetes investigation.2021 Dec;12(12):2232-2241.	Original Article	34032389
42	Matsumoto K, Shiroyama T, Miyake K	呼吸器内科	Management of severe hypertension due to lenvatinib in patients with advanced thymic carcinoma: A case report.	Medicine (Baltimore). 2022 Jan 7;101(1):e28476.	Case report	35029896

43	Yaga M, Shiroyama T, Hirata H	呼吸器内科	Lipoid Pneumonia After Pembrolizumab Treatment for Advanced Non-Small-Cell Lung Cancer.	Clin Lung Cancer. 2022 Mar;23(2):e116-e117.	Case report	34980563
44	Niitsu T, Shiroyama T, Hirata H	呼吸器内科	Cytomegalovirus infection in critically ill patients with COVID-19.	J Infect. 2021 Oct;83(4):496-522.	Original Article	34252496
45	Adachi Y, Shiroyama T, Yamaguchi Y	呼吸器内科	Predicting recurrence of respiratory failure in critically ill patients with COVID-19: A preliminary study.	J Infect. 2021 May;82(5):e33-e35.	Original Article	33503468
46	Amiya S, Fujimoto J, Matsumoto K	呼吸器内科	Case report: Acute exacerbation of interstitial pneumonia related to mRNA COVID-19 vaccination.	Int J Infect Dis. 2022 Mar;116:255-257.	Case report	35065256
47	Takatoshi Enomoto, Takayuki Shiroyama, Haruhiko Hirata	呼吸器内科	COVID-19 in a human T-cell lymphotropic virus type-1 carrier	Clin Case Rep. 2022 Feb 15;10(2):e05463.	Case report	35223018
48	Yuko Abe, Yasuhiko Suga, Kiyoharu Fukushima	呼吸器内科	Advances and Challenges of Antibody Therapeutics for Severe Bronchial Asthma	Int J Mol Sci. 2021 Dec 22;23(1):83.	Review	35008504
49	Suga Y, Nagatomo I, Kinehara Y	呼吸器内科	IL-33 Induces Sema4A Expression in Dendritic Cells and Exerts Antitumor Immunity.	J Immunol. 2021 Sep 1;207(5):1456-1467.	Original Article	34380650
50	Takayuki Niitsu, Tomoki Kuge, Kiyoharu Fukushima	呼吸器内科	Pleural Effusion Caused by Mycolicibacterium mageritense in an Immunocompetent Host: A Case Report.	Front Med (Lausanne). 2021 Nov 24;8:797171.	Case report	34901097
51	Yuji Yamamoto, Takayuki Shiroyama, Haruhiko Hirata	呼吸器内科	Prolonged corticosteroid therapy and cytomegalovirus infection in patients with severe COVID-19.	J Med Virol. 2022 Mar;94(3):1067-1073.	Original Article	34708883
52	Kinnosuke Matsumoto, Takayuki Shiroyama, Tomoki Kuge	呼吸器内科	Impact of treatment timing and sequence of immune checkpoint inhibitors and anti-angiogenic agents for advanced non-small cell lung cancer: A systematic review and meta-analysis.	Lung Cancer. 2021 Dec;162:175-184.	Original Article	34823108
53	Kawasaki, T., Sugihara, F., Fukushima, K	呼吸器内科	Loss of FCHSD1 leads to amelioration of chronic obstructive pulmonary disease.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2021 Jun 29;118(26):e2019167118.	Original Article	34168078
54	Amiya, S., Hirata, H., Shiroyama, T.	呼吸器内科	Fatal cytomegalovirus pneumonia in a critically ill patient with COVID-19.	Respirol Case Rep. 2021 Jun 8;9(7):e00801.	Case report	34136262
55	Hara Y, Morita T, Tanaka K et al.	免疫内科	Pulmonary artery hypertension prior to the relapse of adult-onset Still's disease.	Respirol Case Rep. 2021 Apr 28;9(5):e00746.	Case report	33959294
56	Shima Y, Watanabe A, Inoue N et al.	免疫内科	Proximal heat stress up-regulates angiotensin-1 in fingers and reduces the severity of Raynaud's phenomenon in systemic sclerosis: a single-centre pilot study.	Mod Rheumatol. 2022 Feb 28;32(2):351-357	Original Article	34894267
57	Shimagami H, Yamaguchi Y, Kato Y et al.	免疫内科	Marked increase of interferon- $\beta$ after BNT162b2 mRNA vaccination: a case of polyarthritis with pleurisy.	BMJ case reports 15(3) 2022年3月2日	Case report	35236680
58	Nishide M, Yagita M, Kumanogoh A	免疫内科	Continuous use of Etanercept during pregnancy does not affect TNF-alpha levels in umbilical cord blood.	Biologics. 2022 Mar 31;16:17-19.	Case report	35386275
59	Fujimoto S, Wakabayashi T, Maruyama K, et al.	免疫内科	Anterior chamber flare and ciliochoroidal detachment using flare photometry and anterior segment optical coherence tomography in acute lupus choroidopathy: A case report.	Am J Ophthalmol Case Rep. 2022 Jan 31;25:101314.	Case report	35146195
60	Maeda Y, et al.	免疫内科	Comparison of efficacy between anti-IL-6 receptor antibody and other biological disease-modifying antirheumatic drugs in the patients with rheumatoid arthritis who have knee joint involvement: the ANSWER cohort, retrospective study.	Rheumatol Int. 2021 Jul;41(7):1233-1241.	Original Article	33903963

61	Funakoshi K, Morita T, Kumanogoh A.	免疫内科	Longer Prehospitalization and Preintubation Periods in Intubated Non-survivors and ECMO Patients With COVID-19: A Systematic Review and Meta-Analysis.	Front Med (Lausanne). 2021 Oct 15;8:727101.	Original Article	34722567
62	Yagita M, Morita T, Kumanogoh A.	免疫内科	Therapeutic efficacy of denosumab for rheumatoid arthritis: a systematic review and meta-analysis.	Rheumatol Adv Pract. 2021 Dec 17;5(3):rkab099.	Original Article	34988358
63	Okamoto M, Kawada S, Fujii N et al.	免疫内科	Rapid attenuation of anti-SARS-CoV-2 antibody in patients with musculoskeletal diseases who reinitiated intensive immunosuppressive therapies after COVID-19.	Arthritis Rheumatol. 2021 Oct 25;10.1002/art.42003.	Original Article	34694062
64	Kawasaki T, Kitada S, Fukushima K,	免疫内科	The Diagnosis of Nontuberculous Mycobacterial Pulmonary Disease by Single Bacterial Isolation Plus Anti-GPL-Core IgA Antibody	Microbiol Spectr. 2022 Feb 23;10(1):e0140621.	Original Article	34985326
65	Nakanishi Y, Kang S, Kumanogoh A.	免疫内科	Neural guidance factors as hubs of immunometabolic cross-talk.	Int Immunol. 2021 Nov 25;33(12):749-754.	Review	34174067
66	Nakanishi Y, Kang S, Kumanogoh A.	免疫内科	Axon guidance molecules in immunometabolic diseases.	Inflamm Regen. 2022 Jan 19;42(1):5.	Review	35045890
67	Nishida S, Morimoto S, Oji Y, et al.	免疫内科	Cellular and Humoral Immune Responses Induced by an HLA Class I-restricted Peptide Cancer Vaccine Targeting WT1 Are Associated With Favorable Clinical Outcomes in Advanced Ovarian Cancer.	J Immunother. 2022 Jan 1;45(1):56-66.	Original Article	34874330
68	Nakata J, Isohashi K, Oka Y, et al.	免疫内科	Imaging Assessment of Tumor Response in the Era of Immunotherapy.	Diagnostics (Basel). 2021 Jun 5;11(6):1041.	Review	34198874
69	Hosen N, S Yoshihara, H Takamatsu, et al.	血液・腫瘍内科	Expression of activated integrin beta7 in multiple myeloma patients.	Int J Hematol. 2021 Jul;114(1):3-7. doi: 10.1007/s12185-021-03162-2. Epub 2021 May 17.	Original Article	33999338
70	Ichii M, Oritani K, Toda J, et al.	血液・腫瘍内科	Signal-transducing adaptor protein-1 and protein-2 in hematopoiesis and diseases.	Exp Hematol. 2022 Jan;105:10-17. doi: 10.1016/j.exphem.2021.11.002. Epub 2021 Nov 12.	Original Article	34780812
71	Ueda Y, Takamori H, Nishimura JI.	血液・腫瘍内科	Pegcetacoplan versus Eculizumab in PNH.	N Engl J Med. 2021 Oct 28;385(18):1723-1724. doi: 10.1056/NEJMc2106424.	Letter	34706182
72	Sudo T, Motomura Y, Okuzaki D, et al.	血液・腫瘍内科	Group 2 innate lymphoid cells support hematopoietic recovery under stress conditions.	J Exp Med. 2021 May 3;218(5):e20200817. doi: 10.1084/jem.20200817.	Original Article	33666647
73	Saito H, Miyoshi H, Shibayama H, et al.	血液・腫瘍内科	High numbers of programmed cell death-1-positive tumor infiltrating lymphocytes correlate with early onset of post-transplant lymphoproliferative disorder.	Int J Hematol. 2021 Jul;114(1):53-64. doi: 10.1007/s12185-021-03129-3. Epub 2021 Mar 25.	Original Article	33765256
74	Shingai Y, Yokota T, Okuzaki D, et al.	血液・腫瘍内科	Autonomous TGF $\beta$ signaling induces phenotypic variation in human acute myeloid leukemia.	Stem Cells. 2021 Jun;39(6):723-736. doi: 10.1002/stem.3348. Epub 2021 Feb 15.	Original Article	33539590
75	Rakugi H, Yamakawa S, Sugimoto K.	老年・高血圧内科	Management of hyperkalemia during treatment with mineralocorticoid receptor blockers: findings from esaxerenone	Hypertens Res. 2021 Apr;44(4):371-385. doi: 10.1038/s41440-020-00569-y. Epub 2020 Nov 20.	Review	33214722
76	Nakagami H, Hayashi H, Shimamura M, et al	老年・高血圧内科	Therapeutic vaccine for chronic diseases after the COVID-19 Era.	Hypertens Res. 2021 Sep;44(9):1047-1053. doi: 10.1038/s41440-021-00677-3. Epub 2021 Jun 8.	Review	34099884
77	Yamamoto K, Rakugi H.	老年・高血圧内科	Angiotensin receptor-neprilysin inhibitors: Comprehensive review and implications in hypertension treatment	Hypertens Res. 2021 Oct;44(10):1239-1250. doi: 10.1038/s41440-021-00706-1. Epub 2021 Jul 21.	Review	34290389
78	Rakugi H.	老年・高血圧内科	Step for breaking free from clinical inertia	Hypertens Res. 2022 Jan;45(1):5-7. doi: 10.1038/s41440-021-00767-2. Epub 2021 Oct 17.	Letter	34657132

79	Yoshida S, Fujimoto T, Takahashi T, et al	老年・高血圧内科	Interleukin-15 receptor subunit alpha regulates interleukin-15 localization and protein expression in skeletal muscle cells	Exp Physiol. 2022 Mar;107(3):222-232. doi: 10.1113/EP090205. Epub 2022 Feb 20.	Original Article	35100657
80	Keisuke Hagihara, Kazuto Nunomura, Bangzhong Lin, et al.	漢方内科	Gosha-jinki-Gan (GJG) shows anti-aging effects through suppression of TNF- $\alpha$ production by Chikusetsusaponin V.	Gene. 2022 Mar 20;815:146178.	Original Article	34995733
81	Misumi Y, Kuratani T, Maeda K, et al	心臓血管外科	First Transcatheter Aortic Valve Implantation via Carotid Artery Performed in Japan	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2021 Aug 20;27(4):264-266. doi: 10.5761/atcs.cr.18-00201.	Original Article	30568074
82	Masuda H, Miyagawa S, Sugiura S, et al.	心臓血管外科	An application of a patient-specific cardiac simulator for the prediction of outcomes after mitral valve replacement: a pilot study	J Artif Organs. 2021 Sep;24(3):351-357. doi: 10.1007/s10047-021-01248-6.	Original Article	33740156
83	Miyagawa S, Mizoguchi H, Fukushima S, et al.	心臓血管外科	New regional drug delivery system by direct epicardial placement of slow-release prostacyclin agonist promise therapeutic angiogenesis in a porcine chronic myocardial infarction	J Artif Organs. 2021 Dec;24(4):465-472. doi: 10.1007/s10047-021-01259-3.	Original Article	33761039
84	Kainuma S, Toda K, Daimon T et al.	心臓血管外科	Bilateral Internal Thoracic Artery Grafting Improves Survival for Severe Left Ventricular Dysfunction and Diabetes	Circ J. 2021 Oct 25;85(11):1991-2001.	Original Article	33828021
85	Nakazato T, Yoshioka D, Toda K, et al.	心臓血管外科	Impact of tricuspid regurgitation on late right ventricular failure in left ventricular assist device patients ~can prophylactic tricuspid annuloplasty prevent late right ventricular failure?	J Cardiothorac Surg. 2021 Apr 20;16(1):99. doi: 10.1186/s13019-021-01492-0.	Original Article	33879203
86	Suzuki K, Miyagawa S, Liu L et al.	心臓血管外科	Therapeutic efficacy of large aligned cardiac tissue derived from induced pluripotent stem cell in a porcine ischemic cardiomyopathy model	J Heart Lung Transplant. 2021 Aug;40(8):767-777. doi: 10.1016/j.healun.2021.04.010.	Original Article	34108109
87	Kainuma S, Toda K, Miyagawa S et al.	心臓血管外科	Detrimental effects of elevated transpulmonary gradient on outcomes following restrictive mitral annuloplasty in patients with pre-existing pulmonary hypertension	J Thorac Dis. 2021 May;13(5):2746-2757. doi: 10.21037/jtd-20-2898.	Original Article	34164167
88	Domae K, Miyagawa S, Yoshikawa Y et al.	心臓血管外科	Clinical Outcomes of Autologous Stem Cell-Patch Implantation for Patients With Heart Failure With Nonischemic Dilated Cardiomyopathy	J Am Heart Assoc. 2021 Jul 6;10(13):e008649. doi: 10.1161/JAHA.117.008649.	Original Article	34212772
89	Misumi Y, Kainuma S, Toda K et al.	心臓血管外科	Left ventricle-mitral valve ring size mismatch following ring annuloplasty for nonischemic dilated cardiomyopathy	J Thorac Cardiovasc Surg. 2021 Jun 8:S0022-5223(21)00901-6. doi: 10.1016/j.jtcvs.2021.05.047.	Original Article	34246489
90	Mori D, Miyagawa S, Kido T et al.	心臓血管外科	Adipose-derived mesenchymal stem cells preserve cardiac function via ANT-1 in dilated cardiomyopathy hamster model	Regen Ther. 2021 Jul 9;18:182-190. doi: 10.1016/j.reth.2021.06.006.	Original Article	34307796
91	Hamada Y, Toda K, Kashiyama N et al.	心臓血管外科	Successful Radical Pericardiectomy for Porcelain Constrictive Pericarditis	JACC Case Rep. 2021 May 19;3(5):816-817. doi: 10.1016/j.jaccas.2021.03.024.	Original Article	34317632
92	Senzai M, Kainuma S, Toda K et al.	心臓血管外科	Clinical Outcomes Following Durable Mitral Valve Repair for Ischemic Mitral Regurgitation	Ann Thorac Surg. 2021 Sep 14:S0003-4975(21)01569-1. doi: 10.1016/j.athoracsur.2021.08.016.	Original Article	34534528
93	Mikami T, Yoshioka D, Kawamura T et al.	心臓血管外科	Active infective endocarditis of a bicuspid aortic valve causing left ventricular outflow tract pseudoaneurysm and right atrium shunt: A case report	Int J Surg Case Rep. 2021 Oct 18;88:106527. doi: 10.1016/j.ijscr.2021.106527.	Case report	34688076
94	Murakami T, Kainuma S, Toda K et al.	心臓血管外科	Acute Coronary Syndrome Requiring Coronary Artery Bypass Grafting in a Patient With Sotos Syndrome	JACC Case Rep. 2021 Oct 20;3(14):1630-1634. doi: 10.1016/j.jaccas.2021.07.007.	Original Article	34729517
95	Hasegawa M, Tominaga Y, Watanabe T et al.	心臓血管外科	Inferior to superior vena cava bypass for baffle stenosis after atrial switch	Ann Thorac Surg. 2021 Nov 12:S0003-4975(21)01895-6. doi: 10.1016/j.athoracsur.2021.09.074.	Original Article	34780765
96	Yoshida S, Miyagawa S, Matsuzaki T et al.	心臓血管外科	Chimerism through the activation of invariant natural killer T cells prolongs graft survival after transplantation of induced pluripotent stem cell-derived allogeneic cardiomyocytes	PLoS One. 2022 Mar 2;17(3):e0264317. doi: 10.1371/journal.pone.0264317. eCollection 2022.	Original Article	35235568

97	Tominaga Y, Ueno T, Taira M et al.	心臓血管外科	Infective endocarditis in an adult with unrepaired corrected transposition	SAGE Open Med Case Rep. 2022 Mar 15;10:2050313X221085101. doi:10.1177/2050313X221085101. eCollection 2022.	Original Article	35308053
98	Ose N, Takeuchi Y, Sakamaki Y, et al.	呼吸器外科	Detection of lymph node metastasis in non-small cell lung cancer patients using the new system of one-step nucleic acid amplification assay	PLOS ONE. 2022 Mar 21;17(3):e0265603.	Original Article	35312731
99	Kanou T, Minami M, Funaki S, et al.	呼吸器外科	Importance of the preoperative prognostic nutritional index score as a predictor of chronic lung allograft dysfunction after lung transplantation: A Japanese single-institution study	Surgery Today.2021 Dec;51(12):1946-1952.	Original Article	33839934
100	Kuno H, Akagi T, Fukui E, et al.	呼吸器外科	Three-Dimensional Idiopathic Pulmonary Fibrosis Model Using a Layer-by-Layer Cell Coating Technique	Tissue Eng Part C Methods. 2021 Jun;27(6):378-390.	Original Article	34074128
101	Kurokawa Y,Takeuchi H., Doki Y.,et al.	消化器外科	Mapping of Lymph Node Metastasis From Esophagogastric Junction Tumors: A Prospective Nationwide	Ann Surg. 2021 Jul 1;274(1):120-127.	Original Article	31404008
102	Makino T.,Hagi T., Doki Y.	消化器外科	Response to the Comment on "Pathological Regression of Lymph Nodes Better Predicts Long-Term Survival in Esophageal Cancer Patients Undergoing Neoadjuvant Chemotherapy Followed by Surgery"	Ann Surg. 2021 Dec 1;274(6):e842-e843.	Original Article	33214452
103	Uemura M.,Ikeda M., Handa R.,et al.	消化器外科	The efficiency of 18 F-FDG-PET/CT in the assessment of tumor response to preoperative chemoradiation therapy for locally recurrent rectal cancer	MC Cancer. 2021 Oct 21;21(1):1132.	Original Article	34674666
104	Koji Tanaka 1, Makoto Yamasaki 2, Tomoki Makino et	消化器外科	Analysis of prognostic factors in patients with lymph node recurrence after radical esophagectomy: importance of locoregional therapy.	Esophagus. 2021 Apr;18(2):195-202.	Original Article	32875459
105	Koji Tanaka 1, Makoto Yamasaki 2, Teruyuki Kobayashi et	消化器外科	Postoperative pneumonia in the acute phase is an important prognostic factor in patients with esophageal cancer	Surgery. 2021 Aug;170(2):469-477	Original Article	33933280
106	Koji Tanaka 1, Makoto Yamasaki 2, Keijiro Sugimura et	消化器外科	Thoracic Duct Resection Has a Favorable Impact on Prognosis by Preventing Hematogenous Spread of Esophageal Cancer Cells: A Multi-institutional Analysis of 2269 Patients	Ann Surg Oncol. 2021 Aug;28(8):4402-4410.	Original Article	33861403
107	Takayuki Ogino 1 2, Yuki Sekido 1, Tsuyoshi Hata et	消化器外科	The safety and feasibility of laparoscopic redo surgery for recurrent Crohn's disease: a comparative clinical study of over 100 consecutive patients	Ann Gastroenterol Surg. 2021 Dec 16;6(3):405-411.	Original Article	35634187
108	Daisaku Yamada 1, Shogo Kobayashi 1, Hidenori Takahashi 他	消化器外科	Randomized phase II study of gemcitabine and S-1 combination therapy versus gemcitabine and nanoparticle albumin-bound paclitaxel combination therapy as neoadjuvant chemotherapy for resectable/borderline resectable pancreatic ductal adenocarcinoma (PDAC-GS/GA-rP2, CSGO-HBP-015)	Trials. 2021 Aug 26;22(1):568.	Original Article	34446057
109	Takuro Saito 1, Koji Kurose 2, Takashi Kojima 3他	消化器外科	Phase Ib study on the humanized anti-CCR4 antibody, KW-0761, in advanced solid tumors	Nagoya J Med Sci. 2021 Nov;83(4):827-840	Original Article	34916725
110	Kotaro Yamashita 1, Yasuhiro Miyazaki 2, Daisaku Nakatani 3 他	消化器外科	OSK-0028 in patients with esophageal cancer undergoing esophagectomy:a double-blind,randomised controlled trial	Anticancer Res. 2021 Aug;41(8):3875-3884	Original Article	34281849
111	Kotaro Yamashita 1, Kazuyoshi Yamamoto 2, Akihiro Takata 2他	消化器外科	Continuous ghrelin infusion attenuates the postoperative inflammatory response in patients with esophageal cancer	Esophagus. 2021 Apr;18(2):239-247.	Original Article	32856182
112	Shiki Fujino 1 2, Norikatsu Miyoshi 3 4, Aya Ito 他	消化器外科	HNFI A regulates colorectal cancer progression and drug resistance as a downstream of POU5F1"	Sci Rep. 2021 May 14;11(1):10363.	Original Article	33990627
113	Shiki Fujino 1 2, Norikatsu Miyoshi 3 2, Aya Ito 他	消化器外科	Crenolanib Regulates ERK and AKT/mTOR Signaling Pathways in RAS/BRAF-Mutated Colorectal Cancer Cells and Organoids	Mol Cancer Res. 2021 May;19(5):812-822.	Original Article	33579816

114	Takahito Sugase 1, Tsuyoshi Takahashi 1, Shuji Takiguchi 2 他	消化器外科	Pancreas-left gastric artery angle is associated with postoperative inflammation and drain amylase after laparoscopic gastrectomy	Asian J Endosc Surg. 2021 Oct;14(4):756-766	Original Article	33904252
115	Masakatsu Paku 1, Naotsugu Haraguchi 2, Mitsunobu Takeda 他	消化器外科	SIRT3-mediated SOD2 and PGC-1 $\alpha$ contribute to chemoresistance in colorectal cancer cells	Ann Surg Oncol. 2021 Aug;28(8):4720-4732.	Original Article	33393034
116	Masakatsu Paku 1, Mamoru Uemura 2, Masatoshi Kitakaze 他	消化器外科	Impact of the preoperative prognostic nutritional index as a predictor for postoperative complications after resection of locally recurrent rectal cancer	BMC Cancer. 2021 Apr 20;21(1):435.	Original Article	33879101
117	Takaomi Hagi 1, Yukinori Kurokawa 2, Tsuyoshi Takahashi 他	消化器外科	Taste alteration after gastrectomy in patients with gastric cancer	Surg Today. 2021 May;51(5):777-784.	Original Article	33387026
118	Norihiro Matsuura 1, Koji Tanaka 1, Makoto Yamasaki 他	消化器外科	Are Incidental Minute Pulmonary Nodules Ultimately Determined to Be Metastatic Nodules in Esophageal Cancer Patients?	Oncology. 2021;99(9):547-554	Original Article	34237725
119	Norihiro Matsuura 1, Koji Tanaka 1, Makoto Yamasaki 他	消化器外科	NOTCH3 limits the epithelial-mesenchymal transition and predicts a favorable clinical outcome in esophageal cancer	Cancer Med. 2021 Jun;10(12):3986-3996.	Original Article	34042293
120	Norihiro Matsuura 1, Makoto Yamasaki 2, Kotaro Yamashita 他	消化器外科	The role of adjuvant chemotherapy in esophageal cancer patients after neoadjuvant chemotherapy plus surgery	Esophagus. 2021 Jul;18(3):559-565	Original Article	33580452
121	Satoshi Ishikawa 1, Naohiro Nishida 2 3, Shiki Fujino 他	消化器外科	Comprehensive Profiling of Novel Epithelial-Mesenchymal Transition Mediators and Their Clinical Significance in Colorectal Cancer	Sci Rep. 2021 Jun 3;11(1):11759.	Original Article	34083586
122	Yuto Kubo 1, Koji Tanaka 2, Makoto Yamasaki 他	消化器外科	Influences of the Charlson Comorbidity Index and Nutrition Status on Prognosis After Esophageal Cancer Surgery	Ann Surg Oncol. 2021 Nov;28(12):7173-7182	Original Article	33835302
123	Tomo Ishida 1, Tsuyoshi Takahashi 2, Yukinori Kurokawa 他	消化器外科	Targeted therapy for drug-tolerant persister cells after imatinib treatment for gastrointestinal stromal tumours	Br J Cancer. 2021 Nov;125(11):1511-1522	Original Article	34611306
124	Tomo Ishida 1, Tomoki Makino 2, Makoto Yamasaki 他	消化器外科	Quantity and Quality of Skeletal Muscle as an Important Predictor of Clinical Outcomes in Patients with Esophageal Cancer Undergoing Esophagectomy after Neoadjuvant Chemotherapy	Ann Surg Oncol. 2021 Nov;28(12):7185-7195	Original Article	33876359
125	Ryohei Yukimoto 1, Mamoru Uemura 2, Takahiro Tsuboyama 他	消化器外科	Efficacy of positron emission tomography in diagnosis of lateral lymph node metastases in patients with rectal Cancer: a retrospective study	BMC Cancer. 2021 May 8;21(1):520.	Original Article	33962569
126	Ryohei Yukimoto 1, Naohiro Nishida 1 2, Tsuyoshi Hata	消化器外科	Specific activation of glycolytic enzyme enolase 2 in BRAF V600E-mutated colorectal cancer	Cancer Sci. 2021 Jul;112(7):2884-2894	Original Article	33934428
127	Yuto Kubo 1, Koji Tanaka 2, Yuichiro Doki 1	消化器外科	ASO Author Reflections: Influences of Multiple Comorbidities on Nutritional Status after Esophageal Cancer Surgery	Ann Surg Oncol. 2021 Nov;28(12):7183-7184.	Letter	33723713
128	Masatoshi Kitakaze 1 2, Ryota Chijimatsu 1, Andrea Vecchione 他	消化器外科	Epithelial Cell Transformation and Senescence as Indicators of Genome Aging: Current Advances and Unanswered Questions.	Int J Mol Sci. 2021 Jul 14;22(14):7544.	Original Article	34299168
129	Yu Takeda 1 2, Ryota Chijimatsu 1, Andrea Vecchione 他	消化器外科	Impact of one-carbon metabolism-driving epitranscriptome as a therapeutic target for gastrointestinal cancer.	Int J Mol Sci. 2021 Jul 6;22(14):7278.	Original Article	34298902
130	Ryota Mori 1, Takayuki Ogino 2, Shiki Fujino 他	消化器外科	An oncologic emergency case of massive dedifferentiated liposarcoma of the small bowel mesentery	Clin J Gastroenterol. 2021 Jun;14(3):759-764.	Case report	33566308
131	Yoshihiro Sakano 1, Takehiro Noda 1, Shogo Kobayashi 他	消化器外科	A case report of hepatocellular carcinoma derived from Rastelli procedure-related congestive liver disease	Clin J Gastroenterol. 2021 Oct;14(5):1525-1529.	Case report	34319563
132	Daiki Marukawa 1, Yoshito Tomimaru 1, Shogo Kobayashi 他	消化器外科	Surgical Outcome of Pancreaticoduodenectomy in Patients with a History of Roux-en-Y Reconstruction after Tumor Removal	World J Surg. 2021 Jun;45(6):1845-1852.	Original Article	33594579

133	Ueno T, Toyama C, Yoneyama T, et al.	小児外科	Impact of serum autotaxin level correlating with histological findings in biliary atresia.	J Pediatr Surg 2021 Jul;56(7):1174–1178	Original Article	33965235
134	Masahata K, Ichikawa C, Higuchi K, et al.	小児外科	A Rare Case of Immature Sacrococcygeal Teratoma With Lymph Node Metastasis in a Neonate	J Pediatr Hematol Oncol 2021 Nov 1;43(8):e1186–e1190	Original Article	33323883
135	Toyama C, Masahata K, Ibuka S, et al.	小児外科	The risk factors for cholestasis in patients with duodenal atresia in a single institutional cohort	Pediatr Surg Int. 2021 Jul;37(7):929–935.	Original Article	33768347
136	Yoneyama T, Maeda A, Kogata S, et al.	小児外科	The regulation of neutrophil extracellular trap-induced tissue damage by human CD177	Transplantation Direct 2021 Jul 23;7(8):e734.	Original Article	34549086
137	Yoneyama T, Ueno T, Masahata K, et al.	小児外科	Elevation of microRNA-214 is associated with progression of liver fibrosis in patients with biliary atresia	Pediatr Surg Int 2022 Jan;38(1):115–122.	Original Article	34546403
138	Miyagawa S, Kodama T, Matsuura R, et al.	小児外科	A study of the mechanisms responsible for the action of new immunosuppressants and their effects on rat small intestinal transplantation	Transpl Immunol 2022 Feb;70:101497.	Original Article	34785307
139	Tahara S, Kohara M, Sato K, et al	病理診断科	Strong expression of PD-L1 in invasive front of MELF pattern in endometrioid carcinoma	Pathol Res Pract. 2022 Jan;229:153699.	Original Article	34929601
140	Ohshima K, Oi R, Nojima S, et al	病理診断科	Mitochondria govern histone acetylation in colorectal cancer.	J Pathol. 2022 Feb;256(2):164–173.	Original Article	34698384
141	Ohshima K, Oi R, Okuzaki D, et al	病理診断科	Mitochondrial matrix protein C14orf159 attenuates colorectal cancer metastasis by suppressing Wnt/ $\beta$ -catenin signalling	Br J Cancer . 2021 Dec;125(12):1699–1711.	Original Article	34689171
142	Tahara S, Nojima S, Ohshima K, et al	病理診断科	Nicotinamide N-methyltransferase is related to MELF pattern invasion in endometrioid carcinoma	Cancer Med . 2021 Dec;10(23):8630–8640.	Original Article	34655178
143	Nojima S, Terayama K, Shimoura S,	病理診断科	A deep learning system to diagnose the malignant potential of urothelial carcinoma cells in cytology specimens	Cancer Cytopathol 2021 Dec;129(12):984–995.	Original Article	33979039
144	Shizuka Koh , Takeshi Soma , Yoshinori Oie et al.	眼科	First Diquafosol Treatment for Dry Eye: 10-Year Follow-Up.	Asia Pac J Ophthalmol (Phila). 2022 Mar 25.	Original Article	35342178
145	Shizuka Koh , Ryota Inoue , Sayo Maeno et al.	眼科	Characteristics of Higher-Order Aberrations in Different Stages of Keratoconus	Eye Contact Lens. 2022 Jun 1;48(6):256–260.	Original Article	35333804
146	Taka-Aki Sakauae , Yuya Fujishima , Yoko Fukushima et al.	眼科	Adiponectin accumulation in the retinal vascular endothelium and its possible role in preventing early diabetic microvascular damage.	Sci Rep.2022 Mar 9;12(1):4159.	Original Article	35264685
147	Kazuichi Maruyama , Chiharu Iwahashi , Noriyasu Hashida et al.	眼科	Relationship between vitreoretinal lymphoma and the site of lymphoma development in the central nervous system	Jpn J Ophthalmol. 2022 Mar;66(2):142–150.	Original Article	34860298
148	Nobuhiko Shiraki , Kazuichi Maruyama , Ryuhei Hayashi et al.	眼科	PAX6-positive microglia evolve locally in hiPSC-derived ocular organoids	Stem Cell Reports. 2022 Feb 8;17(2):221–230.	Original Article	35030319
149	Ikki Sugimoto , Shinichi Usui , Tomoyuki Okazaki et al.	眼科	Early Three-Dimensional Intraocular Structural Changes in Primary-Open Angle Glaucoma and Exfoliation Glaucoma After Ex-PRESS Surgery	Transl Vis Sci Technol. 2022 Feb 1;11(2):32.	Original Article	35191962
150	Akihiko Shiraki , Susumu Sakimoto , Mami Eguchi et al.	眼科	Analysis of Progressive Neovascularization in Diabetic Retinopathy Using Widefield OCT Angiography	Ophthalmol Retina. 2022 Feb;6(2):153–160.	Original Article	34051418
151	Shizuka Koh , Ryota Inoue , Naoyuki Maeda et al.	眼科	Corneal tomographic changes during corneal rigid gas-permeable contact lens wear in keratoconic eyes.	Br J Ophthalmol. 2022 Feb;106(2):197–202.	Original Article	33172864
152	Kazuichi Maruyama , Song Mei , Hirokazu Sakaguchi et al.	眼科	Diagnosis of Choroidal Disease With Deep Learning-Based Image Enhancement and Volumetric Quantification of Optical Coherence Tomography.	Transl Vis Sci Technol. 2022 Jan 3;11(1):22.	Original Article	35029631

153	Kenji Matsushita , Rumi Kawashima , Noriyasu Hashida et al.	眼科	Barium-induced toxic anterior segment syndrome	Eur J Ophthalmol. 2021 Dec 30;11206721211069223.	Original Article	34967228
154	Rumi Kawashima , Kenji Matsushita , Noriyasu Hashida et al.	眼科	Complete Visual Recovery From Severe Outer Retinitis After Tonsillitis	J Neuroophthalmol. 2021 Dec 1;41(4):e578-e583.	Original Article	32956228
155	Sato Uematsu , Hirokazu Sakaguchi , Kaori Sayanagi et al.	眼科	Association between choriocapillaris flow deficit and choroidal neovascularization activity in eyes with myopic choroidal neovascularization	Sci Rep. 2021 Nov 9;11(1):21947.	Original Article	34754047
156	Shizuka Takahashi , Shinichi Usui , Noriyasu Hashida et al.	眼科	Multimodal imaging of indapamide-induced bilateral choroidal effusion: a case report	BMC Ophthalmol. 2021 Nov 4;21(1):386	Case report	34736431
157	Kenji Matsushita , Rumi Kawashima , Ryo Kawasaki et al.	眼科	Prognostic factors for successful Baerveldt glaucoma implant surgery for refractory glaucoma after multiple surgeries	Jpn J Ophthalmol. 2021 Nov;65(6):820-826.	Original Article	34374907
158	Yuichi Yasukura , Atsuya Miki , Naoyuki Maeda et al.	眼科	Effect of Prostaglandin Analogues on Corneal Biomechanical Parameters Measured With a Dynamic Scheimpflug Analyzer	J Glaucoma. 2021 Nov 1;30(11):996-1000.	Original Article	34086611
159	Chikako Hara , Miki Sawa , Fumi Gomi et al.	眼科	Questionnaire Survey on Driving among Patients with Age-Related Macular Degeneration in Japan	J Clin Med. 2021 Oct 21;10(21):4845.	Original Article	34768365
160	Shizuka Koh , Robin Chalmers , Katsuhide Yamasaki et al.	眼科	Factors influencing the 8-item contact lens dry eye questionnaire score and comparison of translations in Japanese soft contact lens wearers	Cont Lens Anterior Eye. 2021 Oct 4;101519.	Original Article	34620551
161	Chikako Hara , Motohiro Kamei , Hirokazu Sakaguchi et al.	眼科	Long-term outcomes of intravitreal activated protein C injection for ischemic central retinal vein occlusion: an extension trial	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2021 Oct;259(10):2919-2927.	Original Article	33893866
162	Masanori Kanai , Daiki Shiozaki , Susumu Sakimoto et al.	眼科	Association of disorganization of retinal inner layers with optical coherence tomography angiography features in branch retinal vein occlusion	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2021 Oct;259(10):2897-2903.	Original Article	33861366
163	Akiko Shugyo , Shizuka Koh , Ryota Inoue et al.	眼科	Optical Quality in Keratoconus Is Associated With Corneal Biomechanics	Cornea. 2021 Oct 1;40(10):1276-1281.	Original Article	33332893
164	Akihiko Shiraki , Susumu Sakimoto , Kohji Nishida	眼科	Reconnection of the Severed Vein in Proliferative Diabetic Retinopathy	Ophthalmol Retina. 2021 Sep;5(9):887.	Original Article	34503759
165	Taku Wakabayashi , Rei Kamuro , Noriyasu Hashida et al.	眼科	Acute endophthalmitis and hyphema mimicking pink hypopyon associated with ocular toxocariasis: A case report	Am J Ophthalmol Case Rep. 2021 Aug 10;23:101188.	Case report	34430757
166	Gen Nakao , Shizuka Koh , Ryota Inoue et al.	眼科	The Characteristics and Risk Factors of Very Asymmetric Keratoconus	Eye Contact Lens. 2021 Sep 1;47(9):511-514.	Original Article	34424224
167	Yuichi Yasukura , Yoshinori Oie , Ryo Kawasaki et al.	眼科	New severity grading system for Fuchs endothelial corneal dystrophy using anterior segment optical coherence tomography	Acta Ophthalmol. 2021 Sep;99(6):e914-e921.	Original Article	33258212
168	Rumi Kawashima , Keita Baba , Kenji Matsushita et al.	眼科	Intraocular Endoscopy Resolved Tube Occlusion of an Ahmed Glaucoma Valve	Case Rep Ophthalmol. 2021 Aug 24;12(2):706-711.	Original Article	34594208
169	Asaki Suzaki , Shizuka Koh , Naoyuki Maeda et al.	眼科	Optimizing correction of coma aberration in keratoconus with a novel soft contact lens	Cont Lens Anterior Eye. 2021 Aug;44(4):101405.	Original Article	33436159
170	Shizuka Takahashi , Kentaro Nishida , Hirokazu Sakaguchi et al.	眼科	A Case of Idiopathic Dense Vitreous Hemorrhage: Suspected Rupture of a Large Retinal Arterial Macroaneurysm on the Optic Disc	Case Rep Ophthalmol. 2021 Jul 16;12(2):634-639.	Original Article	34413754
171	Mami Eguchi , Hirokazu Sakaguchi , Kohji Nishida	眼科	Giant Proliferative Membrane Triggering Re-retinal Detachment after Vitrectomy	Ophthalmol Retina. 2021 Jul;5(7):655.	Original Article	34243969
172	Shinya Watanabe , Ryuhei Hayashi , Yuzuru Sasamoto et al.	眼科	Human iPS cells engender corneal epithelial stem cells with holoclone-forming capabilities	iScience. 2021 Jun 5;24(6):102688.	Original Article	34195566

173	Shizuka Koh , Naoyuki Maeda , Kohji Nishida	眼科	Trick of the Light Through the Cornea	Ophthalmology. 2021 Jun;128(6):836.	Original Article	34023051
174	Yusuke Mitsuoka , Takeshi Soma , Kazuichi Maruyama et al.	眼科	Fusarium infection complicating rheumatic keratitis that acutely progressed to endophthalmitis during regular infusion of tocilizumab: a case report	BMC Ophthalmol. 2021 May 19;21(1):224.	Case report	34011297
175	Kentaro Nishida , Shizuka Takahashi , Hirokazu Sakaguchi et al.	眼科	Impact of photoreceptor density in a 3D simulation of panretinal laser photocoagulation	BMC Ophthalmol. 2021 May 7;21(1):200.	Original Article	33962561
176	Satoru Ando , Noriyasu Hashida , Daisuke Yamashita et al.	眼科	Rubicon regulates A2E-induced autophagy impairment in the retinal pigment epithelium implicated in the pathology of age-related macular degeneration	Biochem Biophys Res Commun. 2021 Apr 30;551:148-154.	Original Article	33740621
177	Harada S, Imai T, Takimoto Y, et al.,	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Development of a new method for assessing otolith function in mice using three-dimensional binocular analysis of the otolith-ocular reflex	Sci Rep. 2021Aug; 11: 17191	Original Article	34433883
178	Tanaka H, Suzuki M, Takemoto N, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Performance of oral HPV DNA, oral HPV mRNA and circulating tumor HPV DNA in the detection of HPV-related oropharyngeal cancer and cancer of unknown primary	Int J Cancer. 2022 Jan; 150:174-186.	Original Article	34486724
179	Maeda Y, Yoshioka T, Hayama M, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	A limitation regarding the association between intranasal corticosteroid use and better COVID-19 outcomes: Nasal symptoms matter	J Allergy Clin Immunol Pract. 2022 Jan; 10: 355.	Letter	35000737
180	Suzuki M, Takenaka Y, Kishikawa T, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Modified TPEx as First-line Treatment for Recurrent and/or Metastatic Head and Neck Cancer	Anticancer Res. 2021 Apr; 41: 2045-2051.	Original Article	33813412
181	Imai T, Nishiike S, Okumura T, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Effect of Sitting Position vs. Supine Position With the Head Turned to the Affected Side on Benign Paroxysmal Positional Vertigo Fatigue	Front Neurol. 2021 Jun; 12: 705034.	Original Article	34220699
182	Etani Y, Hirao M, Ebina K, et al.	整形外科	Combination of Modified Scarf Osteotomy and Metatarsal Shortening Offset Osteotomy for Rheumatoid Forefoot Deformity	Int J Environ Res Public Health. 2021 Oct 5;18(19):10473.	Original Article	34639772
183	Etani Y, Hirao M, Ebina K, et al.	整形外科	Midfoot Derotational Osteotomy for Ankylosing Inversion Deformity in Patients with Rheumatoid Arthritis: A Report of 3 Cases	JBJS Case Connect. 2022 Jan 26;12(1). doi: 10.2106/JBJS.CC.21.00613.	Case report	35081065
184	Uemura K, Hamada H, Ando W et al.	整形外科	Minimum 10 years clinical results of an anatomical short stem with a proximal hydroxyapatite coating	Mod Rheumatol . 2021 Sep;31(5):1066-1072.	Original Article	33428474
185	Uemura K, Otake Y, Takao M et al	整形外科	Automated segmentation of an intensity calibration phantom in clinical CT images using a convolutional neural network	Int J Comput Assist Radiol Surg . 2021 Nov;16(11):1855-1864.	Original Article	33730352
186	Imanaka Y, Nakagawa Y, Yamaoka T	皮膚科	Refractory dermatomyositis which developed in a patient with silicone breast implants.	Allergol Int. 2022 Jan;71(1):158-160	Case report	34373193
187	Shimizu Y, Kotobuki Y, Arase N, et al.	皮膚科	A Case of Pretibial Epidermolysis Bullosa with Novel Mutations of the COL7A1 Gene.	Ann Dermatol. 2022 Feb;34(1):81-83.	Case report	35221603
188	Arase N, Tsuji H, Takamatsu H, et.al	皮膚科	Corrigendum to "Cell surface-expressed Ro52/IgG/HLA-DR complex is targeted by autoantibodies in patients with inflammatory myopathies" [J. Autoimmun. 126 (2022) 102774].	J Autoimmun. 2022 Feb;127:102797.	Others	35148921
189	Yamashita C, Arase N, Higuchi S, et al.	皮膚科	Serum autoantibodies against the extracellular region of $\alpha 6 \beta 4$ integrin in a patient with dipeptidyl peptidase-4 inhibitor-induced bullous pemphigoid.	JAAD Case Rep. 2021 Dec 23;20:65-68.	Case report	35111892
190	Arase N, Tsuji H, Takamatsu H, et.al	皮膚科	Cell surface-expressed Ro52/IgG/HLA-DR complex is targeted by autoantibodies in patients with inflammatory myopathies.	J Autoimmun. 2022 Jan;126:102774.	Original Article	34896887

191	Kishikawa T, Arase N, Tsuji S, et al.	皮膚科	Large-scale plasma-metabolome analysis identifies potential biomarkers of psoriasis and its clinical subtypes	J Dermatol Sci. 2021 May;102(2):78-84.	Others	33836926
192	Tanemura A, Koguchi-Yoshioka H, Yokoi K, et al.	皮膚科	Immunohistopathological observation of a case recovering from leukotrichia after suction blister transplantation.	J Dermatol. 2021 Jun;48(6):e263-e264.	Letter	33768616
193	Kume M, Arase N, Okiyama N, et al.	皮膚科	Unilateral heliotrope rash: a warning sign for anti-melanoma differentiation-associated gene 5 antibody-positive dermatomyositis.	Rheumatology (Oxford). 2021 Apr 6;60(4):e134-e135.	Case report	33197263
194	Taminato M, Tomita K, Yano K, et al.	形成外科	Targeted sensory reinnervation by direct neurotization of skin: An experimental study in rats.	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2021 Sep;74(9):2379-2386	Original Article	33583760
195	Taminato M, Tomita K, Nomori M, et al.	形成外科	Fat-augmented latissimus dorsi myocutaneous flap for total breast reconstruction: A report of 54 consecutive Asian cases.	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2021 Jun;74(6):1213-1222	Original Article	33257301
196	Maitani K, Yamasaki M, Otani N, et al.	形成外科	Successful reconstruction of an intrathoracic tracheal defect using a muscle flap and conchal cartilage graft	Esophagus. 2021 Apr;18(2):416-419.	Case report	32851514
197	Hideshima M, Kimura Y, Aguirre C, et al.	神経内科・脳卒中科	Two-step screening method to identify $\alpha$ -synuclein aggregation inhibitors for Parkinson's disease	Sci Rep. 2022 Jan 10;12(1):351.	Original Article	35013421
198	Wadayama T, Shimizu M, Yata T, et al.	神経内科・脳卒中科	Cryptogenic new-onset refractory status epilepticus responded to anti-interleukin-6 treatment	J Neuroimmunol. 2022 Feb 15;363:577789.	Original Article	34973472
199	Hasuike Y, Tanaka H, Gall-Duncan T, et al.	神経内科・脳卒中科	CAG repeat-binding small molecule improves motor coordination impairment in a mouse model of Dentatorubral-pallidolusian atrophy	Neurobiol Dis. 2022 Feb;163:105604.	Original Article	34968706
200	Nakano T, Kajiyama Y, Gajanan S Revankar, et al.	神経内科・脳卒中科	Neural networks associated with quality of life in patients with Parkinson's disease	Parkinsonism Relat Disord. 2021 Aug;89:6-12.	Original Article	34214862
201	Todo K, Yoshimura S, Uchida K, et al.	神経内科・脳卒中科	Time-outcome relationship in acute large-vessel occlusion exists across all ages: subanalysis of RESCUE-Japan Registry 2	Sci Rep. 2021 Jun 17;11(1):12782.	Original Article	34140563
202	Kitano T, Hori Y, Okazaki S, et al.	神経内科・脳卒中科	An older thrombus delays reperfusion after mechanical thrombectomy for ischemic stroke	Thromb Haemost. 2022 Mar;122(3):415-426.	Original Article	34077976
203	Kawano T, Sasaki T, Gon Y, et al.	神経内科・脳卒中科	High neutrophil/lymphocyte ratio at cancer diagnosis predicts incidence of stroke in cancer patients	Brain Commun. 2021 Apr 9;3(2):fcab071.	Original Article	33928250
204	Shimamura M, Kaikita K, Nakagami H, et al.	神経内科・脳卒中科	Development of anti-thrombotic vaccine against human S100A9 in rhesus monkey	Sci Rep. 2021 Jun 1;11(1):11472.	Original Article	34075153
205	Takashi Suehiro, Yuto Satake, Mamoru Hashimoto, et al.	神経科・精神科	Case Report: De Clerambault's Syndrome in Dementia With Lewy Bodies	Front Psychiatry. 2021 Jun 10;12:665868.	Case report	34177653
206	H.Kanemoto, S. Sato, Y. Satake, et al.	神経科・精神科	Impact of Behavioral and Psychological Symptoms on Caregiver Burden in Patients With Dementia With Lewy Bodies	Front Psychiatry. 2021 Oct 27;12:753864.	Original Article	34777057
207	H.Adachi, R. Yamamoto, R. Fujino, et al.	神経科・精神科	Association of weekday-to-weekend sleep differences and stress response among a Japanese working population: a cross-sectional study	Sleep Med. 2021 Jun;82:159-164.	Original Article	33933720
208	K. Mori, S. Gotoh, T. Yamashita, et al.	神経科・精神科	The porphyrin TMPyP4 inhibits elongation during the noncanonical translation of the FTLD/ALS-associated GGGGCC repeat in the C9orf72 gene	J Biol Chem. 2021 Oct;297(4):101120.	Original Article	34450161
209	D. Ishimaru, H. Adachi, H. Nagahara, et al.	神経科・精神科	Characteristics of Adaptation in Undergraduate University Students Suddenly Exposed to Fully Online Education During the COVID-19 Pandemic	Front Psychiatry. 2021 Sep 13;12:731137.	Original Article	34589012

210	M.Hata, M. Fujimoto, K.Kanai,et al.	神経科・精神科	No adverse events were observed in clozapine-treated patients on extended hematologic monitoring intervals during the coronavirus pandemic in four psychiatric centers in Japan	Neuropsychopharmacol Rep. 2021 Jun;41(2):179-184.	Original Article	33606356
211	Yuto Satake, Hideki Kanemoto, Kenji Yoshiyama,et al.	神経科・精神科	Case Report:Usefulness of Biomarkers for Alzheimer's Disease in Two Cases With Very-Late-Onset Schizophrenia-Like Psychosis	Front Psychiatry. 2021 Sep 14;12:742659.	Case report	34594255
212	Shunsuke Sato, Mamoru Hashimoto, Kenji Yoshiyama,et al.	神経科・精神科	Characteristics of behavioral symptoms in right-sided predominant semantic dementia and their impact on caregiver burden: a cross-sectional study	Alzheimers Res Ther. 2021 Oct 9;13(1):166.	Original Article	34627361
213	Hideki Kanemoto, Etsuro Mori, Toshihisa Tanaka,et al.	神経科・精神科	Cerebrospinal fluid amyloid beta and response of cognition to a tap test in idiopathic normal pressure hydrocephalus: a case-control study	Int Psychogeriatr. 2021 Aug 17:1-9.	Original Article	34399871
214	Yuma Nagata, Takashi Nishikawa, Hiroyuki Tanaka,et al.	神経科・精神科	Factors influencing the quality of life in patients with severe dementia	Psychogeriatrics. 2022 Jan;22(1):49-54.	Original Article	34647388
215	Yukiko Suzuki, Maki Suzuki, Kazue Shigenobu,et al	神経科・精神科	A prospective multicenter validation study of a machine learning algorithm classifier on quantitative electroencephalogram for differentiating between dementia with Lewy bodies and Alzheimer's dementia	PLoS One . 2022 Mar 31;17(3):e0265484.	Original Article	35358240
216	Ishimaru D, Kanemoto H, Hotta M, et al.	神経科・精神科	Case Report: Treatment of Delusions of Theft Based on the Assessment of Photos of Patients' Homes.	Front Psychiatry. 2022 Mar 17;13:825710.	Case report	35370805
217	Tani N, Yaegaki T, Kishima H.	脳神経外科	A Case Report: Hemorrhagic Venous Infarction after Deep Brain Stimulation Surgery Probably Due to Coagulation of Intradural Veins.	NMC Case Rep J. 2021 Jun 23;8(1):315-318.	Case report	35079481
218	Nishi A, Goto Y, Yamanaka K,et al.	脳神経外科	A Direct Aspiration First Pass Technique for Basilar Artery Occlusion Caused by Elastic-hard Tumor Embolus via the Pulmonary Vein by Metastatic Prostate Adenocarcinoma: A Case Report.	NMC Case Rep J. 2021 Apr 2;8(1):95-100.	Case report	34012757
219	Mori N, Hosomi K, Nishi A,et al.	脳神経外科	Exploratory study of optimal parameters of repetitive transcranial magnetic stimulation for neuropathic pain in the lower extremities.	Pain Rep. 2021 Oct 13;6(4):e964.	Others	34667918
220	Oshino S, Saitoh Y, Kinoshita M, et al.	脳神経外科	Characteristics of Nonfunctioning Pituitary Adenomas That Cause Secondary Adrenal Insufficiency.	World Neurosurg. 2021 Sep;153:e275-e281.	Original Article	34186215
221	Hosomi K, Yamamoto T, Agari T,et al.	脳神経外科	Benefit of spinal cord stimulation for patients with central poststroke pain: a retrospective multicenter study.	J Neurosurg. 2021 Jul 2;136(2):601-612.	Others	34214987
222	Mori N, Hosomi K, Nishi A, et al.	脳神経外科	Difference in analgesic effects of repetitive transcranial magnetic stimulation according to the site of pain.	Front Hum Neurosci. 2021 Nov 26;15:786225.	Others	34899224
223	Yamada S, Kinoshita M, Nakagawa T,et al.	脳神経外科	The impact of 5-year tumor doubling time to predict the subsequent long-term natural history of asymptomatic meningiomas.	World Neurosurg. 2021 Jul;151:e943-e949.	Original Article	34020064
224	Izutsu N, Nishida T, Takagaki M,et al.	脳神経外科	Ophthalmic Artery Flow Pattern-related Stump Pressure and Ischemic Tolerance During Balloon Test Occlusion of the Internal Carotid Artery	Neurol Med Chir (Tokyo). 2021 Jul 15;61(7):433-441.	Original Article	34039826
225	Yamada S, Kijima N, Nakagawa T,et al.	脳神経外科	How much tumor volume is responsible for development of clinical symptoms in patients with convexity, parasagittal, and falx meningiomas?	Front Neurol. 2021 Nov 17;12:769656.	Original Article	34867757
226	Kawabata S, Takagaki M, Nakamura H, et al.	脳神経外科	Dysbiosis of Gut Microbiome is Associated with Rupture of Cerebral Aneurysms.	Stroke. 2022 Mar;53(3):895-903.	Original Article	34727738

227	Nobuyuki Izutsu , Koichi Hosomi , Saki Kawamoto et	脳神経外科	Lumbar Catheter Misplacement into the Spinal Subdural Epiarachnoid Space Causing Lumboperitoneal Shunt Malfunction	NMC Case Rep J. 2021 Jun 5;8(1):183-187.	Case report	35079461
228	Shota Yamamoto , Takufumi Yanagisawa, Ryohei Fukuma et	脳神経外科	Data-driven electrophysiological feature based on deep learning to detect epileptic seizures	J Neural Eng. 2021 Sep 30;18(5).	Original Article	34479212
229	Masataka Tanaka ,Takufumi Yanagisawa , Ryohei Fukuma et	脳神経外科	Magnetoencephalography detects phase-amplitude coupling in Parkinson's disease	Scientific Reports, 12:1835, 2022 Feb.	Case report	35115607
230	Ryohei Fukuma ,Takufumi Yanagisawa, Shinji Nishimoto et	脳神経外科	Voluntary control 1 of semantic neural representations by imagery with conflicting visual stimulation	Communications biology, 5:214, 2022 Mar.	Original Article	35304588
231	Kinoshita M, Takagak	脳神経外科	Utility of a novel exoscope, ORBEYE, in gravity-assisted brain retraction surgery for midline lesions of the brain	Surg Neurol Int. 2021 Jul 6;12:339.	Original Article	34345480
232	Hiroki Taenaka, Takeshi Yoshida , Haruka Hashimoto et	麻酔科	Individualized Ventilatory Management in Patients with COVID-19-associated Acute Respiratory Distress Syndrome	Respir Med Case Rep. 2021;33:101433.Epub 2021 May 31.	Case report	34094847
233	Takeshi Yoshida , Aiko Tanaka , Rollin Roldan , Rocio Quispe et	麻酔科	Prone Position Reduces Spontaneous Inspiratory Effort in Patients with Acute Respiratory Distress Syndrome: A Bi-Center Study	Am J Respir Crit Care Med. 2021 Jun 1;203(11):1437-1440.	Original Article	33567221
234	Chiyo Ootaki , Yo Kobayashi , Yuki Koyama et	麻酔科	Use of Continuous Electrical Impedance Measurement for Accurate Nerve Block in Rabbits.	Pain Med. 2021 Apr 20;22(4):800-806.	Original Article	33616169
235	Yuki Kiriyama , Yuki Kinishi , Daisuke Hiramatu , Akinori Uchiyama et	麻酔科	Outcomes of severe peripartum cardiomyopathy and mechanical circulatory support: a case series.	JA Clin Rep. 2021 Nov 2;7(1):80.	Case report	34725740
236	Hironobu Uematsu , Seiichi Osako , Saya Hakata et	麻酔科	A Double-Blind, Placebo-Controlled Study of Ultrasound-Guided Pulsed Radiofrequency Treatment of the Saphenous Nerve for Refractory Osteoarthritis-Associated Knee Pain.	Pain Physician. 2021 Sep;24(6):E761-E769.	Original Article	34554694
237	Miyoshi, A. Ueda, Y. Yagi, A. et al.	産科・婦人科	Health consciousness and cervical cancer screening rates in HPV-unvaccinated girls: comparison from HPV-recommended and HPV-recommendation-suspended program periods	Hum Vaccin Immunother 2021 Apr; 17:1068-1072	Original Article	33270496
238	Mimura, K.	産科・婦人科	Reply to the letter to the editor: Conservative management for adherent placenta after live birth in angular or interstitial pregnancies: A new entity "angular placenta attachment"	Taiwan J Obstet Gynecol 2021 May; 60:584	Original Article	33966758
239	Ueda, Y.	産科・婦人科	Challenges and perspectives for prevention of infectious diseases	Vaccines (Basel) 2021 Jun; 9:571	Original Article	34205856
240	Ueda, Y. Katayama, K. Yagi, A. et al.	産科・婦人科	The chasm we must cross in Japan for Re-promotion of the HPV vaccine	Cancer Prev Res (Phila) 2021 Jul; 14:683-686	Original Article	34272250
241	Kobayashi, M. Nakagawa, S. Kawanishi, Y. et al.	産科・婦人科	The RPOC long axis is a simple indicator for predicting the need of invasive strategies for secondary postpartum hemorrhage in either post-abortion or post-partum women: a retrospective case control study	BMC Pregnancy Childbirth 2021 Sep; 21:653	Original Article	34560846
242	Yagi, A. Ueda, Y. Nakagawa, S. et al.	産科・婦人科	A nationwide birth year-by-year analysis of effectiveness of HPV vaccine in Japan	Cancer Sci 2021 Sep; 112:3691-3698	Original Article	34252250
243	Ueda, Y. Miyagi, E.	産科・婦人科	Importance of education about cervical cancer and its preventive measures for the promotion of HPV vaccine according to the WHO strategies	Vaccines (Basel) 2021 Oct; 9:1199	Original Article	34696307

244	Miyoshi, A. Ueda, Y. Yagi, A. et al.	産科・婦人科	Educational intervention for women in Japan coming of age for cervical cancer screening who grew up during the suspended HPV-vaccination-program	Hum Vaccin Immunother 2021 Nov; 17:4418-4422	Original Article	35016492
245	Yagi, A. Ueda, Y. Kakuda, M. et al.	産科・婦人科	Cervical cancer protection in Japan: Where are we?	Vaccines (Basel) 2021 Nov; 9:1263	Original Article	34835194
246	Yagi, A. Ueda, Y. Taniguchi, M. et al.	産科・婦人科	A questionnaire survey on a feeling of loneliness of the mothers raising children	J Obstet Gynaecol Res 2021 Dec; 47:4298-4305	Original Article	34558153
247	Mimura, K. Tomimatsu, T. Endo, M. et al.	産科・婦人科	Atypical preeclampsia with systemic lupus erythematosus and elevated soluble fms-like tyrosine kinase 1/placental growth factor ratio	J Obstet Gynaecol Res 2021 Dec; 47:4461-4466	Original Article	34605122
248	Yagi, A. Ueda, Y. Ikeda, S. et al.	産科・婦人科	The looming health hazard: A wave of HPV-related cancers in Japan is becoming a reality due to the continued suspension of the governmental recommendation of HPV vaccine	Lancet Reg Health West Pac 2021 Dec; 18:100327	Original Article	35024658
249	Mimura, K. Tomimatsu, T. Endo, M. et al.	産科・婦人科	Atypical preeclampsia without underlying disease and elevated sFlt-1/PlGF ratio	J Obstet Gynaecol Res 2022 Feb; 48:471-476	Original Article	34852396
250	Kimura T, Bosakova M, Nonaka Y et al.	小児科	An RNA aptamer restores defective bone growth in FGFR3-related skeletal dysplasia in mice	Sci Transl Med. 2021 May 5;13(592):eaba4226.	Original Article	33952673
251	Tachibana M, Miyoshi Y, Fukui M et al.	小児科	Urinary iodine and thyroglobulin are useful markers in infants suspected of congenital hypothyroidism based on newborn screening	J Pediatr Endocrinol Metab. 2021 Aug 13;34(11):1411-1418.	Original Article	34388329
252	Onuma S, Fukuoka T, Miyoshi Y et al.	小児科	Two girls with a neonatal screening-negative 21-hydroxylase deficiency requiring treatment with hydrocortisone for virilization in late childhood	Clin Pediatr Endocrinol. 2021;30(3):143-148.doi: 10.1297/cpe.30.143. Epub 2021 Jul 10.	Case report	34285457
253	Matsushita M, Fujita K, Hatano K, et al.	泌尿器科	Connecting the Dots Between the Gut-IGF-1-Prostate Axis: A Role of IGF-1 in Prostate Carcinogenesis	Front Endocrinol (Lausanne). 2022 Mar 15;13:852382.	Original Article	35370981
254	Fukuhara S, Nonomura N	泌尿器科	Editorial Comment to Limited impact of erectile function on health-related quality of life in Japanese men undergoing robot-assisted radical prostatectomy	Int J Urol. 2022 Mar 1.	Others	35231952
255	Sekii Y, Kiuchi H, Takezawa K, et al	泌尿器科	Dietary salt with nitric oxide deficiency induces nocturnal polyuria in mice via hyperactivation of intrarenal angiotensin II-SPAK-NCC pathway	Commun Biol. 2022 Feb 28;5(1):175.	Original Article	35228649
256	Imamura R, Tanaka R, Taniguchi A, et al.	泌尿器科	Everolimus Reduces Cancer Incidence and Improves Patient and Graft Survival Rates after Kidney Transplantation: A Multi-Center Study	J Clin Med. 2022 Jan 4;11(1):249.	Original Article	35011990
257	Umeda S, Hatano K, Kato T, et al.	泌尿器科	A case of perirenal non-specific lymphadenitis mimicking a solitary renal mass	IJU Case Rep. 2021 Sep 9;5(1):10-13.	Case report	35005458
258	Fujita K, Hatano K, Hashimoto M, et al.	泌尿器科	Fucosylation in Urological Cancers	Int J Mol Sci. 2021 Dec 11;22(24):13333.	Review	34948129
259	Kawamura M, Hesaka A, Taniguchi A, et al.	泌尿器科	Measurement of glomerular filtration rate using endogenous d-serine clearance in living kidney transplant donors and recipients	EClinicalMedicine. 2021 Dec 5;43:101223.	Original Article	34934934
260	Kato T, Yoshida T, Taniguchi A, et al.	泌尿器科	Incidence and mortality of post-transplant lymphoproliferative disorders after kidney transplantation: A real-world retrospective analysis in Japan	Int J Urol. 2022 Mar;29(3):206-211.	Original Article	34897833
261	Hatano K, Yoneyama T, Hatakeyama S, et al.	泌尿器科	Simultaneous analysis of serum $\alpha$ 2,3-linked sialylation and core-type fucosylation of prostate-specific antigen for the detection of high-grade prostate cancer	Br J Cancer. 2022 Mar;126(5):764-770.	Original Article	34802050

262	Miyata Y, Hatano K, Okuno Y, et al.	泌尿器科	Laparoscopic resection of aortocaval paraganglioma diagnosed by serial increase in urinary metanephrines after bilateral adrenalectomy in a patient with multiple endocrine neoplasia type 2A.	IJU Case Rep. 2021 Jul 4;4(6):347-350.	Case report	34755052
263	Kato T, Nagahara A, Kawamura N, et al.	泌尿器科	Real-world Outcomes of Tyrosine Kinase Inhibitors Immediately After Immune Checkpoint Inhibitors in Renal Cell Carcinoma.	Anticancer Res. 2021 Nov;41(11):5811-5816.	Original Article	34732455
264	Kawashima A, Yamamoto Y, Sato M, et al.	泌尿器科	FAN score comprising fibrosis-4 index, albumin-bilirubin score and neutrophil-lymphocyte ratio is a prognostic marker of urothelial carcinoma patients treated with pembrolizumab.	Sci Rep. 2021 Oct 27;11(1):21199.	Original Article	34707147
265	Inagaki Y, Fukuhara S, Kuribayashi S, et al.	泌尿器科	The expression of human testis-specific actin capping protein predicts in vitro fertilization outcomes: A novel biomarker of sperm function for assisted reproductive technology	Reprod Med Biol. 2021 Aug 11;20(4):537-542.	Original Article	34646082
266	Tomiyama E, Fujita K, Hashimoto M, et al.	泌尿器科	Programmed cell death-ligand 1 expression in different molecular subtypes of upper tract urothelial carcinoma	Int J Urol. 2022 Jan;29(1):89-90.	Original Article	34519113
267	Takezawa K, Fujita K, Matsushita M, et al.	泌尿器科	The Firmicutes/Bacteroidetes ratio of the human gut microbiota is associated with prostate enlargement	Prostate. 2021 Dec;81(16):1287-1293.	Original Article	34516694
268	Hayashi Y, Fujita K, Netto GJ, Nonomura N.	泌尿器科	Clinical Application of TERT Promoter Mutations in Urothelial Carcinoma	Front Oncol. 2021 Jul 29;11:705440.	Original Article	34395278
269	Matsukawa A, Kato T, Kondo F, et al.	泌尿器科	Durable response of chemotherapy for cancer of unknown primary with unfavorable subset developed in retroperitoneal space.	IJU Case Rep. 2021 May 27;4(4):255-258.	Case report	34258543
270	Yamamoto T, Kato T, Hatano K, et al.	泌尿器科	Genomic and Pathological Characterization of Multiple Renal Cell Carcinoma Regions in Patient With Tuberous Sclerosis Complex: A Case Report.	Front Oncol. 2021 May 12;11:691996.	Case report	34055654
271	Matsushita M, Fujita K, Motooka D, et al.	泌尿器科	The gut microbiota associated with high-Gleason prostate cancer.	Cancer Sci. 2021 Aug;112(8):3125-3135.	Original Article	34051009
272	Matsushita M, Fujita K, Hayashi T, et al.	泌尿器科	Gut Microbiota-Derived Short-Chain Fatty Acids Promote Prostate Cancer Growth via IGF1 Signaling.	Cancer Res. 2021 Aug 1;81(15):4014-4026.	Original Article	34039634
273	Takezawa K, Kuribayashi S, Okada K, et al.	泌尿器科	Decreased renal function increases the nighttime urine volume rate by carryover of salt excretion to the nighttime.	Sci Rep. 2021 May 19;11(1):10587.	Original Article	34012017
274	Matsuzaki K, Fujita K, Tomiyama E, et al.	泌尿器科	MiR-30b-3p and miR-126-3p of urinary extracellular vesicles could be new biomarkers for prostate cancer.	Transl Androl Urol. 2021 Apr;10(4):1918-1927.	Original Article	33968679
275	Uemura T, Kato T, Nagahara A, et al.	泌尿器科	Therapeutic and Clinical Outcomes of Robot-assisted Partial Nephrectomy Versus Cryoablation for T1 Renal Cell Carcinoma.	In Vivo. 2021 May-Jun;35(3):1573-1579.	Original Article	33910838
276	Hatano K, Nonomura N.	泌尿器科	Editorial Comment from Dr Hatano and Dr Nonomura to Temporal trends in the incidence of distant-stage bladder cancer among young individuals.	Int J Urol. 2021 Jun;28(6):706-707.	Others	33778988
277	Tomiyama E, Matsuzaki K, Fujita K, et al.	泌尿器科	Proteomic analysis of urinary and tissue-exudative extracellular vesicles to discover novel bladder cancer biomarkers.	Cancer Sci. 2021 May;112(5):2033-2045.	Original Article	33721374
278	Fujita K, Hatano K, Tomiyama E, et al.	泌尿器科	Serum core-type fucosylated prostate-specific antigen index for the detection of high-risk prostate cancer.	Int J Cancer. 2021 Jun 15;148(12):3111-3118.	Original Article	33594666

279	Kato T, Nagahara A, Kawamura N, et al.	泌尿器科	The prognostic impact of immune-related adverse events in metastatic renal cell carcinoma patients treated with nivolumab: a real-world multi-institutional retrospective study.	Int J Clin Oncol. 2021 May;26(5):954-961.	Original Article	33471290
280	Imamura R, Nakazawa S, Yamanaka K, et al.	泌尿器科	Cumulative cancer incidence and mortality after kidney transplantation in Japan: A long-term multicenter cohort study.	Cancer Med. 2021 Apr;10(7):2205-2215.	Original Article	33314709
281	Yanagawa M, Niioka H, Kusumoto M, et al.	放射線科	Diagnostic performance for pulmonary adenocarcinoma on CT: comparison of radiologists with and without three-dimensional convolutional neural network.	Eur Radiol. 2021 Apr;31(4):1978-1986.	Original Article	33011879
282	Yoshida Y, Yanagawa M, Hata A, et al.	放射線科	Quantitative volumetry of ground-glass nodules on high-spatial-resolution CT with 0.25-mm section thickness and 1024 matrix: Phantom and clinical studies.	Eur J Radiol Open. 2021 Jun 1;8:100362.	Original Article	34141831
283	Hata A, Yanagawa M, Tsubamoto M, et al.	放射線科	Detectability of pulmonary ossifications in fibrotic lung on ultra-high-resolution CT using 2048 matrix size and 0.25-mm slice thickness.	Sci Rep. 2021 Jul 23;11(1):15119.	Original Article	34302045
284	Takahashi H, Kashiwagi N, Arisawa A, et al.	放射線科	Imaging of the nigrostriatal system for evaluating the preclinical phase of Parkinson's disease development: the utility of neuromelanin, diffusion MRI, and DAT-SPECT	Br J Radiol. 2022 Feb 1;95(1130):20210837	Original Article	34808066
285	Ota T, Hori M, Le Bihan D, et al	放射線科	Diffusion-Based Virtual MR Elastography of the Liver: Can It Be Extended beyond Liver Fibrosis?	J Clin Med. 2021 Sep 30;10(19):4553.	Original Article	34640568
286	Ota T, Hori M, Sasaki K,	放射線科	Multimaterial decomposition algorithm for quantification of fat in hepatocellular carcinoma using rapid kilovoltage-switching dual-energy CT: A comparison with chemical-shift MR imaging.	Medicine (Baltimore). 2021 May 21;100(20):e26109.	Original Article	34011134
287	Kato H, Huang X, Kadonaga Y, et al.	核医学診療科	Intratumoral administration of astatine-211-labeled gold nanoparticle for alpha therapy.	J Nanobiotechnology. 2021 Jul 28;19(1):223.	Original Article	34320997
288	Kato H, Okuno T.	核医学診療科	Functional imaging of astrocyte activity.	Neural Regen Res. 2021 Jun;16(6):1206-1207.	Others	33269778
289	Naka S, Watabe T, Lindner T, et al.	薬剤部	One-pot and one-step automated radio-synthesis of [ <sup>18</sup> F]AlF-FAPI-74 using a multi-purpose synthesizer: a proof-of-concept experiment.	EJNMMI Radiopharm Chem. 2021 Aug 21;6(1):28.	Original Article	34420105
290	Watabe T, Hosono M, Kinuya S, et al.	核医学診療科	Manual on the proper use of sodium astatide ([ <sup>211</sup> At]NaAt) injections in clinical trials for targeted alpha therapy (1st edition).	Ann Nucl Med. 2021 Jul;35(7):753-766.	Others	33978932
291	Watabe T, Uemura M, Soeda F,	核医学診療科	High detection rate in [ <sup>18</sup> F]PSMA-1007 PET: interim results focusing on biochemical recurrence in prostate cancer patients.	Ann Nucl Med. 2021 Apr;35(4):523-528	Original Article	33661475
292	Nori Yoshioka , Matsuo Deguchi , Hideharu Hagiya et	臨床検査部	10-Year survey on serum antibody positivity rates and titers for measles and rubella in healthcare workers; an observational study at a Japanese university hospital	J Infect Chemother . 2021 Sep;27(9):1295-1299.	Original Article	33910777
293	Tatsumi M, Soeda F, Kamiya T, et al.	放射線部	Effects of New Bayesian Penalized Likelihood Reconstruction Algorithm on Visualization and Quantification of Upper Abdominal Malignant Tumors in Clinical FDG PET/CT Examinations.	Front Oncol. 2021 Aug 16;11:707023.	Original Article	34485143
294	Takashi Hashido, Shigeyoshi Saito, Takayuki Ishida	放射線部	Radiomics-Based Machine Learning Classification for Glioma Grading Using Diffusion- and Perfusion-Weighted Magnetic Resonance Imaging	J Comput Assist Tomogr. 2021 Jul-Aug; 45: 606-13.	Original Article	34270479
295	Yuji Kiyose , Tatsuya Shiraki , Isamu Mizote et al.	臨床工学部	Dynamic Nature of Nodular Calcification in Cardiac Allograft Vasculopathy	JACC Cardiovasc Interv . 2021 Jun 28;14(12):1378-1380.	Review	34052153

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

計 295件

- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Manabe S, Takeda T, Hattori A, et al.	医療情報部	Practical use of a multicenter clinical research support system connected to electronic medical records	Comput Methods Programs Biomed. 2021 Oct;210:106362	Original Article
2	Wang B, Takeda T, Sugimoto K, et al.	医療情報部	Automatic creation of annotations for chest radiographs based on the positional information extracted from radiographic image reports	Comput Methods Programs Biomed. 2021 Sep;209:106331	Original Article
3	Teramoto K, Takeda T, Mihara N, et al.	医療情報部	A Method for Detecting Adverse Drug Events through the Chronological Relationship Between the Medication Period and the Presence of Adverse Reactions from Electronic Medical Record Systems: Observational Study	JMIR Med Inform. 2021 Nov 1;9(11):e28763	Original Article
4	Sugimoto K, Takeda T, Oh JH, et al.	医療情報部	Extracting clinical terms from radiology reports with deep learning	J Biomed Inform. 2021 Apr;116:103729	Original Article
5	Satoshi Kutsuna	Department of Infection Control	Safety of convalescent plasma therapy for COVID-19 patients and analysis of viral kinetics: a single-center, open-label, single-arm, interventional study in Japan	GHM open <a href="https://doi.org/10.35772/ghmo.2022.01002">https://doi.org/10.35772/ghmo.2022.01002</a>	Original Article

計5件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 「大阪大学医学部附属病院における倫理審査委員会 標準業務手順書」において、倫理審査委員会の運営に必要な手続き等を定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回（介入研究等） 年12回（観察研究等） （参考：臨床研究法にもとづく大阪大学臨床研究審査委員会は年12回）

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 審議事項、組織、手続き、指導及び勧告	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年11回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年6回
・ 研修の主な内容 ■第3回 阪大臨床研究ワークショップ 研修の主な内容： 【講義1】「臨床課題（CQ）を研究課題（RQ）に構造化するお作法」	

【演習】「臨床課題（CQ）から研究課題（RQ）をつくってみよう！」

実施回数：令和3年度実績 1回（180分）

参加人数：14名（医師含む）

#### ■阪大臨床研究講習会

研修の主な内容：研究者の受講ルール、新倫理指針の注意点、臨床研究データの信頼性確保、教育的監査等のフィードバック、臨床研究における同意取得と同意書の記載について、大阪大学医学部附属病院が取り組む多施設臨床研究支援、理解度テスト

実施方法：臨床研究教育e-learning システムCROCO（公開期間：R4.3.1～R4.3.31）

参加人数：1379名（医師含む）

#### ■治験・倫理審査委員会委員養成研修

研修の主な内容

【講義1】「遠隔診療・デジタルヘルスの実際（オーバービュー）」

【講義2】「研究開発・倫理審査におけるICT技術の利活用と課題」

【課題2】「倫理審査におけるICT技術の利活用の諸課題」

【講義3】「AI医療機器：超聴診器の開発と遠隔診療への取り組み」

【講義4】「ウェアラブルデバイス、アプリケーションの研究への適用」

【課題2】「ICT技術（電磁的同意、ウェアラブルデバイス、アプリケーション）を活用した臨床研究における倫理審査時の懸念・諸課題」

ディスカッション、Q&A

実施回数：1回、470分

全プログラム参加人数：23名（院外20名、院内3名、医師含む）

聴講のみの参加人数：108名（院外96名、院内12名、医師含む）

#### ■臨床研究・治験従事者研修

研修の主な内容：

【講義1】「臨床研究の立案」 臨床研究を立案する際に何をすべきかを解説する

【演習】 ワークショップ「臨床研究を始めよう」 プロトコル（骨子）を作成して、研究を開始するまでの計画を体験してみよう

【講義&グループワーク】「CQからRQを作成する」

【講義&グループワーク】「因子の洗い出し・評価項目の設定」

【講義&グループワーク】「PRT骨子作成」

実施回数：1回、420分

全プログラム参加人数：13名（院外13名、院内0名、医師含む）

#### ■臨床研究・治験従事者研修（OJT研修）

研修の主な内容：

臨床研究中核病院以外の機関からの人材を受入れ、Clinical Question から研究

計画立案に至るまでの教育

実施回数：1回～30回以上（受講者の臨床研究の実施環境（活用可能な時間など）により実施回数が異なる）

参加人数：5名（学外5名）

#### ■上級者臨床研究コーディネーター養成研修

【講義1】 被験者保護の概念とその適用 / インフォームド・コンセント（IC）

【講義2】 被験者保護と研究公正

【講義3】 臨床研究に関する規制要件の動向と運用

【講義4】 プロジェクトマネジメント（企業治験）

【講義5】 プロジェクトマネジメント（医師主導治験）

【講義6】 データマネジメント

- 【講義7】 臨床研究の国際的動向
- 【講義8】 医療英語コミュニケーションー 国際会議でのプレゼンテーション・スキル
- 【講義9】 コーディネーションの実際
- 【講義10】 組織マネジメント論
- 【講義11】 リーダーシップ論
- 【講義12】 コンサルテーションと教育
- 【講義13】 臨床研究に関連する最近のトピックス
- 【講義14】 患者申し出療法
- 【講義15】 RWD

【演習2】 目指せ！サステナブルなCRC！

阪大演習実施：演習1：ステークホルダーとのかかわり方を使い分けるスキルを身につけよう！

演習2：面白いほど人が育つ！？そんなスキルを身につけよう！

実施回数：1回、680.5分

全プログラム参加人数：25名（院外）

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

本院では卒後 2 年間の臨床研修を修了した医師を対象に連携・関連施設と協力し、臨床医学系専門領域における専門医を取得し地域医療に貢献するとともに、幅広く活躍できる高度な医療人の育成を目的として「阪大病院専門研修プログラム」を運営している。日本専門医機構が指定する 19 の基本領域すべての基幹施設となっており、内科、外科および放射線科領域については、内科専門医、外科専門医、放射線科専門医を取得したのち、継続してサブスペシャリティ専門医取得を目指す連動プログラムとなっている。また全領域とも、大阪・阪神間にある他基幹病院を中心とする研修プログラムに連携施設として参加しており、本院は強固かつ密な地域医療ネットワークの中心リーダーとして、教育病院の責任を果たしている。各領域のプログラムは様々なローテーションのパターンを準備しており、本人の興味や希望、ライフイベントに合わせたキャリア形成をサポートしていく体制が整っている。様々なローテーションの中には、医学系研究科と密接に連携するコースも含んでおり、大学院に進学し臨床と直結した形で病態や治療に関する基礎研究を平行して行うこと、または専門医取得後に大学院に進学することを推奨しており、高い研究マインドを持った医師の養成も積極的に行っている。

また高度急性期医療を扱う「特定機能病院」、高度先端技術の提供・開発・評価・教育を担う「臨床研究中核病院」「がんゲノム医療中核拠点病院」など様々な認定を本院は受けている。高度な先端医療技術や臨床研究、臨床治験、再生医療、ゲノム医療、国際医療を行っており、移植や困難症例、危機状況への対応法を学ぶ機会が多く、関連するセミナーも日常的に開催されるなど、豊富な教育の機会を提供している。このような環境下、そして多彩なキャリアパスを備えたキャリア形成システムを通し、高度な臨床能力を持った専門医を多数養成している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	195人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
坂田 泰史	循環器内科	教授	28年	
猪阪 善隆	腎臓内科	教授	31年	
竹原 徹郎	消化器内科	教授	37年	
下村 伊一郎	内分泌・代謝内科	教授	32年	
武田 吉人	呼吸器内科	准教授	27年	
熊ノ郷 淳	免疫内科	教授	30年	感染症内科 アレルギー科 リウマチ科
保仙 直毅	血液・腫瘍内科	教授	23年	
望月 秀樹	神経内科・脳卒中科	教授	34年	
樂木 宏実	老年・総合内科	教授	37年	
宮川 繁	心臓血管外科	教授	27年	
新谷 康	呼吸器外科	教授	26年	
土岐 祐一郎	消化器外科	教授	36年	
江口 英利	消化器外科	教授	27年	
島津 研三	乳腺・内分泌外科	教授	27年	

奥山 宏臣	小児外科	教授	37年	
西田 幸二	眼科	教授	33年	
猪原 秀典	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	教授	31年	
岡田 誠司	整形外科	教授	22年	
藤本 学	皮膚科	教授	29年	
久保 盾貴	形成外科	教授	25年	
池田 学	神経科・精神科	教授	33年	
貴島 晴彦	脳神経外科	教授	30年	
藤野 裕士	麻酔科・集中治療	教授	36年	
木村 正	産科・婦人科	教授	36年	
大菌 恵一	小児科	教授	37年	
野々村 祝夫	泌尿器科	教授	35年	
富山 憲幸	放射線診断・IVR科	教授	34年	
森井 英一	病理部	教授	29年	
織田 順	高度救命救急センター	教授	28年	
日高 洋	臨床検査部	准教授	34年	
金本 隆司	リハビリテーション部	講師	22年	
中神 太志	総合診療科	助教	20年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

#### 4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

##### ① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

###### 【看護部】

・研修の主な内容（キャリア開発研修）

■ 共通（58名）

キャリア開発、文章作成、患者指導、文献検索、コミュニケーションスキル

■ 看護実践（199名）

スキンケア、ストーマケア、感染対策、糖尿病看護、がん看護、老年看護、認知症ケア、家族支援、急変対応

■ 教育（121名）

新人教育

■ 研究（81名）

研究計画書の書き方

・研修の期間・実施回数 2021年7月～2022年3月 24回

・研修の参加人数 のべ470名

###### 【医療技術部】

・研修の主な内容

医療技術部職員を対象に患者動作介助、特定の疾患をテーマにした複数医療職からの発表、講師を招いてのスキルアップ講習会、各医療職領域におけるトピックス紹介、個人目標の達成度報告など

・研修の期間・実施回数

毎月1回の開催を原則とし、令和3年度は10回開催。

・研修の参加人数 令和3年度の年間延べ参加人数は752名

###### 【未来医療開発部】

■ 医師主導治験 治験使用薬に関するSOP改訂講習会（第1回）

研修の主な内容：SOP改訂の経緯、具体的な各SOPの活用方法を解説し、令和2年GCP改訂に適合した医師主導治験のSOPが円滑に作成できるようになることを目的とした講習会

研修の期間・回数：2022年3月24日（木）

参加人数：262人（院内 院外（医師含む））

■ 阪大臨床研究講習会

研修の主な内容：研究者の受講ルール、新倫理指針の注意点、臨床研究データの信頼性確保、教育的監査等のフィードバック、臨床研究における同意取得と同意書の記載について、大阪大学医学部附属病院が取り組む多施設臨床研究支援、理解度テスト

実施方法：臨床研究教育e-learning システムCROCO（公開期間：R4.3.1～R4.3.31）

参加人数：1379名（医師含む）

■ 阪大モニタリング講習会

研修の主な内容：

基本・専門 モニタリングとは、モニタリングの実務

更新 中央モニタリングについて、あらためて考えてみよう  
「モニタリングの基本的方針」の改訂内容について  
品質管理活動の結果報告  
実施回数：令和3年度実績 Web 講習 2回、e-learning  
参加人数：778名（院内 院外、医師含む）

#### ■ 治験・倫理審査委員会委員養成研修

研修の主な内容

- 【講義1】 「遠隔診療・デジタルヘルスの実際（オーバービュー）」
- 【講義2】 「研究開発・倫理審査におけるICT技術の利活用と課題」
- 【課題2】 「倫理審査におけるICT技術の利活用の諸課題」
- 【講義3】 「AI医療機器：超聴診器の開発と遠隔診療への取り組み」
- 【講義4】 「ウェアラブルデバイス、アプリケーションの研究への適用」
- 【課題2】 「ICT技術（電磁的同意、ウェアラブルデバイス、アプリケーション）を活用した臨床研究における倫理審査時の懸念・諸課題」

ディスカッション、Q&A

実施回数：1回、470分

#### ■ 上級者臨床研究コーディネーター養成研修

研修の主な内容：

- 【講義1】 被験者保護の概念とその適用 / インフォームド・コンセント（IC）
- 【講義2】 被験者保護と研究公正
- 【講義3】 臨床研究に関する規制要件の動向と運用
- 【講義4】 プロジェクトマネジメント（企業治験）
- 【講義5】 プロジェクトマネジメント（医師主導治験）
- 【講義6】 データマネジメント
- 【講義7】 臨床研究の国際的動向
- 【講義8】 医療英語コミュニケーションー 国際会議でのプレゼンテーション・スキル
- 【講義9】 コーディネーションの実際
- 【講義10】 組織マネジメント論
- 【講義11】 リーダーシップ論
- 【講義12】 コンサルテーションと教育
- 【講義13】 臨床研究に関連する最近のトピックス
- 【講義14】 患者申し出療法
- 【講義15】 RWD
- 【演習2】 目指せ！サステナブルなCRC！

阪大演習実施：演習1：ステークホルダーとのかかわり方を使い分けるスキルを身につけよう！

演習2：面白いほど人が育つ！？そんなスキルを身につけよう！

実施回数：1回、680.5分

#### ② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

##### 【看護部】

・研修の主な内容

##### ■ 管理

リーダーシップ、看護管理、人材育成、組織マネジメント、安全管理、質保証、レジリエンス

・研修の期間・実施回数 2021年10月～2022年3月 8回

・研修の参加人数 のべ259名

##### 【医療技術部】

・研修の主な内容

新規導入機器、特定機能病院に必須の医療機器（①人工心肺装置、②人工呼吸器、③血液浄化装置、④除細導装置、⑤閉鎖式保育器、⑥診療用高エネルギー放射線発生装置、⑧診療用放射線照射装置）、特に熟練を要する医療機器、OpenME、MRI研修などである。

・研修の期間・実施回数

2021年度（4月～3月末）

新規導入機器（35回）、特定機能病院に必須の医療機器（48回）、特に熟練を要する医療機器（468回）、OpenME（113回）、MRI研修（e-learning）、合計664回 & e-learning

・研修の参加人数

新規導入機器（499名）、特定機能病院に必須の医療機器（312名）、特に熟練を要する医療機器（2569名）、OpenME（189名）、MRI研修（212名）、合計3781名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

【看護部】

・研修の主な内容

看護実践、看護管理、教育、研究（キャリア開発研修）

・研修の期間・実施回数 2021年9月～2022年3月 25回

・研修の参加人数 のべ116名

【未来医療開発部】

■医師主導治験 治験使用薬に関するSOP改訂講習会（第1回）

研修の主な内容：SOP改訂の経緯、具体的な各SOPの活用方法を解説し、令和2年GCP改訂に適合した医師主導治験のSOPが円滑に作成できるようになることを目的とした講習会

研修の期間・回数：2022年3月24日（木）

参加人数：262人（院内 院外（医師含む））

■摂南大学薬学部学生インターンシップ

講義：治験について、SMOについて、CTUについて、プロトコール模擬テスト

ロールプレイング：インフォームドコンセント、報告会

期間・回数：令和3年8月25日（水）～27日（金）：10時00分～16時00分 3日間

参加人数：3名

■阪大モニタリング講習会

研修の主な内容：

基本・専門 モニタリングとは、モニタリングの実務

更新 中央モニタリングについて、あらためて考えてみよう

「モニタリングの基本的方針」の改訂内容について

品質管理活動の結果報告

実施回数：令和3年度実績 Web講習 2回、e-learning

参加人数：778名（院内 院外、医師含む）

■治験・倫理審査委員会委員養成研修

研修の主な内容

【講義1】「遠隔診療・デジタルヘルスの実際（オーバービュー）」

【講義2】「研究開発・倫理審査におけるICT技術の利活用と課題」

【課題2】「倫理審査におけるICT技術の利活用の諸課題」

【講義3】「AI医療機器：超聴診器の開発と遠隔診療への取り組み」

【講義4】「ウェアラブルデバイス、アプリケーションの研究への適用」

【課題2】「ICT技術（電磁的同意、ウェアラブルデバイス、アプリケーション）を活用した臨床研究における倫理審査時の懸念・諸課題」

ディスカッション、Q&A

実施回数：1回、470分

全プログラム参加人数：23名（院外20名、院内3名、医師含む）

聴講のみの参加人数：108名（院外96名、院内12名、医師含む）

#### ■臨床研究・治験従事者研修

【講義1】「臨床研究の立案」 臨床研究を立案する際に何をすべきかを解説する

【演習】 ワークショップ「臨床研究を始めよう」 プロトコル（骨子）を作成して、研究を開始するまでの計画を体験してみよう

【講義&グループワーク】「CQからRQを作成する」

【講義&グループワーク】「因子の洗い出し・評価項目の設定」

【講義&グループワーク】「PRT骨子作成」

実施回数：1回、420分

全プログラム参加人数：13名（院外13名、院内0名、医師含む）

#### ■臨床研究・治験従事者研修（OJT研修）

研修の主な内容：

臨床研究中核病院以外の機関からの人材を受入れ、Clinical Question から研究

計画立案に至るまでの教育

実施回数：1回～30回以上（受講者の臨床研究の実施環境（活用可能な時間など）により実施回数が異なる）

参加人数：5名（学外5名）

#### ■上級者臨床研究コーディネーター養成研修

【講義1】 被験者保護の概念とその適用 / インフォームド・コンセント（IC）

【講義2】 被験者保護と研究公正

【講義3】 臨床研究に関する規制要件の動向と運用

【講義4】 プロジェクトマネジメント（企業治験）

【講義5】 プロジェクトマネジメント（医師主導治験）

【講義6】 データマネジメント

【講義7】 臨床研究の国際的動向

【講義8】 医療英語コミュニケーションー 国際会議でのプレゼンテーション・スキル

【講義9】 コーディネーションの実践

【講義10】 組織マネジメント論

【講義11】 リーダーシップ論

【講義12】 コンサルテーションと教育

【講義13】 臨床研究に関連する最近のトピックス

【講義14】 患者申し出療法

【講義15】 RWD

【演習2】 目指せ！サステナブルなCRC！

阪大演習実施：演習1：ステークホルダーとのかかわり方を使い分けるスキルを身につけよう！

演習2：面白いほど人が育つ！？そんなスキルを身につけよう！

実施回数：1回、680.5分

全プログラム参加人数：25名（院外）

#### 【臨床研究クオリティマネジメント研修】

・研修の主な内容

「品質マネジメントシステムの概念を理解し、自身の担当業務（プロセス）の手順に落とし込むこ

とができる」、「品質マネジメントシステムの概念を理解し、担当する臨床研究のQM計画に盛り込むことができる」、「担当する臨床研究のQMに関する検討会などで、他部署の担当者と適切なコミュニケーションがとれる」、以上の3点を研修のゴールとして考え、アカデミアの状況に即した臨床研究の品質マネジメントを実施するため、PI、PM、CRC、CRA、DM、STAT、研究事務局などが共通して理解しておくべき内容を、実例を交えた演習と講義を通じて教育することを目的とする研修を実施した。

・研修の期間・実施回数

《第1回QM研修》

プレ研修Aグループ：令和3年10月13日（水） 18：00～19：00

プレ研修Bグループ：令和3年10月15日（金） 18：00～19：00

ワンデイ研修：令和3年10月16日（土） 9：30～17：30

《第2回QM研修》

プレ研修Aグループ：令和4年2月14日（月） 18：30～20：00

プレ研修Bグループ：令和4年2月18日（金） 17：30～19：00

ワンデイ研修：令和4年2月20日（日） 9：30～17：15

・研修の参加人数

10月16日（土） 10名

2月20日（日） 10名

【データマネージャー養成研修】

・研修の主な内容

データマネージャーが備えるべき、統計・モニタリング・データマネジメントの視点にフォーカスを当てた講義と、クオリティマネジメントを意識しながらプロトコルを作り上げるプロセスを学ぶワークショップを通じて、臨床現場と統計を繋ぐデータマネージャーの役割の重要性の意識づけを目的とする研修を実施した。

・研修の期間・実施回数

令和3年12月18日（土） 9：30～16：00

令和3年12月19日（日） 9：30～16：50

・研修の参加人数

12月18日（土） 16名

12月19日（日） 15名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2) 現状
管理責任者氏名	病院長 竹原 徹郎
管理担当者氏名	総務課長 森田 浩司 医事課長 徳野 光男 薬剤部長 奥田 真弘 放射線部長 富山 憲幸

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医事課
		看護記録	医事課
		検査所見記録	医事課
		エックス線写真	放射線部
		紹介状	医事課
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医事課
		カルテ等病歴資料は、1患者1カルテとし、コンピュータによる集中管理を行っている。 エックス線写真は、PACS（画像サーバ）で集中保管。 処方せんは保存。 ◆診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱い 開示請求に基づき、診療記録のコピーを患者等に渡す場合は、患者からの請求に応じ、定められた手順に則り、当該患者の情報のみを印刷し渡すこととしている。 電子カルテを病院外から閲覧することは基本的にはできないが、治験における治験依頼者による原資料の確認の際に、当該患者の記録のみ、患者の同意を得た上で、病院が提供する端末を用いて病院外の指定する場所から閲覧することを許可している。また、セキュアなネットワークを引いた一部の医療機関に対して、その医療機関と本院が共同して診療に当たっている患者について、患者の同意が得られた場合に、診療記録の一部の閲覧を可能としている。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第三十二条の三	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課
		高度の医療の研修の実績	総務課
			パソコンの電子ファイル及び紙媒体で管理。 調剤数は薬剤部システムで管理。

		閲覧実績	総務課	パソコンの電子ファイル及び紙媒体で管理。
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
	掲げる事項 規則第一条の十一第一項に	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	中央クオリティマネジメント部 医事課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	中央クオリティマネジメント部 医事課	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	パソコンの電子ファイル及び紙媒体で管理。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課 感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療技術部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療技術部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療技術部	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療技術部			

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課	パソコンの電子ファイル及び紙媒体で管理。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部 総務課	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課	
		医療安全管理部門の設置状況	中央クオリティマネジメント部 医事課	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課	
		監査委員会の設置状況	総務課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	中央クオリティマネジメント部 医事課	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課	
		職員研修の実施状況	医事課	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課	
		管理者が有する権限に関する状況	総務課	
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課			
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画      2. 現状
閲覧責任者氏名	総務課長 森田 浩司
閲覧担当者氏名	総務課庶務係長 井内 章恵
閲覧の求めに応じる場所	総務課庶務係
閲覧の手続の概要  閲覧への希望が庶務係にあった場合に対応。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者中心の医療の実践</li> <li>2. 診療情報の共有</li> <li>3. 医療安全に関する組織的取り組み</li> <li>4. インシデントの報告</li> <li>5. 機能する医療事故防止対策</li> <li>6. 適切な医療事故への対応</li> <li>7. 患者からの医療相談の実施</li> <li>8. 医療安全情報の共有</li> <li>9. 職員に対する教育研修</li> <li>10. 医療安全文化の構築</li> <li>11. 医療安全管理マニュアルの作成・更新</li> <li>12. 医療安全管理に関する指針の公開</li> </ol>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（有・無）</p> <p>・ 開催状況：年30回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 統括医療安全管理委員会：本院における医療に係る安全管理について統括する 年11回</li> <li>2. リスクマネジメント委員会：医療事故の防止策を策定する 年6回</li> <li>3. 医療クオリティ審議委員会：医療の質の向上を図る 年13回</li> <li>4. 医療事故対策委員会：医療事故が発生した場合の必要な対応を行う 年0回</li> </ol>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>「当院におけるアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の取り組み～患者の意思を尊重した意思決定のために～」（e-Learning（令和3.5.31）開催、3246名参加）</p> <p>「再確認しておきたい医療安全の決まりごと」（e-Learning（令和3.10.1）開催、3246名参加）</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p><b>問題点の把握状況（方法）</b></p> <p>【各部署・部門等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インシデントをイントラネット（インシデントレポート、医療クオリティ審議依頼書）から報告（原則として当事者）</li> </ul> <p>【リスクマネジメント委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インシデントレポートのデータベースのモニター（毎日・当番制、要IDとパ</li> </ul>	

スワード)

【医療クオリティ審議委員会】

・医療クオリティ審議依頼書が入力されると直ちにコアメンバーに通知され、内容確認が行われる

【中央クオリティマネジメント部】

・専任リスクマネジャーによりインシデントレポートのモニターや報告された医療クオリティ審議依頼書の内容をもとに、事例に関する問い合わせ、現場の確認

問題点の分析状況（方法）

【各部署・部門等】

・当該部署、部門等にて事例の背景要因を分析

【リスクマネジメント委員会】

・当番委員によりインシデントの背景要因を分析

【医療クオリティ審議委員会】

・委員会において、医療クオリティ審議依頼書、報告者からのヒアリング、及び委員からの意見をもとにインシデントの発生メカニズムを多角的に分析

【中央クオリティマネジメント部】

・専任リスクマネジャーを含む多職種の構成員によりインシデントの背景要因を多角的に分析

改善策の検討状況（方法）

【各部署・部門等】

・当該部署、部門等にてリスクマネジャーもしくは医療安全担当者が中心となり、改善策等を検討。必要に応じ、専任リスクマネジャーが介入。

【リスクマネジメント委員会】

・インシデントの要旨と背景要因をシステム思考で分析し、再発防止策を提示  
・事故防止策について意見交換、事故防止策を承認  
・院内の他の委員会や他部門への検討や改善の申し入れ

【医療クオリティ審議委員会】

・審議依頼事例について、関係診療科・部門への再発防止策の検討や改善を指示  
・各診療科・部門から提出された再発防止策について承認

【中央クオリティマネジメント部】

・専任リスクマネジャーによるインシデントに関する問い合わせ、現場の点検、改善の支援

・事故防止策を実行するために必要な業務の実施、他部門との連携協力  
・リスクマネジャーメーリングリストによる情報提供  
・院内ラウンド、院内相互チェックの実施計画  
・リスクマネジャー会議（運営部会）の開催  
・教育のための教材を作成・教育の実施  
・対象部署や職種を限定した教育教材（eラーニング）の作成  
・リスクマネジメントニュースの作成・発行（警鐘事例等の共有）  
・QM（クオリティマネジメント）ニュース（医療安全広報誌）の作成・発行

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>大阪大学医学部附属病院は、わが国の医学における診療、教育及び研究の発展に貢献するとともに、特定機能病院としての高度先進医療・未来医療の開発・実践を担い、同時に安全な医療を実現する使命を負っている。安全な医療の実現のためには医療関連感染対策の推進が不可欠であるとの認識を持ち、職員の一人ひとり、そして各部局それぞれが、医療関連感染対策の推進に真摯に取り組むと同時に、病院全体が包括的に医療関連感染対策を行っていくものとする。また新型コロナウイルス感染症の流行により新興感染症対策の重要性が広く認識されるようになっており、当院も新たな新興感染症が出現した際には、大阪府の要請に基づき患者を受け入れ、新興感染症対策の地域の基幹病院となることが求められている。</p> <p>このような医療関連感染対策・新興感染症対策を通して、患者本位の安心・安全な全人的医療を提供することのできる環境を整えるように努力し、その活動を基盤として、社会や地域医療にも貢献することが大阪大学医学部附属病院の使命である。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年11回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>感染対策委員会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 院内感染症の届出状況や抗菌薬の使用状況等の報告</li> <li>2. 院内感染対策についての審議 (感染対策の重要事項に関すること、必要に応じての指導助言に関すること、院内感染防止対策の施設区順に関すること等)</li> </ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年29回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>新型コロナワクチン～効果への期待と接種後の注意点～ (e-Learning (令和3.5.31) 開催、3246名参加)</p> <p>コロナ時代の感染対策と抗菌薬適正使用」 (e-Learning (令和3.10.1) 開催、3246名参加)</p> <p>新採用者職員（医師・看護師・医療技術職員・薬剤師・研修医等）に対する感染対策に関する研修</p> <p>外部委託職員に対する感染対策講習会（オンサイト1回・ビデオ研修）</p> <p>未来医療技術部に対する研修会1回</p> <p>ICUの現場教育(3回)</p> <p>全診療科・病棟への出張レクチャー22部署</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ICTラウンド（週1回環境ラウンド、随時感染対策ラウンド）</li> <li>● 感染管理に視点における環境管理状況の確認を年間通して部署のラウンドを実施</li> <li>● 耐性菌検出システム（ICTWeb®）を使用して、薬剤耐性菌検出状況を毎日監視し、感染対策の実施状況を確認。また、海外渡航歴や治療歴のある方の中でリスクのある方は、耐性菌スクリーニングを実施</li> </ul>	

- サーベイランス
- 耐性菌サーベイランスを元にした介入（MRSA、MDRP、ESBL産生株など）
- デバイスサーベイランス実施部署：救命救急センター：(UTI)、ICU(中心静脈カテーテル関連血流感染、人工呼吸器関連肺炎)、手術部位感染サーベイランス（心臓血管外科、消化器外科）
- 抗菌薬適正使用に向けての活動
  - ・投薬開始4日目を目途に適正使用について検討する
  - ・8日以上継続使用には、抗菌薬継続使用届の追加届出を必要とする
  - ・対象患者のリストアップは専任薬剤師によって行う
- 感染症治療コンサルテーション、感染制御コンサルテーションの実施
- 手指衛生啓発の強化（医療者、患者家族への啓発）
- COVID-19診療における感染対策の強化

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和3年6月17日 令和3年度第1回医薬品安全講習会（第219回阪大病院フォーラム）（ライブ講習会）                   <ul style="list-style-type: none"> <li>演題：検査値と医薬品適正使用 ～当院における薬剤師の関わり～</li> <li>e-ラーニングをCLE（大阪大学授業支援システム）上で「阪大病院フォーラム」として公開</li> <li>受講者数：52名</li> </ul> </li> <li>2. 令和3年度第1回医薬品安全管理講習会                   <ul style="list-style-type: none"> <li>10月1日よりe-ラーニングシステム上に「院内講習会」として公開</li> <li>演題：院外処方箋の変更点と薬剤師の関わり ～トレーニングレポートの利活用～</li> <li>全員受講必須</li> </ul> </li> <li>3. 令和3年11月29日 第227回阪大病院フォーラム（ライブ講習会）                   <ul style="list-style-type: none"> <li>e-ラーニングをCLE（大阪大学授業支援システム）上で「阪大病院フォーラム」として公開</li> <li>演題：市販薬の薬害／サリドマイド</li> <li>受講者数：39名</li> </ul> </li> </ol> </li> </ul>	
<p>③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 （○有・無）</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：               <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 医薬品安全業務手順書の策定・見直し                   <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年3月15日 令和3年度第3回医薬品安全管理委員会にて改訂案が審議され、ハイリスク薬の定義を改訂しました。（特に安全管理が必要な医薬品を病院ハイリスク薬としました。）</li> </ul> </li> <li>▶ 従業者に対する医薬品安全使用のための研修企画・実施                   <ul style="list-style-type: none"> <li>年3回、上記の通り実施。</li> </ul> </li> <li>▶ 業務手順書に基づく業務実施の確認・記録                   <ul style="list-style-type: none"> <li>毎年6月に、各部署の医薬品安全管理者（リスクマネージャー）に対して、手順書に基づいて業務が実施されているかについて、手順書の各章の項目別に、アンケート調査方式にて遵守状況確認を実施。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	
<p>④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （○有・無）</li> <li>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未承認医薬品：5件（悪性腫瘍に対するWT<sub>1</sub>ペプチドワクチン免疫療法等）</li> <li>・ 適応外：13件（小児造血細胞移植におけるアレムツズマブの臨床使用、難治性ぶどう膜炎に対するメトトレキサートの使用等）</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製薬会社、厚生労働省、PMDA、医薬品情報データベース（「Lexicomp（Wolters Kluwer Health社）」）等から情報収集している。</li> <li>・ 未承認等の医薬品を使用する場合は、その使用条件を定め、未承認新規医薬品等診療審査部にて審査・評価を行い、診療の提供の適否を決めている。また、病院運営会議などで、未承認新規医薬品等診療審査部として報告し、周知しています。</li> <li>・ Drug information Newsを月1回程度発行し、用法/用量・効能/効果の変更、医薬品・医療機器等安全情報、各種医薬品の適正使用に関するお知らせを全部署に配布して周知している。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	

- ・医薬品に関する通知を発行し、採用情報、新規採用薬の添付文書等について、月1回全部署に配布して周知している。
- ・手術及び処置前の抗血栓薬休薬指針作成（手術及び処置前の抗血栓薬休薬指針作成ワーキンググループと連携）している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年664回
<p>・ 研修の主な内容： 機器の有用性、機器の安全性、機器の動作、機器の操作、機器の故障対策、機器の点検説明、使用に関する法令順守など</p> <p>研修の内訳</p> <p>1. 新規導入医療機器の安全使用研修（35回） 17回開催、受講者数185名（令和3年4月1日～令和3年9月30日） 18回開催、受講者数314名（令和3年10月1日～令和4年3月31日）</p> <p>2. 特定機能病院に必須の医療機器の安全使用研修（48回） 24回開催、受講者数178名（令和3年4月1日～令和3年9月30日） 24回開催、受講者数134名（令和3年10月1日～令和4年3月31日）</p> <p>3. 特に熟練を要する医療機器の安全使用研修とOpenME ①医療機器の安全使用研修（468回） 200回、1143名受講（令和3年4月1日～令和3年9月30日） 268回、1426名受講（令和3年10月1日～令和4年3月31日） ②OpenMEの実施状況（113回） 48回、89名受講（令和3年4月1日～令和3年9月30日） 65回、100名受講（令和3年10月1日～令和4年3月31日）</p> <p>4. 新規採用者対象のMR装置の安全管理講習会（e-ラーニング） 受講者212名（令和3年7月5日～令和3年12月31日）</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定（有・無）</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容： ①人工心肺装置、②人工呼吸器、③血液浄化装置、④除細導装置、⑤閉鎖式保育器については、臨床工学部で計画を立て、それに則って臨床工学技士ならびに委託業者、メーカーによる保守点検を実施している。 ⑥診療用高エネルギー放射線発生装置、⑦診療用放射線照射装置、その他保守点検が必要と考えられる医療機器については、放射線部ならびに関係部署で計画を立て、それに則って臨床工学技士ならびに委託業者、メーカーによる保守点検を実施している。</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 放射線医療機器は全てメーカーとの定期点検契約。 臨床工学部が担う医療機器の一部が院内点検に該当する。</p> <p>【点検内容】 安全点検、電気的安全点検、器械的安全点検、予防保全、予防保全の部品交換、予防保全の調整、予防保全の動作点検、動作値の確認、品質点検、イメージクオリティの点検、装置全般の機能点検、ソフトウェア点検など</p> <p>【点検台数】 ・ 臨床工学部が管理する特定機能病院必須医療機器5品目（人工呼吸器164台（内廃棄1台）、補助循環装置50台（内廃棄4台）、除細動装置40台、閉鎖式保育器13台（内廃棄1台）、血</p>	

液浄化装置46台)について、点検計画に則って適切に実施した。(令和3年4月1日～令和3年9月30日)

- ・臨床工学部が管理する特定機能病院必須医療機器5品目(人工呼吸器173台(内廃棄2台)、補助循環装置50台(内廃棄4台)、除細動装置44台(内廃棄4台)、閉鎖式保育器13台(内廃棄2台)、血液浄化装置46台)について、点検計画に則って適切に実施した。(令和3年10月1日～令和4年3月31日)
- ・放射線部が管理する特定機能病院必須医療機器2品目を含む全装置131台について、点検計画に則って適切に実施した。(令和3年4月1日～令和3年9月30日)
- ・放射線部が管理する特定機能病院必須医療機器2品目を含む全装置133台について、点検計画に則って適切に実施した。(令和3年10月1日～令和4年3月31日)

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集  
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (  )・無 )

医療機器の不具合情報や安全性情報等を製造販売業者やPMDAから提供される医療安全情報、厚生労働省が発行する「医薬・医療機器安全情報」などから一元的に収集する。病院運営会議と医療機器安全委員会で報告、阪大フォーラムやリスクマネージャ会議での啓発やリスクマネージャのメーリングリストを通じて周知を図っている。年6回の会議にて、保守点検および医療機器安全使用研修の進捗状況の把握ならびに医療機器安全情報の共有を図り常に連携をとっている。

- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば) :

- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :
  - ・ 「大阪大学医学部附属病院における医療機器安全のための指針」の策定
  - ・ 定期安全使用研修のためのe-learningの作成
  - ・ 医療機器安全管理室組織図の改定と内規策定の検討
  - ・ 医療機器導入と保守点検の一元化システム策定の検討

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>本院における医療に係る安全管理について統括するため、統括医療安全管理委員会を設置しており、医療安全担当の副病院長（医療安全管理責任者）が同委員会の委員長となっている。同委員会にリスクマネジメント委員会及び医療クオリティ審議委員会（医療安全管理部門である中央クオリティマネジメント部が主管）、医薬品安全管理委員会（医薬品安全管理責任者である薬剤部長が委員長）、医療機器安全管理委員会（医療技術部長が委員長（医療機器安全管理責任者は医療技術部副部長））を置き、統括医療安全管理委員会委員長（医療安全管理責任者）が統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（9名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 医薬品使用状況の確認し、必要に応じて、院内会議で報告。</li> <li>➤ 医薬品情報室にて添付文書、IF等の各種情報について、ファイリングして管理、書籍等の管理。</li> <li>➤ 添付文書情報について、電子カルテ端末から閲覧できるように整理。</li> <li>➤ Drug information Newsを月1回程度発行し、用法/用量・効能/効果の変更、医薬品・医療機器等緊急安全情報、各種医薬品の適正使用に関するお知らせを全部署に配布して周知し、イントラネットでも情報提供している。</li> </ul> </li> <li>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 病棟薬剤師による処方監査、調剤時に処方した医薬品が未承認等に該当するか否か情報収集し、必要性等検討し、処方変更等も提案。</li> <li>➤ 薬剤師が把握したものは、適宜処方医、主治医等に文献等の提出を依頼。必要に応じて、未承認新規医薬品等診療審査部への申請を依頼し、審査部でリスク検討、処方の妥当性等を確認。</li> <li>➤ 医薬品情報室にて、未承認新規医薬品等審査部の事務局も担当し、医薬品に関する情報収集を行う。</li> <li>➤ 未承認医薬品である院内製剤を減らしている。</li> </ul> </li> <li>・担当者の指名の有無 有・無</li> <li>・担当者の所属・職種： （所属：薬剤部（医薬品情報室）、職種 室長・薬剤主任1名）</li> </ul>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療の担い手が説明を行う際、同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 有・無</li> <li>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：定期的に各診療科・各中央診療施設のインフォームド・コンセントの実施状況を確認する。適切でない事例が認められる場合は、必要な指導を行うとともに当該事例を院内に周知する。</li> </ul>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：  診療情報管理士が毎日、退院時サマリを確認し、不備等の修正依頼を適時実施している。毎月、手術記録、カウンターサインを確認し、作成状況や未承認の催促を各診療科の病歴管理委員宛に通知している。ピアレビューは、年7回の頻度で、3診療科の医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、診療情報管理士を招集し、多職種でカルテ監査をしている。ピアレビュー後に各自3症例を持ち帰り、監査を行い、後日結果を報告する。また、半年後に再監査を診療情報管理士が各4症例ずつ実施しており、1年224症例の監査計画で運用している。年間の全診療科の結果は、病歴管理委員会で資料を配布し、周知を行っている。インフォームドコンセントについても、診療情報管理士がカルテ記載内容を確認し、一年で全診療科一巡。結果はインフォームドコンセント委員会で報告している。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（8）名、専任（0）名、兼任（3）名  うち医師：専従（4）名、専任（0）名、兼任（0）名  うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（2）名  うち看護師：専従（3）名、専任（0）名、兼任（1）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. インシデントの調査・分析・レポート管理及びカンファレンスの開催</li> <li>2. 医療事故防止方策の検討・実施・評価</li> <li>3. リスクマネジャー会議の開催</li> <li>4. 職員研修の企画・実施および、理解度テストの実施と評価</li> <li>5. 医療安全推進及び教育のための教材の開発・活用</li> <li>6. 現場のリスクマネジャーの支援、連絡調整、院内ラウンドの実施</li> <li>7. 他の委員会や部署、各職種間の連絡調整</li> <li>8. リスクマネジメント委員会等の開催準備及び支援</li> <li>9. 患者相談窓口等の担当者との連携、医療安全に係る患者及び家族等への対応支援</li> <li>10. 全死亡症例の把握・検証</li> <li>11. 医療の質・安全に関するモニタリング</li> <li>12. 高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品を用いた医療の導入に係る委員会への参画</li> </ol> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。  ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p> <p>令和4年10月1日現在の医療安全に資するモニタリング項目は以下の7つであり、リスクマネジメント委員会及び病院運営会議、リスクマネジャー会議で報告を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 手術安全チェックリスト使用率</li> <li>2. 初回抗がん剤導入前のHBVスクリーニング実施率</li> <li>3. 内視鏡治療例での気道確保困難チェックリスト使用率</li> <li>4. 2週間以内の退院サマリ作成率</li> <li>5. 臨床工学部から貸し出した人工呼吸器の日常点検実施</li> <li>6. 病理検査および画像検査における重要所見ToDoの翌月までの消去率</li> </ol>	

7. 輸血投与時の認証システムによる照合実施率
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 5 件）、及び許可件数（ 5 件）</li> <li>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ）</li> <li>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ）</li> <li>・活動の主な内容：  診療科長から高難度新規医療技術を用いた診療の提供の申請が行われた場合、申請内容の確認を行うとともに、高難度新規医療技術評価委員会に、当該高難度新規医療技術を用いた診療の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否を決定する。  また、定期的及び術後に患者が死亡した場合など、必要に応じて当該医療の提供が適正な手続きで行われていたか、診療記録等の確認や従事者の遵守状況の確認を行い、病院長に報告する。</li> <li>・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ）</li> <li>・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ）</li> </ul>

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 18 件）、及び許可件数（ 18 件）</li> <li>・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ）</li> <li>・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ）</li> <li>・活動の主な内容：  診療科長から未承認新規医薬品等を用いた診療の提供の申請が行われた場合、申請内容の確認を行うとともに、未承認新規医薬品等診療評価委員会に、当該未承認新規医薬品等を用いた診療の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否を決定する。  また、定期的及び術後に患者が死亡した場合など、必要に応じて当該医療の提供が適正な手続きで行われていたか、診療記録等の確認や従事者の遵守状況の確認を行い、病院長に報告する。</li> <li>・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ）</li> <li>・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ）</li> </ul>
⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 200 件</li> </ul>

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 50 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

#### 【院内死亡症例】

院内死亡・死産症例は、退院転帰が「死亡（あるいは死産）」と入力されることで全例漏れなく医療安全部門が把握することができるシステムを構築しており、医療安全部門では、毎週、多職種で全死亡症例の診療経過について検証している。

さらに診療科では全死亡・死産症例について、診療科内で医療プロセスについて検証し、その結果を院内死亡症例報告書に入力する。医療クオリティ審議委員会での検討が必要と判断された際は、医療クオリティ審議依頼書を提出する。

診療科長及び中央クオリティマネジメント部部長が全症例の検証結果を確認し、医療クオリティ審議委員会において医療安全管理責任者に報告する。医療安全管理責任者は、病院運営会議において管理者に報告する。平成 28 年 9 月 20 日より運用を開始している。

#### 【管理者が定める水準以上の事象】

平成 14 年から全国立大学医学部附属病院で使用している影響レベルのうち、レベル 3b 以上は管理者が定める水準以上の事象として、月一回開催される医療クオリティ審議委員会において医療クオリティ審議依頼書で報告のあった事象の事実関係の調査・把握を行い、報告された事象が医療事故か否かを判断する。また、日本医療機能評価機構及び医療事故調査制度に伴う報告事例が審議する。その後、病院運営会議、統括医療安全管理委員会で報告される。

医療事故と判断された場合は、速やかに医療事故対策委員会を立ち上げ、患者や家族等及び医療事故を起こした当事者や部署に対して、必要な支援を行う。医療事故に関して、情報収集・統合、分析、意思決定、関係機関への報告、院内外への公表を行う。

#### ⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（）(病院名：滋賀医科大学) ・無

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（）(病院名：和歌山県立医科大学) ・無

・技術的助言の実施状況

前年に引き続き、令和 3 年度も新型コロナウイルス感染拡大のため相互立入りは実施せず、書面調査のみとした。

#### ⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

窓口の名称： 患者相談室（平成 16 年 4 月 2 日設置）

対応する職員： 患者包括サポートセンター患者相談部門

医師 1 名

看護師 1 名

医療ソーシャルワーカー(MSW) 1 名

事務職員 2 名

計 5 名

相談に応じる時間帯： 月～金曜日 8：30～17：00

患者相談室設置要綱

第7条(1) 相談を受けた者は、相談等の内容を病院長まで報告するものとする。  
第7条(2) 病院長は相談等の内容が、本院の医療安全管理体制確保に有益であると認められるときは、関係部署及び関係委員会に対して、検討及び改善を指示するものとする。

⑫ 職員研修の実施状況

・ 研修の実施状況

リスクマネジメント講習会にて、特定機能病院としての高度な医療を提供するために必要な知識について研修を行った。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・ 研修の実施状況

【管理者】

令和3年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)  
⇒令和3年11月22日受講  
令和4年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)  
⇒令和5年1月16日受講予定

【医療安全管理責任者】

令和3年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)  
⇒令和3年11月22日受講  
令和4年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)  
⇒令和4年11月30日受講予定

【医薬品安全管理責任者】

令和3年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)  
⇒令和3年11月22日受講  
令和4年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)  
⇒令和5年1月16日受講予定

【医療機器安全管理責任者】

令和3年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)  
⇒令和3年12月8日受講  
令和4年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)  
⇒令和4年11月30日受講予定

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

実施年月日：令和3年10月13日～10月15日

実施機関名：公益財団法人日本医療機能評価機構

評価内容：令和3年10月13日から10月15日に公益財団法人日本医療機能評価機構による「一般病院3」の認証受審。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

公表年月日：令和4年4月1日

本院ホームページにおいて公表：<https://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/pr/evaluation.html>

・評価を踏まえ講じた措置

1. 手術部位感染サーベイランスの実施に即して、貴院が補充的な審査で提示した改善策の継続的な実践と対象診療科の拡大に努める。
2. 診療の質の向上に向けた活動に関して、貴院が補充的な審査で提示した改善策を継続的に実践する。
3. 新たに組織された業務改善委員会を縮続的に開催し、実績を積み上げる。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基準の主な内容 下記のとおり定めました。 (1)医療法第10条に規定された病院の管理者として要件を満たす医師であること。 (2)大学附属病院の管理運営に必要な資質・能力を有すること。 (3)医療安全確保のために必要な資質・能力を有すること。 (4)大阪大学医学部附属病院の理念・基本方針を理解し、その実現に向けた強い意思とリーダーシップを有すること。</li> <li>基準に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> <li>公表の方法 本学のHPにて公表している。</li> </ul>
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>選考を実施した場合、委員会の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> <li>選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> <li>選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> <li>公表の方法</li> </ul>	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
金田 安史	大阪大学理事 (共創、病院担当)	○	病院運営を担当する理事 (役職指定)	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
水島 郁子	大阪大学理事 (人事労務)		人事労務を担当する理事 (役職指定)	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
熊ノ郷 淳	大阪大学大学院 医学系研究科長		医学系研究科長 (役職指定)	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
土岐 祐一郎	大阪大学医学部 附属病院長		医学部附属病院長 (役職指定)	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
茂松 茂人	一般社団法人 大阪府医師会会長		医学又は医療に関し識見を有する者 一般社団法人大阪府医師会会長として、 マネジメントはもとより、医学・医療全般について、高い識見を有している者として選定するもの。	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無

平田 一人	大阪市立大学 医学部附属病院 長		医学又は医療に関し識見を有する者 公立大学法人大阪市立大学医学部附 属病院長として、マネジメントはもと より医学・地域医療全般について、高 い識見を有する者として選定するも の。	有 <input checked="" type="radio"/> 無
藤井 睦子	大阪府 健康医療部長		医学又は医療に関し識見を有する者 大阪府における健康医療の行政責任 者として、豊富な知見を有している者 として選定するもの。	有 <input checked="" type="radio"/> 無

規則第9条の2 3第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	(有)・無		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・合議体の主要な審議内容 病院重点課題（中期計画等）、人事、組織改組、規程改正及び予算・決算等、本院の管理運営に関する重要事項</li> <li>・審議の概要の従業者への周知状況 全教職員が閲覧できるよう、議事録を本院のHPに掲載している。</li> <li>・合議体に係る内部規程の公表の有無（(有)・無）</li> <li>・公表の方法</li> <li>・公表の方法 議事録を本院のHPに掲載している。</li> <li>・外部有識者からの意見聴取の有無（(有)・無）</li> </ul>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
別紙1のとおり			

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法 本学のHPに掲載

- ・ 規程の主な内容

大阪大学医学部附属病院規程に副病院長及び病院長補佐は管理者（病院長）が指名すると規定している。

国立大学法人大阪大学会計規則・同予算決算規則に管理者（病院長）が医学部附属病院の予算責任者として、予算案の作成及び予算の執行について権限と責任を有すると規定している。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

別紙2のとおり

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

国立大学附属病院を取り巻く様々な課題に対して、病院長のリーダーシップ、病院長を支えるサポート体制の強化及び病院経営等、病院執行部のガバナンス強化に向け、各国立大学附属病院の病院長、副病院長、看護部長及び事務部長等の次世代リーダー等の役職者を対象に国立大学附属病院長会議が主催する幹部職員セミナー（病院長塾・病院経営次世代リーダー養成塾）に参加させ、育成しており、今後も引き続き参加させる。

（参考）

平成28年度 「病院長塾」参加者：副病院長2名・事務部長・総務課長

平成29年度 「病院経営次世代リーダー養成塾」参加者：副病院長・副看護部長

平成30年度 「病院長塾」参加者：病院長・病院長補佐・看護部長・副看護部長・総務課長

令和元年度 「病院経営次世代リーダー養成塾」参加者：病院長・副看護部長

令和2年度 「医師の働き方改革に関する緊急セミナー」

参加者：病院長、副病院長、副看護部長、事務部長、総務課長

令和3年度 「医師の働き方改革セミナー」

参加者：病院長、副病院長、事務部長、総務課長

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況		(有)・無			
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>○医療安全管理体制の活動報告 以下の委員会・部会等から活動報告を行う。</p> <p>感染対策委員会、医療放射線安全管理委員会、高難度新規医療技術審査部、未承認新規医薬品等診療審査部、医薬品安全管理委員会、医療機器安全管理委員会、リスクマネジメント委員会、医療クオリティ審議委員会及び医療安全の中央機能に係る報告</p> <p>○医療安全に関する特筆すべき取組があれば報告</p> <p>○大阪大学医学部附属病院のCOVID-19対応について報告</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ( (有)・無 )</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ( (有)・無 )</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ( (有)・無 )</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ( (有)・無 )</p> <p>・ 公表の方法：本学のHPに掲載</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
倉智 博久	大阪母子医療センター総長	○	医療側・経営側の両知識を有する者として選定	有・無	1
橋本 重厚	福島県立医科大学会津医療センター糖尿病内分泌代謝・腎臓内科学講座教授 同附属病院医療安全管理部長		医療安全管理部長として医療安全管理の専門家として選定	有・無	1
水島 幸子	水島綜合法律事務所所長		法律の専門家である上、医療に精通している者として選定	有・無	1

橋本佐与子	認定 NPO 法人ささえあい 医療人権センターCOML 理事		患者・医療者双方のコミュニケーション能力を高める活動等に取り組み、患者目線で医療について助言できる者として選定	有・ <del>無</del>	2
豊岡 宏規	大阪大学理事		リスク管理を担当する理事として選定	<del>有</del> ・無	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

平成29年7月19日に大阪大学コンプライアンス推進委員会を設置し、各種コンプライアンス事案（研究上の不正行為、研究費の不正使用、情報漏えい事案、公益通報事案等）の総括と、コンプライアンスの推進に係る取組みの検討及び実施等を行っている。

また、下記のとおり具体的な取組みを行っている。

・大阪大学行動規範の制定

- ・コンプライアンス事案の発生を踏まえた再発防止策の検討及び実施（本部事務機構の各専門部署等による集合型研修やe-learningによる各種コンプライアンス教育の実施、注意喚起文書の発出、各種冊子やリーフレット等の配布、各種通報・相談窓口の設置及び周知等）
- ・コンプライアンスに関する教職員意識調査の実施

・ 専門部署の設置の有無（有・無）

・ 内部規程の整備の有無（有・無）

・ 内部規程の公表の有無（有・無）

・ 公表の方法 本学のHPにて公表している。

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況

- 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況
 

理事会等とは別に総長が設置する大阪大学医学部附属病院戦略会議の下に下記委員を構成員とする大阪大学医学部附属病院管理運営専門委員会を平成31年3月8日に設置し、令和4年8月19日に管理運営専門委員会を開催した。  
専門委員会では、病院長から外部委員に対して下記事項についての説明を行い、質疑応答の後外部委員から特に本院の管理運営に関する指摘事項は無かった。

  - 新型コロナウイルスに関する対策について
  - 令和3年度決算及び令和4年度予算について
  - 令和3年度重点課題の取組状況について
  - 令和4年度重点課題について
  - 再開発計画について
- 会議体の実施状況（年1回）
- 会議体への管理者の参画の有無および回数（有・無）（年1回）
- 会議体に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- 公表の方法

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：大阪大学医学部附属病院管理運営専門委員会

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
御前 治	吹田市医師会長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
倉智 博久	大阪母子医療センター総長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
吉川 秀樹	市立豊中病院総長		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
林 紀夫	独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院 病院長	○	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
松坂 英孝	大阪ガス株式会社顧問		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
橋本 佐与子	認定NPO法人 ささえあい医療人権センターCOML 理事		有・ <input checked="" type="radio"/> 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 )</li><li>・ 通報件数 (年0件)</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 )</li><li>・ 周知の方法     院内各会議にて附議・周知するとともに、本院HPの職員専用ページ及び院内ホームページ・イントラネットに設置の趣旨及び通報方法等を掲載</li></ul>

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無

有・無

・情報発信の方法、内容等の概要

平成24年度に本院公式ホームページをリニューアルして以降、内容の充実を図るとともに、見やすくわかりやすい情報提供を行っている。また、平成27年4月には、より見やすく伝わりやすい紙面をめざし、年4回発行する広報紙『阪大病院ニュース』をリニューアルし、大学病院としての本院の存在意義を一般社会に十分に理解してもらうよう努めている。今後も引き続き適切な情報発信を行う。

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無

有・無

・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要

本院では、対象となる疾患等に対し、関連診療科や診療部門並びに関連医師やコメディカルが連携し、包括的な診断及び治療を実現するため、中央診療施設として以下のセンターを配置し、複数の診療科が連携して対応に当たる体制を整えている。

- ・脳卒中センター
- ・前立腺センター
- ・睡眠医療センター
- ・疼痛医療センター
- ・生殖医療センター
- ・ハートセンター
- ・小児医療センター
- ・オンコロジーセンター
- ・呼吸器センター
- ・てんかんセンター
- ・消化器センター
- ・I V Rセンター
- ・胎児診断治療センター
- ・難病医療推進センター
- ・子どものこころの診療センター
- ・糖尿病センター
- ・がんゲノム医療センター
- ・緩和医療センター
- ・腸管不全治療センター
- ・摂食嚥下センター



下江	村口	伊一	郎利	セセ	ンン	タタ	一	長長	(糖)	尿和	病医	セ療	ンセ	タタ	一	)	[4号委員]
西奥	山原	英幸	二臣	セセ	ンン	タタ	一	長長	(緩)	和医	療全	療七	ンセ	タタ	)	[4号委員]	
猪奥	田原	宏秀	典弘	セセ	ンン	タタ	一	長長	(AI)	肝不	療全	療七	ンセ	タタ	)	[4号委員]	
藤江	田原	真浩	一利	セセ	ンン	タタ	一	長長	(腸)	食嚥	療全	療七	ンセ	タタ	)	[4号委員]	
山森	田原	俊英	昭司	セセ	ンン	タタ	一	長長	(摂)	薬療	療全	療七	ンセ	タタ	)	[5号委員]	
清三	田原	浩隆	行美	セセ	ンン	タタ	一	長長	(医)	来事	療全	療七	ンセ	タタ	)	[7号委員]	
德三	田原	裕光	男男	セセ	ンン	タタ	一	長長	(未)	来事	療全	療七	ンセ	タタ	)	[8号委員]	
(オ	田原	裕光	男男	セセ	ンン	タタ	一	長長	(事)	来事	療全	療七	ンセ	タタ	)	[10号委員]	
ブ	田原	裕光	男男	セセ	ンン	タタ	一	長長	(事)	来事	療全	療七	ンセ	タタ	)	[10号委員]	
ザ	田原	裕光	男男	セセ	ンン	タタ	一	長長	(事)	来事	療全	療七	ンセ	タタ	)	[10号委員]	
パー)	田原	裕光	男男	セセ	ンン	タタ	一	長長	(事)	来事	療全	療七	ンセ	タタ	)	[10号委員]	
前	田原	裕光	男男	セセ	ンン	タタ	一	長長	(糖)	尿和	病医	セ療	ンセ	タタ	)	[4号委員]	
西吉	山邊	法頭	均次	セセ	ンン	タタ	一	長長	(神)	和医	療全	療七	ンセ	タタ	)	[4号委員]	
渡福	地橋	一正	子樹	セセ	ンン	タタ	一	長長	(医)	療全	療七	療七	ンセ	タタ	)	[4号委員]	
高異	本神	繁昭	紀朗	セセ	ンン	タタ	一	長長	(医)	療全	療七	療七	ンセ	タタ	)	[4号委員]	
楠内	山本	洋理	崇則	セセ	ンン	タタ	一	長長	(集)	来事	療全	療七	ンセ	タタ	)	[5号委員]	
中佐	山本	直香	志亘	セセ	ンン	タタ	一	長長	(総)	来事	療全	療七	ンセ	タタ	)	[7号委員]	
名山	山本	義三	陽一	セセ	ンン	タタ	一	長長	(ハ)	来事	療全	療七	ンセ	タタ	)	[8号委員]	
中横	山本	美程	研奈	セセ	ンン	タタ	一	長長	(未)	来事	療全	療七	ンセ	タタ	)	[9号委員]	
長橋	山本	裕美	子映	セセ	ンン	タタ	一	長長	(未)	来事	療全	療七	ンセ	タタ	)	[10号委員]	
林橋	山本	裕美	人子	セセ	ンン	タタ	一	長長	(未)	来事	療全	療七	ンセ	タタ	)	[10号委員]	
橋鍋	山本	裕美	一子	セセ	ンン	タタ	一	長長	(未)	来事	療全	療七	ンセ	タタ	)	[10号委員]	
谷鍋	山本	裕美	子子	セセ	ンン	タタ	一	長長	(未)	来事	療全	療七	ンセ	タタ	)	[10号委員]	
平鍋	山本	裕美	子子	セセ	ンン	タタ	一	長長	(未)	来事	療全	療七	ンセ	タタ	)	[10号委員]	
野鍋	山本	裕美	子子	セセ	ンン	タタ	一	長長	(未)	来事	療全	療七	ンセ	タタ	)	[10号委員]	
天家	山本	裕美	子子	セセ	ンン	タタ	一	長長	(未)	来事	療全	療七	ンセ	タタ	)	[10号委員]	
天家	山本	裕美	子子	セセ	ンン	タタ	一	長長	(未)	来事	療全	療七	ンセ	タタ	)	[10号委員]	

大阪大学医学部附属病院運営委員会規程  
 ①本院の管理運営に関する重要事項の議決及び報告。  
 ②運営企画会議で検討された事項の議決。

## 副病院長・病院長補佐の所掌業務及び主な課題(令和4年度)

	担当区分	氏名	所掌業務及び主な課題	
副病院長	人事労務・医療安全	坂田泰史	人事労務	①人事労務に関すること ②看護職員の確保 ③医師の処遇改善
			医療安全	①医療安全管理体制担当校としての業務 (医療安全・質向上のための相互チェック及び ピアレビュー等) ②院内の医療の質・安全に関すること
	財務・がん診療	野々村祝夫	財務	①病床運営のための経費支援 ②病院基盤整備経費配分 ③長期的展望に立った財務基盤の確立
			がん診療	①オンコロジーセンターの運営 ②がん診療連携拠点病院・がんゲノム医療中核 拠点病院関係 ③がんプロを後継する発展的事業の開拓
	教育・診療体制	藤野裕士	教育	①研修医・新専門医制度に関すること ②メディカルスタッフに対する大学病院の特徴を 生かしたキャリアパス開発
診療体制			①診療体制の整備充実・病棟再編事業の発展的 継続 ②手術・ICU運用	
ホスピタリティ	岩崎朋之	ホスピタリティ	①患者接遇の向上に関する取組 (ご意見箱の対応、盗難防止対策、禁煙対策、 職員教育など) ②ボランティア活動の充実	
病院長補佐	小児・周産期・再開発	木村 正	小児医療	①小児医療に関すること
			周産期	①周産期医療に関すること
			再開発	①病院再開発の企画・機能強化に関する検討
	研究・臨床研究中核病院	江口英利	研究	①臨床研究支援体制整備及び未来医療開発部 の強化発展
			臨床研究中核 病院	①臨床研究中核病院に関すること
	中央診療施設	小川和彦	中央診療施設	①中央診療施設に関すること
	広報・中期目標・計画	猪阪善隆	広報	①病院ニュース・アニュアルレポートの作成 ②職員募集計画を念頭においた広報戦略 ③市民への病院紹介コンテンツの立案 ④病院フォーラムの企画
			中期目標・計画	①中期目標・計画の策定と評価
	医療情報・地域医療 ・外部評価	武田理宏	医療情報担当	①医療情報に関すること
			地域医療	①医療情報を介した地域医療の充実
			外部評価	①外部評価(特定共同指導・JCI受審)に対する 院内準備
	救急医療	織田 順	救急医療	①救急医療に関すること
	女性支援・ダイバーシティ	中島和江	女性支援	①女性教職員の安定的就労支援
ダイバーシティ			①男女教職員の多様な働き方の確立	
経営・組織改革	山腰俊昭	経営	①経営戦略の検討	
		組織改革	①事務組織の改革	